令和３年度 私費外国人留学生生活実態調査

概　　要

令和４年９月

独立行政法人　日本学生支援機構（JASSO）

はじめに

独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）は、文部科学省との緊密な連携の下に、学生支援を先導する中核機関として、奨学金貸与事業や留学生支援事業及び学生生活支援事業を総合的に実施し、次代の社会を担う豊かな人間性を備えた創造的な人材を育成するとともに、国際理解・交流の推進を図ることを目指しています。

令和３年５月１日現在、我が国で学んでいる外国人留学生数は、大学等の高等教育機関では、２０１，８７７人、日本語教育機関では、４０，５６７人となっています（JASSO調べ）。

本機構では、令和４年１月に、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、専修学校（専門課程）、準備教育機関及び日本語教育機関に在籍する私費外国人留学生（９，０００人）を対象に生活実態調査を実施しました。結果の概要は次のとおりです。

目　　次

「令和３年度私費外国人留学生生活実態調査」結果の概要…… 1
Ⅰ．調査の目的と方法
１．調査目的…… 3
２．調査対象…… 3
３．調査方法…… 3
４．調査対象人数…… 3
５．調査実施時期…… 3
Ⅱ．調査結果の内容
１．アンケート回答状況…… 4
２．日本留学前の状況…… 7
３．在日・在学年数及び入学前の活動…… 10
４．留学後の日本への印象等…… 12
５．収入…… 15
６．奨学金…… 17
７．支出…… 19
８．アルバイト…… 22
９．授業時間を除く学習・研究時間…… 28
10．宿舎…… 35
11．健康…… 43
12．卒業後の進路希望等…… 45
13．新型コロナウイルス感染症…… 59

参考資料
令和３年度私費外国人留学生生活実態調査　アンケート内容…… 61

「令和３年度私費外国人留学生生活実態調査」結果の概要

１．アンケート回答状況

私費外国人留学生の中から無作為抽出により、9,000 人に対してアンケートを送付し、7,321 人から有効回答を得た。回答率は 81.3%であった。

２．日本留学前の状況

（１）日本を留学先として選んだ理由は、「日本社会に興味があり、日本で生活したかったため」（64.1%）が最も多かった。
（２）留学するまでに特に苦労したことは、「日本語学習」（56.7%）が最も多かった。
（３）留学情報の入手方法は、「親戚や友人に相談して」（42.0%）が最も多かった。
※（１）から（３）の割合は、３つまで選択可能な複数回答設問における当該選択肢を回答した人数を回答者数で除した値。

３．在日・在学年数及び入学前の活動

在日年数が４年未満の者は 5,628 人（76.9%）であった。

また、来日後、現在在籍している大学等へ直接入学した者は 3,768 人（51.5%）であり、そのうち大学・短大・専修学校在学者は 2,356 人（32.2%）であった。

なお、現在の大学等に直接入学しなかった者 3,553 人のうち、現在在籍する大学等の直前に日本語教育機関に在学していたと回答した者は 2,749 人（77.3%）であった。

４．留学後の日本への印象等

（１）日本人に対する印象が「良くなった」とする回答は、34.8%であった。
（２）日本へ留学しての全体的な印象が「良かった」とする回答は、95.5%であった。
（３）留学後の苦労は、「物価が高い」（74.3%）が最も多かった。
※（３）の割合は、３つまで選択可能な複数回答設問における当該選択肢を回答した人数を回答者数で除した値。

５．収入

（１）収入の平均月額は、158,000 円であった。
（２）収入は、主に「アルバイト」及び「仕送り」であった。
（３）居住地域別の収入の平均月額は、関東地方が 172,000 円と全国で最も高く（東京のみでは 179,000 円）、四国地方が 118,000 円と最も低かった。

６．奨学金

（１）収入・支出に関する設問への有効回答者の 49.7%が何らかの奨学金を受けていた。
（２）在籍段階別の奨学金受給率は、高い順に「大学院博士課程・博士後期課程」、「学部正規課程」、「準備教育課程」、「大学院修士課程・博士前期課程」であった。

７．支出

（１）支出の平均月額は、158,000 円であった。
（２）支出額のうち「学習研究費」が最も多く、次いで「住居費」、「食費」の順であった。

８．アルバイト

（１）全体の 67.0%が何らかのアルバイトに従事していた。
（２）職種は、軽労働の「飲食業」が 1,719 人（35.0%）であった。
（３）従事時間は、週平均「20 時間以上 25 時間未満」が 1,817 人（37.0%）と最も多く、次いで「15 時間以上 20 時間未満」が 965 人（19.7%）であった。
※（２）の人数は、３つまで選択可能な複数回答設問における当該選択肢を回答した人数の合計で、率は回答者数に対する割合。

９．授業時間を除く学習・研究時間

（１）　在籍段階別学習・研究時間（第 9-1 表）では、「週 14～21 時間未満」と回答した者の割合が最も高く、25.4%であった。

（２）「奨学金受給者及び非受給者の学習・研究時間（第 9-2・3 表、第 9-5・6 表）を比較すると、全体として奨学金受給者の方が非受給者よりも学習・研究時間が多かった。

10. 宿舎

（１）住居の形態は、「民間アパート・マンション等」に居住する者が、5,815 人（79.4%）と最も多かった。

（２）一人当たりの専有面積は、10 ㎡（約６畳）未満の者が全体の約４割（42.7%）であった。

（３）単身、同居別では、単身（61.3%）の方が多かった。また、同居のうち「２人で生活（同居人１人）」は 1,200 人（42.4%）、「３人で生活（同居人２人）」は 1,095 人（38.7%）であった。同居人の種類は、「外国人留学生」が 1,929 人（68.2%）と最も多かった。

（４）地域別の住居費の全国平均月額は 38,000 円で、関東地方が 44,000 円と最も高かった。

（５）宿舎入居の際に保証人を求められたと回答した者は 3,734 人（51.0%）であった。また、保証人の種類としては、「保証人制度を利用する」が 826 人（22.1%）と最も多かった。

11. 健康

（１）健康保険に加入している者は、ほぼ全員（7,260 人）で加入率は 99.2%であった。

（２）健康保険加入者の中では、日本の国民健康保険に加入している者が 6,980 人（95.3%）であった。

※（１）（２）の人数は、複数回答が可能な設問における当該選択肢を回答した人数の合計で、率は回答者数に対する割合。

12. 卒業後の進路希望等

（１）卒業後の予定は、「日本において就職」を希望した者が 4,243 人（58.0%）で最も多く、次いで「日本において進学」が 3,135 人（42.8%）であった。

（２）「日本において就職希望」と回答した者の就職希望分野は、「翻訳・通訳」1,055 人（24.9%）が最も多く、次いで、「海外業務」997 人（23.5%）、「販売・営業」982 人（23.1%）であった。

（３）就職活動時の要望は、「在留資格の変更手続きの簡素化、手続き期間の短縮化」が 2,325 人（54.8%）で最も多く、次いで、「留学生を対象とした就職に関する情報の充実」が 2,171 人（51.2%）であった。

※（１）から（３）の人数は、３つまで選択可能な複数回答設問における当該選択肢を回答した人数の合計で、率は回答者数に対する割合。

13. 新型コロナウイルス感染症に関して

（１）新型コロナウイルス感染症にかかわる悩みは、「経済的な状況に関すること」が 2,856 人（39.0%）で最も多く、次いで「将来のキャリアに関すること」が 1,727 人（23.6%）であった。

（２）新型コロナウイルス感染症にかかわる悩みの相談先は、「学校の教職員や相談窓口」が 2,962 人（40.5%）で最も多く、次いで「友人等・同級生等」が 2,687 人（36.7%）であった。

（３）新型コロナウイルスワクチン接種の情報入手先は、「学校」が 4,650 人（63.5%）で最も多く、次いで「自治体（市町村）」が 3,693 人（50.4%）であった。

※四捨五入した数を使用している表では、内訳の数の合計が、計欄の数と一致しない場合がある。

Ⅰ．調査の目的と方法

１．調査目的

この調査は、我が国で学ぶ私費外国人留学生の標準的な生活の状況を把握するとともに、経済的な実状等を明らかにすることにより、独立行政法人日本学生支援機構が実施する私費外国人留学生に対する各種の支援事業を改善、充実を図るための基礎資料として活用することを目的とした。

２．調査対象

我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、専修学校（専門課程）、準備教育課程を設置する教育施設（以下「準備教育課程」という」）及び日本語教育機関（以下「大学等」という。）に在籍する私費外国人留学生を対象とし、国費外国人留学生、外国政府が派遣する政府派遣留学生及び在籍機関が１年未満の交換留学生・短期留学生は対象に含まないこととした。

３．調査方法

全国の大学等の協力を得て、調査協力校に在籍する私費外国人留学生を無作為抽出し、Web システム上のアンケート項目に回答（無記名）する方法により実施した。

なお、調査協力校の選定にあたっては、大学等の留学生在籍率及び地域分布等を考慮した。

質問票は日本語・英語・ベトナム語・中国語（簡体字）により作成し、各言語での回答も可能とした。

４．調査対象人数

9,000 人

（国立大学 62 校 1,120 人、公立大学 17 校 130 人、私立大学 183 校 2,770 人、短期大学 12 校 100 人、専修学校（専門課程）196 校 2,690 人、準備教育課程 8 校 110 人、日本語教育機関 142 校 2,080 人）

５．調査実施時期

令和４年１月～３月

Ⅱ．調査結果の内容

１.アンケート回答状況

私費外国人留学生 9,000 人にアンケートの回答を依頼し、有効回答を 7,321 人から得た（有効回答回収率 81.3%）。

出身国・地域別の回答者数（第 1-2 表）は、「中国」が 3,256 人（44.5%）と最も多く、以下「ベトナム」が 1,505 人（20.6%）、「ネパール」が 518 人（7.1%）、「韓国」が 400 人（5.5%）、「インドネシア」が 230 人（3.1%）と続き、アジア出身者が全回答者数の 95.3%である。

回答者の在籍学校別の内訳（第 1-3 表）は、「国立大学」が 883 人（12.1%）、「公立大学」が 125 人（1.7%）、「私立大学」が 2,295 人（31.3%）、「短期大学」が 89 人（1.2%）、「専修学校（専門課程）」が 2,139 人（29.2%）、「準備教育課程」が 92 人（1.3%）、「日本語教育機関」が 1,698 人（23.2%）である。

在籍段階別の回答者数（第 1-4 表）は、回答者の多い順に、「専修学校（専門課程）」が 2,139 人（29.2%）、「学部正規課程」が 1,737 人（23.7%）、「日本語教育機関」が 1,698 人（23.2%）、「大学院修士課程・博士前期課程」が 758 人（10.4%）、「大学院博士課程・博士後期課程」が 457 人（6.2%）、「学部レベルの研究生・聴講生」が 106 人（1.4%）、「準備教育課程」が 92 人（1.3%）、「短期大学」が 89 人（1.2%）、「大学院レベルの研究生」が 64 人（0.9%）、「専門職大学院課程」が 44 人（0.6%）と続く。
なお、「その他」には、留学生別科、専攻科に在籍するものを含む。

専攻分野別の回答者数（第 1-5 表）は、同様に、「社会科学」が 1,885 人（25.7%）、「日本語」が 1,774 人（24.2%）、「工学」が 1,126 人（15.4%）、「人文科学」が 1,021 人（13.9%）と続く。

第 1-1 表　回答者の性別　　（Q1 参照）

区分	男性	女性	計
人数（人）	3,754	3,567	7,321
率（%）	51.3	48.7	100.0

（注）　率は、回答者数の計（7,321 人）を 100 とした割合

第 1-2 表　出身国・地域別の回答者数

（Q2 参照）

	国・地域	人数	%
アジア	中国	3,256	44.5
	ベトナム	1,505	20.6
	ネパール	518	7.1
	韓国	400	5.5
	インドネシア	230	3.1
	台湾	200	2.7
	ミャンマー	174	2.4
	スリランカ	138	1.9
	マレーシア	124	1.7
	モンゴル	112	1.5
	タイ	91	1.2
	バングラデシュ	81	1.1
	インド	45	0.6
	フィリピン	44	0.6
	カンボジア	25	0.3
	パキスタン	10	0.1
	シンガポール	9	0.1
	ラオス	6	0.1
	ブータン	4	0.1
	東ティモール	2	0.0
	小計	6,974	95.3
中近東	イラン	9	0.1
	トルコ	5	0.1
	サウジアラビア	4	0.1
	アフガニスタン	2	0.0
	アラブ首長国連邦	1	0.0
	オマーン	1	0.0
	シリア	1	0.0
	ヨルダン	1	0.0
	小計	24	0.3
アフリカ	エジプト	11	0.2
	ナイジェリア	6	0.1
	ケニア	5	0.1
	ガーナ	4	0.1
	カメルーン	4	0.1
	エチオピア	3	0.0
	マラウイ	3	0.0
	ルワンダ	3	0.0
	シエラレオネ	2	0.0
	マリ	2	0.0
	ウガンダ	1	0.0
	エリトリア	1	0.0
	コートジボワール	1	0.0
	コンゴ民主共和国	1	0.0
	ザンビア	1	0.0
	ジンバブエ	1	0.0
	スーダン	1	0.0
	セネガル	1	0.0
	チュニジア	1	0.0
	トーゴ	1	0.0
	モロッコ	1	0.0
	南アフリカ	1	0.0
	小計	55	0.8
オセアニア	オーストラリア	4	0.1
	ミクロネシア	1	0.0
	小計	5	0.1
北米	アメリカ合衆国	34	0.5
	カナダ	12	0.2
	小計	46	0.6
中南米	ブラジル	16	0.2
	メキシコ	14	0.2
	コロンビア	5	0.1
	ペルー	5	0.1
	アルゼンチン	4	0.1
	コスタリカ	2	0.0
	エルサルバドル	1	0.0
	グアテマラ	1	0.0
	チリ	1	0.0
	パナマ	1	0.0
	ベネズエラ	1	0.0
	ボリビア	1	0.0
	小計	52	0.7
ヨーロッパ	ウズベキスタン	34	0.5
	フランス	23	0.3
	ロシア	23	0.3
	ドイツ	18	0.2
	イタリア	15	0.2
	カザフスタン	6	0.1
	スウェーデン	6	0.1
	スペイン	6	0.1
	英国	5	0.1
	キルギス	4	0.1
	スイス	3	0.0
	フィンランド	3	0.0
	オランダ	2	0.0
	タジキスタン	2	0.0
	ポーランド	2	0.0
	ウクライナ	1	0.0
	オーストリア	1	0.0
	ギリシャ	1	0.0
	スロバキア	1	0.0
	デンマーク	1	0.0
	ノルウェー	1	0.0
	ハンガリー	1	0.0
	ブルガリア	1	0.0
	ベラルーシ	1	0.0
	ベルギー	1	0.0
	マルタ	1	0.0
	モルドバ	1	0.0
	ルーマニア	1	0.0
	小計	165	2.3
合　計		7,321	100.0

（注）　率は、回答者数の計（7,321 人）を 100 とした割合

第 1-3 表　回答者の在籍学校別内訳　（Q11 参照）

区分	大学				短期大学	専修学校（専門課程）	準備教育課程	高等教育機関計	日本語教育機関	計
	国立	公立	私立	大学計						
調査対象者数	1,120	130	2,770	4,020	100	2,690	110	6,920	2,080	9,000
回答者数	883	125	2,295	3,303	89	2,139	92	5,623	1,698	7,321
率（%）	12.1	1.7	31.3	45.1	1.2	29.2	1.3	76.8	23.2	100.0
回収率（%）	78.8	96.2	82.9	82.2	89.0	79.5	83.6	81.3	81.6	81.3

（注）　1. 有効回答者は 7,321 人
　　2. 率は、回答者数の計（7,321 人）を 100 とした割合

第 1-4 表　在籍段階別の回答者数　（Q12 参照）

区分	大学院博士課程博士後期課程	大学院修士課程博士前期課程	専門職大学院課程	大学院レベルの研究生	学部正規課程	学部レベルの研究生聴講生	短期大学	専修学校（専門課程）	準備教育課程	日本語教育機関	その他	計
人数（人）	457	758	44	64	1,737	106	89	2,139	92	1,698	137	7,321
率（%）	6.2	10.4	0.6	0.9	23.7	1.4	1.2	29.2	1.3	23.2	1.9	100.0

（注）　1. 第 1-3 表の在籍学校「大学」に在籍する留学生別科、専攻科等は「その他」に含む
　　2. 率は、回答者数の計（7,321 人）を 100 とした割合

第 1-5 表　専攻分野別の回答者数　（Q16 参照）

区分	人文科学	社会科学	理学	工学	農学	医・歯学	薬学	家政	教育	日本語	その他	計
人数（人）	1,021	1,885	273	1,126	96	123	26	98	192	1,774	707	7,321
率（%）	13.9	25.7	3.7	15.4	1.3	1.7	0.4	1.3	2.6	24.2	9.7	100.0

（注）　1.「日本語」に、日本語教育機関の在籍者数 1,698 人を含む
　　2. 率は、回答者数の計（7,321 人）を 100 とした割合

第 1-6 表　居住地域別の回答者数　（Q30 参照）

区分		北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	東京	計
高等教育機関	人数（人）	100	113	2,765	571	1,227	246	38	563	1,457	5,623
日本語教育機関		10	22	1,150	123	286	19	4	84	900	1,698
計		110	135	3,915	694	1,513	265	42	647	2,357	7,321

2. 日本留学前の状況

留学の目的（第 2-1 表）を見ると、「日本で働く、もしくは日本企業に就職する」が 3,533 人（48.3%）で最も多く、次いで「学位を取得する」が 3,439 人（47.0%）、「就職に必要な技能や知識を身に付ける」が 2,713 人（37.1%）、「教養を身につける」が 1,929 人（26.3%）、「日本語の能力を高める」が 1,882 人（25.7%）、「国際的な経験をつんで国際的な人脈を作る」が 1,819 人（24.8%）と続く。

第 2-1 表　留学の目的　（複数回答）　（Q3 参照）

区分	学位を取得する	教養を身につける	就職に必要な技能や知識を身につける	日本で働く、もしくは日本企業に就職する	国際的な経験をつんで国際的な人脈を作る	国際的な考え方を身につける	良い環境で研究を行う	日本語の能力を高める	異文化に接する	その他	不明
集計 pt	9,211	4,335	5,856	7,650	3,276	2,541	1,528	3,213	2,376	104	－
集計 pt 率（%）	23.0	10.8	14.6	19.1	8.2	6.3	3.8	8.0	5.9	0.3	－
人数（人）	3,439	1,929	2,713	3,533	1,819	1,488	886	1,882	1,526	49	－
率（%）	47.0	26.3	37.1	48.3	24.8	20.3	12.1	25.7	20.8	0.7	－
令和元年（%）	50.8	20.6	42.9	45.0	23.9	20.7	12.9	30.8	21.1	0.6	－
平成 29 年（%）	52.5	25.9	49.4	46.2	29.8	30.8	9.7	22.0	17.2	0.9	0.2

（注）　1. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計（40,090）を 100 とした割合
2. 率は、回答者数の計（7,321 人）を 100 とした割合

日本を留学先として選んだ理由（第 2-2 表）を見ると、「日本社会に興味があり、日本で生活したかった」が 4,695 人（64.1%）で最も多く、次いで、「日本語・日本文化を勉強したかった」が 3,123 人（42.7%）、「日本の大学等の教育や研究が魅力的と思った」が 2,763 人（37.7%）と続く。

第 2-2 表　日本を留学先として選んだ理由　（複数回答）　（Q4 参照）

区分	日本社会に興味があり、日本で生活したかった	日本の大学等の教育や研究が魅力的と思った	地理的に近いため	興味ある専門分野があった	異文化に接したかった	日本語・日本文化を勉強したかった	日本と関連のある職業に就きたかった	奨学金を得られた
集計 pt	12,161	6,281	2,452	3,687	2,924	5,976	1,994	500
集計 pt 率（%）	30.2	15.6	6.1	9.1	7.3	14.8	4.9	1.2
人数（人）	4,695	2,763	1,296	1,830	1,637	3,123	1,194	269
率（%）	64.1	37.7	17.7	25.0	22.4	42.7	16.3	3.7
令和元年率（%）	61.3	36.3	17.0	23.7	20.1	44.3	19.4	5.6
平成 29 年率（%）	60.8	34.1	17.5	23.6	23.7	48.2	24.5	5.5

区分	友人、知人、家族等に勧められた	大学間交流等をきっかけとして	他の国も考えていたが、学力や費用等の条件が一番合った	その他	不明
集計 pt	1,969	473	1,709	172	－
集計 pt 率（%）	4.9	1.2	4.2	0.4	－
人数（人）	1,072	271	1,047	82	－
率（%）	14.6	3.7	14.3	1.1	－
令和元年率（%）	15.8	5.2	15.9	1.3	－
平成 29 年率（%）	18.4	4.9	16.8	1.5	0.3

（注）　1. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計（40,298）を 100 とした割合
2. 率は、回答者数の計（7,321 人）を 100 とした割合

留学するにあたり不安に感じていたこと（第 2-3 表）を見ると、「周囲の人と良好な関係を築き、うまくコミュニケーションをとることができるか」3,573 人（48.8%）が最も多く、次いで、「自分の希望する学習ができるか、また、学習の成果を上げることができるか」3,563 人（48.7%）、「経済的な困難に直面しないか」が 3,095 人（42.3%）と続く。

第 2-3 表　留学するにあたり不安に感じていたこと　（複数回答）　（Q5 参照）

区分	日本の天候や食べ物、習慣に適応できるか	自分の希望する学習ができるか、また、学習の成果を上げることができるか	周囲の人と良好な関係を築き、うまくｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝをとることができるか	適切な宿舎を確保できるか	病気にかかったり自然災害に遭ったりしないか	孤独に感じたりホームシックになったりしないか	経済的な困難に直面しないか	特に不安はなかった	その他	不明
集計 pt	4,391	8,556	7,732	981	4,660	3,528	5,932	2,221	143	－
集計 pt 率（%）	11.5	22.4	20.3	2.6	12.2	9.2	15.6	5.8	0.4	－
人数（人）	1,794	3,563	3,573	527	2,332	1,859	3,095	891	66	－
率（%）	24.5	48.7	48.8	7.2	31.9	25.4	42.3	12.2	0.9	－
令和元年率（%）	27.1	47.4	49.4	9.2	27.7	22.6	37.8	15.4	1.0	0.0
平成 29 年率(%)	27.7	52.2	52.7	12.3	26.6	24.0	41.8	14.3	1.6	0.3

（注）　1. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計（38,144）を 100 とした割合
2. 率は、回答者数の計（7,321 人）を 100 とした割合

留学するまでに特に苦労したこと（第 2-4 表）を見ると、「日本語学習」が 4,151 人（56.7%）で最も多く、次いで、「情報の収集」が 3,446 人（47.1%）、「留学資金準備」が 3,039 人（41.5%）と続く。

第 2-4 表　留学するまでに特に苦労したこと　（複数回答）　（Q6 参照）

区分	情報の収集	日本語学習	留学先学校との事前連絡	留学ビザ取得	留学資金準備	入学試験	その他	不明
集計 pt	8,067	10,135	2,687	4,380	6,363	4,688	368	－
集計 pt 率（%）	22.0	27.6	7.3	11.9	17.3	12.8	1.0	－
人数（人）	3,446	4,151	1,379	2,091	3,039	2,369	166	－
率（%）	47.1	56.7	18.8	28.6	41.5	32.4	2.3	－
令和元年率（%）	49.6	53.8	20.6	27.3	38.4	29.8	2.4	0.0
平成 29 年率（%）	49.5	54.8	26.7	28.7	46.4	30.0	4.3	0.9

（注）　1. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計（36,688）を 100 とした割合
2. 率は、回答者数の計（7,321 人）を 100 とした割合

留学情報の入手方法（第 2-5 表）を見ると、「親戚や友人に相談」が 3,076 人（42.0%）で最も多く、次いで、「母国の学校や教員に相談」が 2,612 人（35.7%）、「インターネットを利用して学校や日本学生支援機構（JASSO）の HP を検索」が 2,282 人（31.2%）と続く。

第 2-5 表　留学情報の入手方法　（複数回答）　（Q7 参照）

区分	日本留学フェア教育展等に参加	入学を希望する学校に直接問い合わせ	在外日本大使館等の在外公館に問い合わせ	母国の政府教育機関に問い合わせ	日本学生支援機構（JASSO）に問い合わせ	インターネットを利用して学校や日本学生支援機構（JASSO）のＨＰを検索	その他の民間団体に問い合わせ
集計 pt	4,984	4,809	855	2,357	629	5,142	3,705
集計 pt 率（%）	14.0	13.5	2.4	6.6	1.8	14.4	10.4
人数（人）	2,008	2,030	422	1,021	309	2,282	1,610
率（%）	27.4	27.7	5.8	13.9	4.2	31.2	22.0
令和元年率（%）	25.3	29.7	5.8	12.6	4.1	35.7	18.4
平成 29 年率（%）	27.0	29.1	5.2	11.2	3.7	44.8	19.9

区分	日本の出版物を購入	母国の学校や教員に相談	親戚や友人に相談	その他	不明
集計 pt	667	5,891	6,314	372	－
集計 pt 率（%）	1.9	16.5	17.7	1.0	－
人数（人）	379	2,612	3,076	165	－
率（%）	5.2	35.7	42.0	2.3	－
令和元年率（%）	5.2	32.0	42.0	2.5	0.0
平成 29 年率（%）	6.6	34.3	47.5	3.8	0.4

（注）　1. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計（35,725）を 100 とした割合
2. 率は、回答者数の計（7,321 人）を 100 とした割合

3. 在日・在学年数及び入学前の活動

在日年数（第 3-1 表）を見ると、「1 年以上 2 年未満」が 2,078 人（28.4%）で最も多く、次いで、「2 年以上 3 年未満」が 1,759 人（24.0%）、「3 年以上 4 年未満」が 1,636 人（22.3%）と続く。

第 3-1 表　在日年数　（Q8 参照）

区分	1 年未満	1 年～2 年未満	2 年～3 年未満	3 年～4 年未満	4 年～5 年未満	5 年～6 年未満	6 年以上	不明	計
人数（人）	155	2,078	1,759	1,636	834	540	319	－	7,321
率（%）	2.1	28.4	24.0	22.3	11.4	7.4	4.4	－	100.0
令和元年率（%）	15.9	31.5	19.5	15.5	8.3	5.1	4.2	0.0	100.0
平成 29 年率（%）	15.8	32.5	18.1	15.7	8.0	4.7	4.7	0.4	100.0

（注）　率は、回答者数の計（7,321 人）を 100 とした割合

第 3-2 表　在籍段階別の在日年数　（Q8・12 参照）

区分		1 年未満	1 年～2 年未満	2 年～3 年未満	3 年～4 年未満	4 年～5 年未満	5 年～6 年未満	6 年以上	計
大学院博士課程博士後期課程	人数（人）	16	42	74	80	96	66	83	457
	率（%）	3.5	9.2	16.2	17.5	21.0	14.4	18.2	100.0
大学院修士課程博士前期課程	人数（人）	16	134	186	183	78	60	101	758
	率（%）	2.1	17.7	24.5	24.1	10.3	7.9	13.3	100.0
専門職大学院課程	人数（人）	4	5	9	8	8	7	3	44
	率（%）	9.1	11.4	20.5	18.2	18.2	15.9	6.8	100.0
大学院レベルの研究生	人数（人）	2	9	20	13	11	6	3	64
	率（%）	3.1	14.1	31.3	20.3	17.2	9.4	4.7	100.0
学部正規課程	人数（人）	17	183	382	485	345	251	74	1,737
	率（%）	1.0	10.5	22.0	27.9	19.9	14.5	4.3	100.0
学部レベルの研究生・聴講生	人数（人）	3	8	20	30	24	15	6	106
	率（%）	2.8	7.5	18.9	28.3	22.6	14.2	5.7	100.0
短期大学	人数（人）	0	8	27	38	10	5	1	89
	率（%）	0.0	9.0	30.3	42.7	11.2	5.6	1.1	100.0
専修学校（専門課程）	人数（人）	22	212	790	750	234	97	34	2,139
	率（%）	1.0	9.9	36.9	35.1	10.9	4.5	1.6	100.0
準備教育課程	人数（人）	4	77	8	0	0	3	0	92
	率（%）	4.3	83.7	8.7	0.0	0.0	3.3	0.0	100.0
日本語教育機関	人数（人）	71	1,380	213	14	8	7	5	1,698
	率（%）	4.2	81.3	12.5	0.8	0.5	0.4	0.3	100.0
その他	人数（人）	0	20	30	35	20	23	9	137
	率（%）	0.0	14.6	21.9	25.5	14.6	16.8	6.6	100.0
計	人数（人）	155	2,078	1,759	1,636	834	540	319	7,321
	率（%）	2.1	28.4	24.0	22.3	11.4	7.4	4.4	100.0

（注）　率は、在籍段階別の回答者数の計を 100 とした割合

次の表（第 3-3 表と第 3-4 表）は、在籍段階別の在籍学生の入学経路と直接入学以外の者の在籍段階別の直近状況をまとめたものである。

表 3-3 を見ると、来日後「現在通っている大学・学校にすぐ入学した」と回答した者（直接入学の者）は 3,768 人（51.5%）で、そのうち大学・短期大学・専修学校（専門課程）への直接入学の者は 2,356 人（32.2%）である。また、「現在在籍している以外の学校に通ったり、就労等の経験がある」と回答した者（直接入学以外の者）は 3,553 人（48.5%）である。

第 3-3 表　在籍段階別の在籍学生の入学経路　（Q9・12 参照）

区分		大学院博士課程博士後期課程	大学院修士課程博士前期課程	専門職大学院課程	大学院レベルの研究生	学部正規課程	学部レベルの研究生聴講生	短期大学	専修学校（専門課程）	準備教育課程	日本語教育機関	その他	計
直接入学の者	人数（人）	283	326	23	29	656	58	45	868	71	1,341	68	3,768
	率（%）	61.9	43.0	52.3	45.3	37.8	54.7	50.6	40.6	77.2	79.0	49.6	51.5
	令和元年率（%）	66.4	54.5	61.1	68.5	50.3	55.7	61.1	50.3	80.5	82.9	56.7	62.1
	平成 29 年率（%）	63.1	48.5	50.0	56.1	38.8	47.1	55.0	36.8	82.9	80.5	47.3	53.6
直接入学以外の者	人数（人）	174	432	21	35	1,081	48	44	1,271	21	357	69	3,553
	率（%）	38.1	57.0	47.7	54.7	62.2	45.3	49.4	59.4	22.8	21.0	50.4	48.5
	令和元年率（%）	33.6	45.5	38.9	31.5	49.7	44.3	38.9	49.7	19.5	17.1	43.3	37.9
	平成 29 年率（%）	35.7	50.7	46.2	39.0	60.6	49.0	42.5	61.8	15.9	17.4	48.6	44.9
不明	人数（人）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	率（%）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	令和元年率（%）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平成 29 年率（%）	1.2	0.8	3.8	4.9	0.5	3.9	2.5	1.4	1.2	2.1	4.1	1.5
計	人数（人）	457	758	44	64	1,737	106	89	2,139	92	1,698	137	7,321
	率（%）	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

（注）1. 直接入学の者とは、現在在籍している大学・学校に来日後すぐに入学した者を示す
また、直接入学以外の者とは、現在在籍している以外の大学に通う他、就労等の経験がある者を示す
2. 率は、在籍段階別の回答者数の計を 100 とした割合

第 3-4 表　直接入学以外の者の在籍段階別の直近状況　（Q10・12 参照）

区分		大学院博士課程博士後期課程	大学院修士課程博士前期課程	専門職大学院課程	大学院レベルの研究生	学部正規課程	学部レベルの研究生聴講生	短期大学	専修学校（専門課程）	準備教育課程	日本語教育機関	その他	計
日本語教育機関	人数（人）	83	271	14	22	891	37	35	1,064	15	271	46	2,749
	率（%）	47.7	62.7	66.7	62.9	82.4	77.1	79.5	83.7	71.4	75.9	66.7	77.4
準備教育課程	人数（人）	4	11	0	1	11	0	1	14	0	6	1	49
	率（%）	2.3	2.5	0.0	2.9	1.0	0.0	2.3	1.1	0.0	1.7	1.4	1.4
留学生別科	人数（人）	8	25	1	3	64	3	5	43	0	7	4	163
	率（%）	4.6	5.8	4.8	8.6	5.9	6.3	11.4	3.4	0.0	2.0	5.8	4.6
専修学校（専門課程）	人数（人）	5	16	2	1	39	0	1	71	0	12	11	158
	率（%）	2.9	3.7	9.5	2.9	3.6	0.0	2.3	5.6	0.0	3.4	15.9	4.4
高等専門学校	人数（人）	2	10	0	0	22	2	0	20	0	5	2	63
	率（%）	1.1	2.3	0.0	0.0	2.0	4.2	0.0	1.6	0.0	1.4	2.9	1.8
短期大学	人数（人）	0	0	0	1	10	0	1	8	0	1	0	21
	率（%）	0.0	0.0	0.0	2.9	0.9	0.0	2.3	0.6	0.0	0.3	0.0	0.6
大学の学部	人数（人）	6	42	2	0	18	3	0	10	2	10	0	93
	率（%）	3.4	9.7	9.5	0.0	1.7	6.3	0.0	0.8	9.5	2.8	0.0	2.6
大学院	人数（人）	42	21	0	4	0	0	0	6	0	8	1	82
	率（%）	24.1	4.9	0.0	11.4	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	2.2	1.4	2.3
働いていた	人数（人）	8	15	1	3	9	0	0	19	4	25	1	85
	率（%）	4.6	3.5	4.8	8.6	0.8	0.0	0.0	1.5	19.0	7.0	1.4	2.4
その他	人数（人）	16	21	1	0	17	3	1	16	0	12	3	90
	率（%）	9.2	4.9	4.8	0.0	1.6	6.3	2.3	1.3	0.0	3.4	4.3	2.5
計	人数（人）	174	432	21	35	1,081	48	44	1,271	21	357	69	3,553
	率（%）	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

（注）1. 有効回答者は、第 3-3 表の回答者（7,321 人）のうち、「直接入学以外の者」と回答した数（3,553 人）
2. 率は、在籍段階別の回答者数の計を 100 とした割合

4. 留学後の日本への印象等

留学後の日本人に対する印象（第 4-1 表）を見ると、「良くなった」が 2,547 人（34.8%）で、「悪くなった」は 531 人（7.3%）である。

第 4-1 表　留学後の日本人に対する印象　（Q20 参照）

区分	留学前は悪かったが留学後に良くなった	留学前から良かったが留学後にさらに良くなった	留学前は良かったが留学後に悪くなった	留学前から悪かったが留学後にさらに悪くなった	留学前から良かったが留学後特に変化は無い	留学前から悪かったが留学後に特に変化は無い	不明	計
人数（人）	507	2,040	493	38	4,170	73	－	7,321
率（%）	6.9	27.9	6.7	0.5	57.0	1.0	－	100.0
令和元年率（%）	8.0	29.7	11.0	0.5	49.9	1.0	0.0	100.0
平成 29 年率（%）	8.7	32.5	12.0	0.4	44.5	0.8	1.2	100.0

（注）　率は、回答者数の計（7,321 人）を 100 とした割合

日本へ留学しての全体的な印象（第 4-2 表）は、留学して「良かった」が 6,988 人（95.5%）であり、「悪かった」は 28 人（0.4%）である。

第 4-2 表　日本へ留学しての全体的な印象　（Q21 参照）

区分	良かった	悪かった	どちらともいえない	不明	計
人数（人）	6,988	28	305	－	7,321
率（%）	95.5	0.4	4.2	－	100.0
令和元年率（%）	92.7	0.7	6.6	－	100.0
平成 29 年率（%）	92.0	1.2	6.1	0.7	100.0

（注）　率は、回答者数の計（7,321 人）を 100 とした割合

留学して良かったこと（第 4-3 表）を見ると、「日本語が習得できたこと」が 4,540 人（65.0%）と最も多く、次いで「国際的な考え方、教養を身につけることができたこと」が 4,226 人（60.5%）と続く。

第 4-3 表　留学して良かったこと　（複数回答）　（Q22 参照）

区分	質の高い教育を受けられたこと	日本語が習得できたこと	日本人の友人ができたこと	国際的な人脈ができたこと	国際的な考え方、教養を身につけることができたこと	その他	不明
集計 pt	9,165	10,691	4,491	3,695	8,169	241	－
集計 pt 率（%）	25.1	29.3	12.3	10.1	22.4	0.7	－
人数（人）	3,664	4,540	2,361	2,037	4,226	120	－
率（%）	52.4	65.0	33.8	29.1	60.5	1.7	
令和元年率（%）	50.4	60.1	36.6	32.7	55.2	2.0	0.0
平成 29 年率（%）	54.9	65.3	41.0	35.7	67.1	3.2	0.0

（注）　1. 有効回答者は、第 4-2 表の回答者（7,321 人）のうち、「良かった」と回答した数（6,988 人）
2. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計（36,452）を 100 とした割合
3. 率は、回答者数の計（6,988 人）を 100 とした割合

在籍校の良い点と悪い点（第 4-4 表）を見ると、良い点としては「学生のサポート体制」が 3,191 人（43.6%）と最も多く、次いで「学修環境」が 2,572 人（35.1%）と続く。一方、悪い点としては「課外活動」が 2,236 人（30.5%）と最も多く、次いで「福利厚生」が 1,006 人（13.7%）である。

第 4-4 表　在籍校の良い点と悪い点　（Q18・19 参照）

区分		学生のサポート体制	学修環境	研究内容	福利厚生	課外活動	その他	特になし	不明
良い点	人数（人）	3,191	2,572	872	169	305	212	－	－
	率（%）	43.6	35.1	11.9	2.3	4.2	2.9	－	－
	令和元年率（%）	41.7	32.6	13.4	1.7	6.9	2.7	1	0.0
	平成 29 年率(%)	44.5	28.9	9.6	2.4	5.8	1.3	-	7.5
悪い点	人数（人）	721	836	528	1,006	2,236	1,994	－	－
	率（%）	9.8	11.4	7.2	13.7	30.5	27.2	－	－
	令和元年率（%）	11.1	12.0	8.0	15.8	26.4	7.4	19	0.0
	平成 29 年率(%)	5.8	7.6	5.1	9.3	15.2	8.8	-	48.2

（注）　率は、回答者数の計（7,321 人）を 100 とした割合

在日年数別の日本へ留学しての全体的な印象（第 4-5 表）を見ると、在日年数に関わらず「良かった」が９割以上である。

第 4-5 表　在日年数別の日本へ留学しての全体的な印象　（Q8・21 参照）

区分			良かった	悪かった	どちらともいえない	計
在日年数	1 年未満	人数（人）	149	1	5	155
		率（%）	96.1	0.6	3.2	100.0
	1 年～2 年未満	人数（人）	1,987	9	82	2,078
		率（%）	95.6	0.4	3.9	100.0
	2 年～3 年未満	人数（人）	1,682	7	70	1,759
		率（%）	95.6	0.4	4.0	100.0
	3 年～4 年未満	人数（人）	1,562	4	70	1,636
		率（%）	95.5	0.2	4.3	100.0
	4 年～5 年未満	人数（人）	795	2	37	834
		率（%）	95.3	0.2	4.4	100.0
	5 年～6 年未満	人数（人）	513	3	24	540
		率（%）	95.0	0.6	4.4	100.0
	6 年以上	人数（人）	300	2	17	319
		率（%）	94.0	0.6	5.3	100.0
計		人数（人）	6,988	28	305	7,321
		率（%）	95.5	0.4	4.2	100.0

（注）　率は、在日年数別の回答者数の計を 100 とした割合

留学後の苦労（第 4-6 表）を見ると、「物価が高い」が 5,438 人（74.3%）と最も多く、次いで、「日常生活における母国の習慣（生活習慣、宗教上の習慣等）との違い」が 2,790 人（38.1%）、「日本語の習得」が 2,638 人（36.0%）と続く。

第 4-6 表　留学後の苦労　（複数回答）　（Q23 参照）

区分	物価が高い	日常生活における母国の習慣（生活習慣、宗教上の習慣等）との違い	宿舎等を探すこと	宿舎等におけるルール（ゴミ出し等）を守ること	日本語の習得	英語の習得	学校内で日本人学生と交流できないこと
集計 pt	14,641	5,983	2,661	1,734	5,377	1,617	2,980
集計 pt 率（%）	38.6	15.8	7.0	4.6	14.2	4.3	7.9
人数（人）	5,438	2,790	1,382	988	2,638	885	1,624
率（%）	74.3	38.1	18.9	13.5	36.0	12.1	22.2
令和元年率（%）	75.0	35.6	20.3	12.6	30.6	13.5	20.9
平成 29 年率（%）	74.0	34.6	22.4	13.7	30.7	17.1	22.6

区分	学校の教員、職員とのコミュニケーションが取れないこと	学校の授業についていくこと	その他	不明
集計 pt	904	1,381	611	－
集計 pt 率（%）	2.4	3.6	1.6	－
人数（人）	542	826	278	－
率（%）	7.4	11.3	3.8	－
令和元年率（%）	7.1	12.0	3.9	0.0
平成 29 年率（%）	7.0	13.7	4.3	4.8

（注）　1. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計（37,889）を 100 とした割合
2. 率は、回答者数の計（7,321 人）を 100 とした割合

5. 収入

※「5. 収入」、「6. 奨学金」、「7. 支出」においては、Q24 の収入・支出に関する設問で有効な回答があった 4,729 人についてのみの集計となる（※第 1-3 表の回答者数（7,321 人）と回答者数が異なる）。

全体の平均月収入額は、158,000 円である。在籍段階別の平均月収入額（第 5-3 表）を見ると、「学部正規課程」が 168,000 円と最も高く、次いで、「専門職大学院課程」が 165,000 円、「準備教育課程」が 158,000 円、「日本語教育課程」が 157,000 円、「大学院博士課程・博士後期課程」が 155,000 円、「大学院修士課程・博士前期課程」と「専修学校（専門課程）」が 154,000 円、「学部レベルの研究生聴講生」が 152,000 円、「その他」が 149,000 円、「大学院レベルの研究生」が 143,000 円、「短期大学」が 136,000 円と続く。

第 5-1 表　収入・支出の有効回答者の在籍段階別内訳数　（Q12・24 参照）

区分	大学院博士課程博士後期課程	大学院修士課程博士前期課程	専門職大学院課程	大学院レベルの研究生	学部正規課程	学部レベルの研究生聴講生	短期大学	専修学校（専門課程）	準備教育課程	日本語教育機関	その他	計
人数（人）	342	514	21	35	1,166	60	44	1,411	61	1,000	75	4,729

（注）1. 有効回答者は、第 1-3 表の回答者（7,321 人）のうち、Q24 の収入・支出において、有効な回答とみなされた数（4,729 人）
2. 第 1-3 表の在籍学校「大学」に在籍する留学生別科、専攻科等は「その他」に含む

第 5-2 表　収入・支出の有効回答者の在籍学校別内訳　（Q24 参照）

区分	大学				短期大学	専修学校（専門課程）	準備教育課程	高等教育機関計	日本語教育機関	計
	国立	公立	私立	大学計						
人数（人）	657	88	1,468	2,213	44	1,411	61	3,729	1,000	4,729

（注）有効回答者は、第 5-1 表の回答者（4,729 人）

第 5-3 表　在籍段階別の平均月収入額　（全体と在籍段階別）　（Q12・24 参照）

区分	大学院博士課程博士後期課程	大学院修士課程博士前期課程	専門職大学院課程	大学院レベルの研究生	学部正規課程	学部レベルの研究生聴講生	短期大学	専修学校（専門課程）	準備教育課程	日本語教育機関	その他	全体	（参考）中央値
平均月額(千円)	155	154	165	143	168	152	136	154	158	157	149	158	150
令和元年(千円)	143	142	153	136	148	145	138	150	159	153	138	148	
平成 29 年(千円)	134	132	165	127	148	128	143	153	173	148	146	146	

（注）1. 有効回答者は、第 5-1 表の回答者（4,729 人）
2. 平均月額は、在籍段階別の収入額の計を、第 5-1 表の在籍段階別の人数で除した額
3. 中央値とは、低い金額から高い金額へと順に並べ、ちょうど中央に当たる値を言う
ただし、データの件数が偶数の場合は、中央の 2 つの値の平均値を中央値とする

大学国公私別の平均月収入額（第 5-4 表）を見ると、全体の平均収入額が 161,000 円であり、私立大学が 173,000 円、国立大学が 139,000 円、公立大学が 125,000 円である。

第 5-4 表　大学国公私別の平均月収入額　（Q11・24 参照）

区分	大学			全体
	国立	公立	私立	
平均月額（千円）	139	125	173	161
令和元年（千円）	124	127	157	145
平成 29 年（千円）	121	116	154	142

（注）1. 有効回答者は、第 5-1 表の回答者（4,729 人）のうち、第 5-2 表の「大学」に在籍する数（2,213 人）
2. 平均月額は、大学国公私別の収入額の計を、大学国公私別の人数で除した額

項目別平均月収入額(第 5-5 表)を見ると、高等教育機関においては、「アルバイト」が 2,761 人(74.0%)で 79,000 円、「仕送り」が 2,463 人（66.0%）で 91,000 円、「奨学金」が 1,996 人（53.5%）で 62,000 円と続く。日本語教育機関においては、「仕送り」が 756 人（75.6%）で 109,000 円、「アルバイト」が 649 人（64.9%）で 92,000 円、「奨学金」が 352 人（35.2%）で 32,000 円と続く。

第 5-5 表　項目別平均月収入額　（収入額の計を当該収入を得ている者の計で除した額）　（Q24 参照）

区分		仕送り	アルバイト	奨学金	知人の援助	配偶者の収入	その他
高等教育機関	人数（人）	2,463	2,761	1,996	84	47	221
	率（%）	66.0	74.0	53.5	2.3	1.3	5.9
	平均月額（千円）	91	79	62	32	124	61
日本語教育機関	人数（人）	756	649	352	20	2	39
	率（%）	75.6	64.9	35.2	2.0	0.2	3.9
	平均月額（千円）	109	92	32	36	90	69

（注）1. 有効回答者は、第 5-1 表の回答者（4,729 人）
2. 率は、第 5-2 表の高等教育機関（3,729 人）・日本語教育機関（1,000 人）別の人数を 100 とした割合
3. 平均月額は、高等教育機関・日本語教育機関別に各項目の収入額の計を、各項目別に収入を得ている人数で除した額（収入を得ている者の平均月額）

【参考】項目別平均月収入額（収入額の計を、当該収入を得ている者及び得ていない者の計で除した額）
（Q24 参照）

区分		仕送り	アルバイト	奨学金	知人の援助	配偶者の収入	その他
高等教育機関	平均月額（千円）	60	59	33	1	2	4
日本語教育機関	平均月額（千円）	83	60	11	1	0	3

（注）1. 有効回答者は、第 5-1 表の回答者（4,729 人）
2. 平均月額は、高等教育機関・日本語教育機関別に各項目の収入額の計を、第 5-2 表の高等教育機関（3,729 人）・日本語教育機関（1,000 人）の人数で除した額　※（当該収入を得ていない者も人数に含む）

居住地域別平均月収入額(第 5-6 表)は、関東地方が 172,000 円と全国で最も高く、四国地方が 118,000 円と最も低い。なお、東京のみでは 179,000 円となっている。

第 5-6 表　居住地域別平均月収入額（単位:千円）　（Q24・30 参照）

区分	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	東京	全国平均
高等教育機関	133	139	174	142	156	142	120	129	183	158
日本語教育機関	172	142	167	134	147	105	100	123	171	157
全体	135	140	172	141	154	140	118	128	179	158

（注）1. 有効回答者は、第 5-1 表の回答者（4,729 人）
2. 平均月額は、高等教育機関・日本語教育機関別に、各居住地域の 1 か月の収入額の計を、各居住地域別の人数で除した額

第 5-7 表　居住地域別の項目別収入内訳（単位:千円）　（Q24・30 参照）

区分	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	東京	全国平均
仕送り	56	36	83	34	63	39	28	31	98	65
アルバイト	29	53	56	73	56	66	54	68	49	59
奨学金	37	44	28	29	30	26	28	26	26	29
知人の援助	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
配偶者の収入	5	2	1	2	2	3	0	0	1	1
その他	5	3	4	2	4	4	8	2	4	3

（注）1. 有効回答者は、第 5-1 表の回答者（4,729 人）
2. 収入内訳は、項目別に、各居住地域の収入額の計を、各居住地域別の回答者の人数（収入を得ている者及び得ていない者）の計で除した額

6. 奨学金

※「5. 収入」、「6. 奨学金」、「7. 支出」においては、Q24 の収入・支出に関する設問で有効な回答があった 4,729 人についてのみの集計となる（※第 1-3 表の回答者数（7,321 人）と回答者数が異なる）。

奨学金の受給者は 2,348 人で、全体（Q24 の有効回答者）の 49.7%である。奨学金の受給内容内訳（第 6-1 表）を見ると、高等教育機関では、「学習奨励費」が 1,281 人（64.2%）、月額 48,000 円が最も多く、次いで「大学・学校からの奨学金」が 396 人（19.8%）、47,000 円、「民間団体の奨学金」が 318 人（15.9%）、93,000 円と続く。日本語教育機関では、「学習奨励費」が 297 人（84.4%）、30,000 円が最も多く、次いで「大学・学校からの奨学金」が 27 人（7.7%）17,000 円、「その他の奨学金」が 8 人（2.3%）で 48,000 円と続く。

第 6-1 表　奨学金の受給内容内訳（複数回答）　（Q24 参照）　)

区分		学習奨励費	大学・学校からの奨学金	地方自治体（都道府県市区町村）による援助金	民間団体の奨学金	海外の団体による奨学金（日本以外の団体）	その他の奨学金
高等教育機関	人数（人）	1,281	396	75	318	11	112
	率（%）	64.2	19.8	3.8	15.9	0.6	5.6
	平均月額(千円)	48	47	46	93	124	86
	令和元年（千円）	48	42	52	90	84	73
	平成 29 年（千円）	48	45	48	87	133	77
日本語教育機関	人数（人）	297	27	2	24	4	8
	率（%）	84.4	7.7	0.6	6.8	1.1	2.3
	平均月額(千円)	30	17	9	32	168	48
	令和元年（千円）	30	16	6	18	4	28
	平成 29 年（千円）	30	23	25	44	8	31

（注）1. 有効回答者は、第 5-5 表の回答者（4,729 人）のうち、「奨学金を受給している」と回答した数（2,348 人）
2. 率は、回答者の人数の計を高等教育機関（1,996 人）・日本語教育機関（352 人）別にそれぞれ 100 とした割合
3. 平均月額は、高等教育機関・日本語教育機関別に、各項目の支出額の計を、各項目別に支出をしている人数で除した額（支出をしている者の平均月額）

在籍学校別奨学金受給者（第 6-2 表）を見ると、「国立大学」が 412 人（62.7%）で、平均が 87,000 円と最も高く、最も低い金額は、「日本語教育機関」で 352 人（35.2%）32,000 円である。

第 6-2 表　在籍学校別奨学金受給者（年度別比較表）　（Q11・24 参照）

区分	大学				短期大学	専修学校（専門課程）	準備教育課程	高等教育機関計
	国立	公立	私立	大学計				
人数（人）	412	61	931	1,404	21	532	39	1,996
率（%）	62.7	69.3	63.4	63.4	47.7	37.7	63.9	53.5
令和元年率（%）	59.9	73.7	45.4	51.1	30.4	19.6	19.2	41.2
平成 29 年率（%）	63.4	70.3	53.4	57.3	34.5	26.2	30.8	47.7
平均月額（千円）	87	75	60	68	40	48	50	62
令和元年率（%）	78	68	59	66	42	42	45	62
平成 29 年率（%）	75	61	56	63	41	52	52	61

区分	日本語教育機関	奨学金受給者計	奨学金非受給者	計
人数（人）	352	2,348	2,381	4,729
率（%）	35.2	49.7	50.3	100.0
令和元年率（%）	13.1	33.4	66.6	100.0
平成 29 年率（%）	14.4	39.3	60.7	100.0
平均月額（千円）	32	58	—	—
令和元年率（%）	39	60	—	—
平成 29 年率（%）	30	58	—	—

（注）1. 有効回答者は、第 5-1 表の回答者（4,729 人）
2. 率は、第 5-2 表の在籍学校別の人数を 100 とした割合
3. 平均月額は、在籍学校別の受給額の計を、在籍学校別に受給を得ている人数で除した額（受給している者の平均月額）

在籍段階別奨学金受給者（第 6-3 表）を見ると、最も受給率が高いのは、「大学院博士課程・博士後期課程」の 66.1%（226 人）で、平均月額は 102,000 円である。次いで、「学部正規課程」の 64.8%（755 人、58,000 円）、「大学院修士課程・博士前期課程」の 62.5%（321 人、74,000 円）と続く。最も受給率が低いのは、「日本語教育機関」の 35.2%（352 人、32,000 円）である。

第 6-3 表　在籍段階別奨学金受給者　（Q12・24 参照）

区分	大学院博士課程博士後期課程	大学院修士課程博士前期課程	専門職大学院課程	大学院レベルの研究生	学部正規課程	学部レベルの研究生聴講生	短期大学	専修学校（専門課程）	準備教育課程	日本語教育機関	その他	計
人数（人）	226	321	10	13	755	35	21	532	39	352	44	2,348
率（%）	66.1	62.5	47.6	37.1	64.8	58.3	47.7	37.7	63.9	35.2	58.7	49.7
令和元年率（%）	66.2	55.0	22.2	26.9	48.0	47.3	30.4	19.6	19.2	13.1	33.6	33.4
平成 29 年率（%）	74.3	62.7	47.2	44.4	54.3	35.1	34.5	26.4	30.8	14.2	33.1	39.3
平均月額（千円）	102	74	56	47	58	57	40	48	50	32	61	58
令和元年率（%）	92	71	67	59	55	64	42	42	45	39	51	60
平成 29 年率（%）	89	69	67	55	54	61	41	52	52	30	45	58

（注）1. 有効回答者は、第 5-5 表の回答者（4,729 人）のうち、「奨学金を受給している」と回答した数（2,348 人）
2. 率は、第 5-1 表の在籍段階別の人数を 100 とした割合
3. 平均月額は、在籍段階別の受給額の計を、在籍段階別に受給を得ている人数で除した額（受給している者の平均月額）

7. 支出

※「5. 収入」、「6. 奨学金」、「7. 支出」においては、Q24 の収入・支出に関する設問で有効な回答があった 4,729 人についてのみの集計となる（※第 1-3 表の回答者数（7,321 人）と回答者数が異なる）。

在籍段階別の平均月支出額（第 7-1 表）を見ると、「学部正規課程」が 168,000 円と最も高く、以下、「専門職大学院課程」が 165,000 円、「準備教育課程」が 158,000 円、「日本語教育課程」が 157,000 円、「大学院博士課程・博士後期課程」が 155,000 円、「大学院修士課程・博士前期課程」と「専修学校（専門課程）」が 154,000 円、「学部レベルの研究生・聴講生」が 152,000 円、「その他」が 149,000 円、「大学院レベルの研究生」が 143,000 円、「短期大学」が 136,000 円と続く。支出の平均月額は 158,000 円である。

第 7-1 表　在籍段階別の平均月支出額　（全体と在籍段階別）　（Q12・24 参照）

区分	大学院博士課程博士後期課程	大学院修士課程博士前期課程	専門職大学院課程	大学院レベルの研究生	学部正規課程	学部レベルの研究生聴講生	短期大学	専修学校（専門課程）	準備教育課程	日本語教育機関	その他	全体	（参考）中央値
平均月額（千円）	155	154	165	143	168	152	136	154	158	157	149	158	150
令和元年（千円）	143	142	153	136	148	145	138	150	159	153	138	148	
平成 29 年（千円）	134	132	165	127	148	128	143	153	173	148	146	146	

（注）1. 有効回答者は、第 1-3 表の回答者（7,321 人）のうち、Q24 の収入・支出において、有効な回答とみなされた数（4,729 人）で、表 5－1 表で有効な回答とみなされた数（4,729 人）と同じ回答者である。
2. 第 1-3 表の在籍学校「大学」に在籍する留学生別科、専攻科等は「その他」に含む
3. 中央値とは、低い金額から高い金額へと順に並べ、ちょうど中央に当たる値を言う
ただし、データの件数が偶数の場合は、中央の 2 つの値の平均値を中央値とする

大学国公私別の平均月支出額（第 7-2 表）を見ると、私立大学が 173,000 円と最も高く、国立大学が 139,000 円、公立大学が 125,000 円と続く。

第 7-2 表　大学国公私別の平均月支出額　（Q11・24 参照）

区分	大学			大学全体
	国立	公立	私立	
平均月額（千円）	139	125	173	161
令和元年（千円）	124	127	157	145
平成 29 年（千円）	121	116	154	142

（注）1. 有効回答者は、第 5－1 表及び第 7-1 表の回答者（4,729 人）のうち、第 5-2 表の「大学」に在籍する数（2,213 人）
2. 平均月額は、大学国公私別の支出額の計を、大学国公私別の人数で除した額

居住地域別の平均月支出額（第 7-3 表）を見ると、関東地方が平均 172,000 円と全国で最も高く、四国地方が 118,000 円と最も低い。なお、東京のみでは、179,000 円である。

第 7-3 表　居住地域別の平均月支出額　（単位：千円）　（Q24・30 参照）

区分	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	東京	全国平均
高等教育機関	133	139	174	142	156	142	120	129	183	158
日本語教育機関	172	142	167	134	147	105	100	123	171	157
全体	135	140	172	141	154	140	118	128	179	158

（注）1. 有効回答者は、第 5-1 表及び第 7-1 表の回答者（4,729 人）
2. 平均月額は、高等教育機関・日本語教育機関別に、各居住地域の 1 か月の支出額の計を、各居住地域別の人数で除した額

第 7-4 表　居住地域別の項目別支出内訳　（単位：千円）　（Q24・30 参照）

区分	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	東京	全国平均
学習研究費	37	40	60	51	58	50	37	46	62	56
通学費	2	2	5	3	3	3	1	2	5	4
食費	32	28	29	26	26	28	28	24	30	28
住居費	30	34	44	29	37	27	24	26	50	38
電気、ガス、水道料金	13	10	7	7	7	9	9	8	7	7
保険、医療費	2	3	3	4	3	4	4	3	3	3
趣味、娯楽費	5	4	5	5	5	5	3	4	6	5
その他の日常的な経費	9	11	8	9	8	7	8	6	8	8
残額	5	8	9	8	7	8	6	9	9	9

（注）1. 有効回答者は、第 5-1 表及び第 7-1 表の回答者（4,729 人）
2. 支出内訳は、項目別に、各居住地域の支出額の計を、各居住地域別の回答者数（支出をしている者及びしていない者）の計で除した額

項目別平均月支出額の内訳（第 7-5 表）を見ると、「学習研究費」が 60,000 円と最も高く、次いで「住居費」が 39,000 円、「食費」が 28,000 円、「その他の日常的な経費」が 10,000 円、「趣味・娯楽費」と「電気、ガス、水道料金」が 8,000 円、「通学費」が 7,000 円と続く。

第 7-5 表　項目別平均月支出額の内訳　（Q24 参照）

区分	学習研究費	通学費	食費	住居費	電気、ガス 水道料金	保険 医療費	趣味 娯楽費	その他の日常 的な経費	残額
人数（人）	4,407	2,626	4,631	4,521	4,168	4,045	2,927	3,655	3,039
率（%）	93.2	55.5	97.9	95.6	88.1	85.5	61.9	77.3	64.3
平均月額（千円）	60	7	28	39	8	4	8	10	13
令和元年率（%）	81.9	55.7	96.0	93.1	83.9	77.6	61.9	75.3	50.4
令和元年（千円）	55	8	29	38	8	4	10	12	21
平成 29 年率（%）	86.3	55.8	97.0	95.0	84.9	75.3	59.8	58.2	53.2
平成 29 年（千円）	46	4	27	33	7	2	6	7	8

（注）1. 有効回答者は、第 5-1 表及び第 7-1 表の回答者（4,729 人）
2. 率は、回答者数の計（4,729 人）を 100 とした割合
3. 平均月額は、各項目の支出額の計を、各項目別に支出をしている人数で除した額（支出をしている者の平均月額）

学習研究費の内訳（第 7-6 表）を見ると、「授業料」の平均月額が 59,000 円と最も多く、「教科書、実習材料、文具等の経費」が 8,000 円、「サークル活動の会費、合宿費」が 7,000 円と続く。

第 7-6 表　学習研究費の内訳　（Q11・24 参照）

区分	授業料*	（授業料内訳）学校種別							教科書、実習材料、文具等の経費*	サークル活動の会費、合宿費*
		国立	公立	私立	短期大学	専修学校（専門課程）	準備教育課程	日本語教育機関		
人数（人）	4,046	447	74	1,311	40	1,263	58	853	2,957	390
率（%）	85.6	68.0	84.1	89.3	90.9	89.5	95.1	85.3	62.5	8.2
平均月額（千円）	59	38	36	70	52	60	55	56	8	7

（注）1. 有効回答者は、第 5-1 表及び第 7-1 表の回答者（4,729 人）
2. ＊印の率は、回答者数の計（4,729 人）を 100 とした割合
3. 学校種別の率は、第 5-2 表の在籍学校別の人数を 100 とした割合
4. 平均月額は、各項目の支出額の計を、各項目別に支出をしている人数で除した額（支出をしている者の平均月額）

宿舎形態と在籍学校区分による平均月支出額（第 7-7 表）を見ると、「民間アパート・マンション等」に居住する学生が 3,789 人（80.1%）と最も多い。宿舎については、第 10 節で詳しく触れる。

第 7-7 表　宿舎形態と在籍学校区分による平均月支出額　（Q11・12・24・31 参照）

区分		国立大学			公立大学			私立大学		
		大学院レベルの学生	学部レベルの学生	全体	大学院レベルの学生	学部レベルの学生	全体	大学院レベルの学生	学部レベルの学生	全体
民間アパート・マンション等	人数（人）	317	152	469	37	16	53	334	884	1,218
	平均月額（千円）	149	136	145	132	132	132	170	178	174
大学・学校の学生寮（留学生用・一般学生用）	人数（人）	92	28	120	8	13	21	37	70	107
	平均月額（千円）	117	116	117	112	111	111	182	158	166
その他	人数（人）	52	11	63	8	5	13	27	47	74
	平均月額（千円）	136	133	136	115	117	116	189	155	164
計	人数（人）	461	191	652	53	34	87	398	1,001	1,399
	平均月額（千円）	141	133	139	127	122	125	173	175	173

区分		短期大学	専修学校（専門課程）	準備教育課程	日本語教育機関	その他	計
民間アパート・マンション等	人数（人）	42	1,186	43	714	64	3,789
	平均月額（千円）	137	156	169	161	153	161
大学・学校の学生寮（留学生用・一般学生用）	人数（人）	1	108	14	187	4	562
	平均月額（千円）	120	135	131	151	135	141
その他	人数（人）	1	117	4	99	7	378
	平均月額（千円）	110	155	137	144	122	149
計	人数（人）	44	1,411	61	1,000	75	4,729
	平均月額（千円）	136	154	158	157	149	158

（注）1. 有効回答者は、第 5-1 表及び第 7-1 表の回答者（4,729 人）
2. 平均月額は、各項目の支出額の計を、各項目別の人数で除した額
※大学院レベルは、博士課程・博士後期課程、修士課程・博士前期課程、専門職大学院課程、大学院レベルの研究生を示し、学部レベルは、学部正規課程、学部レベルの研究生・聴講生を示す。

8. アルバイト

アルバイト従事率（第 8-1 表）を見ると、「アルバイトをしている」学生は 4,908 人（67.0%）である。

第 8-1 表　アルバイト従事率　（Q25 参照）

区分	アルバイトをしている	アルバイトをしていない	不明	計
人数（人）	4,908	2,413	－	7,321
率（%）	67.0	33.0	－	100.0
令和元年率（%）	70.4	29.6	0.0	100.0
平成 29 年率（%）	75.8	23.4	0.8	100.0

（注）率は、回答者数の計（7,321 人）を 100 とした割合

第 8-2 表　在籍学校別アルバイト従事率　（Q11・25 参照）

区分	大学				短期大学	専修学校（専門課程）	準備教育課程	高等教育機関計	日本語教育機関	計
	国立	公立	私立	大学計						
人数（人）	480	81	1,410	1,971	75	1,799	57	3,902	1,006	4,908
率（%）	54.4	64.8	61.4	59.7	84.3	84.1	62.0	69.4	59.2	67.0
令和元年率（%）	55.3	56.7	72.0	66.4	86.8	84.9	46.9	71.5	67.5	70.4
平成 29 年率（%）	60.0	64.1	76.0	70.9	87.5	87.3	52.4	75.5	76.4	75.8

（注）1. 有効回答者は、第 8-1 表の回答数（7,321 人）のうち、「アルバイトをしている」と回答した数（4,908 人）
2. 率は、第 1-3 表の在籍学校別の人数を 100 とした割合

第 8-3 表　在籍段階別アルバイト従事率　（Q11・25 参照）

区分	大学院博士課程博士後期課程	大学院修士課程博士前期課程	専門職大学院課程	大学院レベルの研究生	学部正規課程	学部レベルの研究生聴講生	短期大学	専修学校（専門課程）	準備教育課程	日本語教育機関	その他	計
人数（人）	276	397	34	54	1,038	77	75	1,799	57	1,006	95	4,908
率（%）	60.4	52.4	77.3	84.4	59.8	72.6	84.3	84.1	62.0	59.2	69.3	67.0
令和元年率（%）	53.1	61.9	80.6	77.8	69.1	83.5	86.8	84.9	46.9	67.5	82.3	70.4
平成 29 年率（%）	41.2	49.5	88.9	59.3	63.3	43.3	24.3	74.7	33.6	60.9	125.5	61.5

（注）1. 有効回答者は、第 8-1 表の回答数（7,321 人）のうち、「アルバイトをしている」と回答した数（4,908 人）
2. 率は、第 1-4 表の在籍段階別の人数を 100 とした割合

アルバイトの職種（第 8-4 表）を見ると、軽労働の「飲食業」が 1,719 人（35.0%）と最も多く、次いで、「営業・販売（コンビニ等)」が 1,484 人（30.2%)、「工場での組立作業」が 301 人（6.1%)、「ティーチングアシスタント・リサーチアシスタント」が 274 人（5.6%）と続く。

第 8-4 表　アルバイトの職種　（複数回答）　（Q26 参照）

区分	講師				事務		軽労働					
	家庭教師	語学教師	塾講師	ﾃｨｰﾁﾝｸﾞｱｼｽﾀﾝﾄ・ﾘｻｰﾁｱｼｽﾀﾝﾄ	一般事務	経理事務	清掃	警備	ビル管理	ガソリンスタンド	配達	発送作業
人数（人）	73	189	95	274	144	15	158	8	5	7	172	100
率（%）	1.5	3.9	1.9	5.6	2.9	0.3	3.2	0.2	0.1	0.1	3.5	2.0
令和元年率（%）	1.7	5.1	1.5	5.6	4.5	0.6	3.5	0.2	0.2	0.1	2.1	1.0
平成 29 年率（%）	3.8	5.4	2.7	6.3	4.1	0.5	4.8	0.1	0.2	0.1	1.9	1.3

区分	軽労働				重労働				特殊技能			その他
	飲食業	営業・販売（コンビニ等）	ホテル受付・ホール係	出版物等の印刷作業	土木・建設作業	引越業	工場での組立作業	倉庫整理	翻訳通訳	ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾏｰ・ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ	ｸﾞﾗﾌｨｯｸ・ﾃﾞｻﾞｲﾅｰ	
人数（人）	1,719	1,484	100	11	12	11	301	124	144	23	32	523
率（%）	35.0	30.2	2.0	0.2	0.2	0.2	6.1	2.5	2.9	0.5	0.7	10.7
令和元年率（%）	40.2	33.0	4.8	0.2	0.3	0.4	3.0	1.1	6.3	0.7	0.4	4.4
平成 29 年率（%）	36.6	25.3	4.7	0.1	0.2	0.5	3.1	1.3	5.8	0.5	0.5	5.1

区分	不明
人数（人）	—
率（%）	—
令和元年率（%）	0.0
平成 29 年率（%）	0.8

（注）1. 有効回答者は、第 8-1 表の回答数（7,321 人）のうち、「アルバイトをしている」と回答した数（4,908 人）
2. 率は、回答者数の計（4,908 人）を 100 とした割合

１週間のアルバイトの時間数（第 8-5 表）を見ると、「週 20 時間以上 25 時間未満」が 1,817 人（37.0%）と最も多く、次いで、「週 15 時間以上 20 時間未満」が 965 人（19.7%）と続く。

第 8-5 表　１週間のアルバイトの時間数　（全体と在籍段階別）　（Q12・27 参照）

区分		5 時間未満	5 時間～10 時間未満	10 時間～15 時間未満	15 時間～20 時間未満	20 時間～25 時間未満	25 時間以上	不明	計
大学院博士課程・博士後期課程	人数（人）	37	56	67	58	48	10	0	276
	率（%）	13.4	20.3	24.3	21.0	17.4	3.6	0.0	100.0
大学院修士課程・博士前期課程	人数（人）	65	74	81	81	74	20	2	397
	率（%）	16.4	18.6	20.4	20.4	18.6	5.0	0.5	100.0
専門職大学院課程	人数（人）	1	2	6	7	16	2	0	34
	率（%）	2.9	5.9	17.6	20.6	47.1	5.9	0.0	100.0
大学院レベルの研究生	人数（人）	1	6	8	11	18	10	0	54
	率（%）	1.9	11.1	14.8	20.4	33.3	18.5	0.0	100.0
学部正規課程	人数（人）	61	147	203	254	278	94	1	1,038
	率（%）	5.9	14.2	19.6	24.5	26.8	9.1	0.1	100.0
学部レベルの研究生・聴講生	人数（人）	4	8	14	16	25	10	0	77
	率（%）	5.2	10.4	18.2	20.8	32.5	13.0	0.0	100.0
短期大学	人数（人）	2	4	4	16	30	18	1	75
	率（%）	2.7	5.3	5.3	21.3	40.0	24.0	1.3	100.0
専修学校（専門課程）	人数（人）	44	83	148	298	827	392	7	1,799
	率（%）	2.4	4.6	8.2	16.6	46.0	21.8	0.4	100.0
準備教育課程	人数（人）	1	10	15	10	18	3	0	57
	率（%）	1.8	17.5	26.3	17.5	31.6	5.3	0.0	100.0
日本語教育機関	人数（人）	27	66	91	193	443	181	5	1,006
	率（%）	2.7	6.6	9.0	19.2	44.0	18.0	0.5	100.0
その他	人数（人）	3	7	9	21	40	15	0	95
	率（%）	3.2	7.4	9.5	22.1	42.1	15.8	0.0	100.0
計	人数（人）	246	463	646	965	1,817	755	16	4,908
	率（%）	5.0	9.4	13.2	19.7	37.0	15.4	0.3	100.0
	令和元年率（%）	5.3	9.7	13.5	19.2	39.2	13.1	0.0	100.0
	平成 29 年率（%）	4.5	8.9	12.9	17.7	35.5	16.6	3.8	100.0

（注）1. 有効回答者は、第 8-1 表の回答数（7,321 人）のうち、「アルバイトをしている」と回答した数（4,908 人）
2. 率は、在籍段階別の回答者数の計を 100 とした割合

第 8-6 表　奨学金受給者の有無別アルバイト従事率　（Q24・25 参照）

区分		アルバイトをしている	アルバイトをしていない	計
奨学金を受給している	人数（人）	2,287	1,210	3,497
	率（%）	65.4	34.6	100.0
奨学金を受給していない	人数（人）	2,621	1,203	3,824
	率（%）	68.5	31.5	100.0
計	人数（人）	4,908	2,413	7,321
	率（%）	67.0	33.0	100.0

（注）1. 率は、奨学金を受給している（3,497 人）・奨学金を受給していない（3,824 人）別の人数を 100 とした割合
2. 奨学金受給者有無は、収入・支出の有効回答者からの抽出ではなく、第 1-3 表の回答者（7,321 人）から抽出した人数のため、第 6-2 表の奨学金受給者（2,348 人）と奨学金非受給者数（2,381 人）とは異なる

奨学金受給者のアルバイト時間数（第 8-7 表）を見ると、全体では「週 20 時間以上 25 時間未満」が 709 人（32.2%）と最も多く、次いで「週 15 時間以上 20 時間未満」が 338 人（20.1%）と続く。

奨学金非受給者のアルバイト時間数（第 8-8 表）を見ると、「週 20 時間以上 25 時間未満」が 1,108 人（42.3%）と最も多く、次いで「25 時間以上」が 482 人（18.4%）と続く。

奨学金受給者のアルバイト時間数（第 8-7 表）と奨学金非受給者のアルバイト時間数（第 8-8 表）から奨学金受給者と非受給者のアルバイト時間数を比較すると、非受給者の方がアルバイトに費やす時間が多い。

第 8-7 表　奨学金受給者のアルバイト時間数　（全体と在籍段階別）　（Q12・24・27 参照）

区分		5 時間未満	5 時間～10 時間未満	10 時間～15 時間未満	15 時間～20 時間未満	20 時間～25 時間未満	25 時間以上	不明	計
大学院博士課程・博士後期課程	人数（人）	22	33	43	36	27	7	0	168
	率（%）	13.1	19.6	25.6	21.4	16.1	4.2	0.0	100.0
大学院修士課程・博士前期課程	人数（人）	53	47	50	54	40	12	2	258
	率（%）	20.5	18.2	19.4	20.9	15.5	4.7	0.8	100.0
専門職大学院課程	人数（人）	1	1	4	4	4	0	0	14
	率（%）	7.1	7.1	28.6	28.6	28.6	0.0	0.0	100.0
大学院レベルの研究生	人数（人）	1	3	4	4	8	2	0	22
	率（%）	4.5	13.6	18.2	18.2	36.4	9.1	0.0	100.0
学部正規課程	人数（人）	44	99	140	159	137	52	1	632
	率（%）	7.0	15.7	22.2	25.2	21.7	8.2	0.2	100.0
学部レベルの研究生・聴講生	人数（人）	3	6	9	7	16	5	0	46
	率（%）	6.5	13.0	19.6	15.2	34.8	10.9	0.0	100.0
短期大学	人数（人）	2	1	1	7	19	3	0	33
	率（%）	6.1	3.0	3.0	21.2	57.6	9.1	0.0	100.0
専修学校（専門課程）	人数（人）	21	29	80	134	283	123	4	674
	率（%）	3.1	4.3	11.9	19.9	42.0	18.2	0.6	100.0
準備教育課程	人数（人）	1	8	11	6	7	0	0	33
	率（%）	3.0	24.2	33.3	18.2	21.2	0.0	0.0	100.0
日本語教育機関	人数（人）	7	23	40	74	151	64	1	360
	率（%）	1.9	6.4	11.1	20.6	41.9	17.8	0.3	100.0
その他	人数（人）	1	6	5	13	17	5	0	47
	率（%）	2.1	12.8	10.6	27.7	36.2	10.6	0.0	100.0
計	人数（人）	156	256	387	498	709	273	8	2,287
	率（%）	6.8	11.2	16.9	21.8	31.0	11.9	0.3	100.0
	令和元年率（%）	8.2	14.2	17.1	20.1	32.2	8.3	0.0	100.0
	平成 29 年率（%）	6.0	14.2	17.4	21.0	28.1	10.2	3.1	100.0

（注）1. 有効回答者は、第 8-1 表の回答者数（7,321 人）のうち、「アルバイトをしている」と回答し、かつ「奨学金を受給している」と回答した数（2,287 人）
2. 率は、在籍段階別の回答者数の計を 100 とした割合
3. 奨学金受給者有無は、収入・支出の有効回答者からの抽出ではなく、第 1-3 表の回答者(7,321 人)から抽出した人数のため、第 6-2 表の奨学金受給者（2,348 人）と奨学金非受給者数（2,381 人）とは異なる

第 8-8 表　奨学金非受給者のアルバイト時間数　（全体と在籍段階別）　（Q12・24・27 参照）

区分		5 時間未満	5 時間～10 時間未満	10 時間～15 時間未満	15 時間～20 時間未満	20 時間～25 時間未満	25 時間以上	不明	計
大学院博士課程・博士後期課程	人数（人）	15	23	24	22	21	3	0	108
	率（%）	13.9	21.3	22.2	20.4	19.4	2.8	0.0	100.0
大学院修士課程・博士前期課程	人数（人）	12	27	31	27	34	8	0	139
	率（%）	8.6	19.4	22.3	19.4	24.5	5.8	0.0	100.0
専門職大学院課程	人数（人）	0	1	2	3	12	2	0	20
	率（%）	0.0	5.0	10.0	15.0	60.0	10.0	0.0	100.0
大学院レベルの研究生	人数（人）	0	3	4	7	10	8	0	32
	率（%）	0.0	9.4	12.5	21.9	31.3	25.0	0.0	100.0
学部正規課程	人数（人）	17	48	63	95	141	42	0	406
	率（%）	4.2	11.8	15.5	23.4	34.7	10.3	0.0	100.0
学部レベルの研究生・聴講生	人数（人）	1	2	5	9	9	5	0	31
	率（%）	3.2	6.5	16.1	29.0	29.0	16.1	0.0	100.0
短期大学	人数（人）	0	3	3	9	11	15	1	42
	率（%）	0.0	7.1	7.1	21.4	26.2	35.7	2.4	100.0
専修学校（専門課程）	人数（人）	23	54	68	164	544	269	3	1,125
	率（%）	2.0	4.8	6.0	14.6	48.4	23.9	0.3	100.0
準備教育課程	人数（人）	0	2	4	4	11	3	0	24
	率（%）	0.0	8.3	16.7	16.7	45.8	12.5	0.0	100.0
日本語教育機関	人数（人）	20	43	51	119	292	117	4	646
	率（%）	3.1	6.7	7.9	18.4	45.2	18.1	0.6	100.0
その他	人数（人）	2	1	4	8	23	10	0	48
	率（%）	4.2	2.1	8.3	16.7	47.9	20.8	0.0	100.0
計	人数（人）	90	207	259	467	1,108	482	8	2,621
	率（%）	3.4	7.9	9.9	17.8	42.3	18.4	0.3	100.0
	令和元年率（%）	3.9	7.4	11.7	18.7	42.8	15.6	0.0	100.0
	平成 29 年率（%）	3.7	5.9	10.5	15.9	39.6	20.2	4.2	100.0

（注）1. 有効回答者は、第 8-1 表の回答者数（7,321 人）のうち、「アルバイトをしている」と回答し、かつ「奨学金を受給していない」と回答した数（2,621 人）
2. 率は、在籍段階別の回答者数の計を 100 とした割合
3. 奨学金受給者有無は、収入・支出の有効回答者からの抽出ではなく、第 1-3 表の回答者(7,321 人)から抽出した人数のため、第 6-2 表の奨学金受給者（2,348 人）と奨学金非受給者数（2,381 人）とは異なる

アルバイトに従事する理由（第 8-9 表）を見ると、「日本での生活を維持するために必要だから」が 3,555 人（72.4%）と最も多い。

第 8-9 表　アルバイトに従事する理由　（Q28 参照）

区分	日本での生活を維持するために必要だから	日本人との交流等良い機会になるから	教養・娯楽等にあてる費用を得るため	その他	不明	計
人数（人）	3,555	770	507	76	－	4,908
率（%）	72.4	15.7	10.3	1.5	－	100.0
令和元年率（%）	67.9	24.3	6.6	1.3	0.0	100.0
平成 29 年率（%）	70.3	20.9	5.8	2.0	1.1	100.0

（注）1. 有効回答者は、第 8-1 表の回答者（7,321 人）のうち、「アルバイトをしている」と回答した数（4,908 人）
2. 率は、回答者数の計（4,908 人）を 100 とした割合

アルバイトの時給額（第 8-10 表）を見ると、「1,000 円以上 1,200 円未満」が 2,407 人（49.0%）と最も多く、次いで、「800 円以上 1,000 円未満」が 1,599 人（32.6%）と続く。

第 8-10 表　アルバイトの時給額　（全体と在籍段階別）　（Q12・29 参照）

区分		800 円未満	800 円～1,000 円未満	1,000 円～1,200 円未満	1,200 円～1,400 円未満	1,400 円～1,600 円未満	1,600 円～1,800 円未満	1,800 円～2,000 円未満	2,000 円以上	不明	計
大学院博士課程・博士後期課程	人数（人）	5	76	85	43	24	4	12	27	0	276
	率（%）	1.8	27.5	30.8	15.6	8.7	1.4	4.3	9.8	0.0	100.0
大学院修士課程・博士前期課程	人数（人）	4	130	164	49	20	5	5	18	2	397
	率（%）	1.0	32.7	41.3	12.3	5.0	1.3	1.3	4.5	0.5	100.0
専門職大学院課程	人数（人）	1	16	10	6	0	0	0	1	0	34
	率（%）	2.9	47.1	29.4	17.6	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	100.0
大学院レベルの研究生	人数（人）	0	28	16	2	2	4	0	2	0	54
	率（%）	0.0	51.9	29.6	3.7	3.7	7.4	0.0	3.7	0.0	100.0
学部正規課程	人数（人）	12	384	481	97	24	4	9	26	1	1,038
	率（%）	1.2	37.0	46.3	9.3	2.3	0.4	0.9	2.5	0.1	100.0
学部レベルの研究生・聴講生	人数（人）	1	36	31	6	1	0	0	2	0	77
	率（%）	1.3	46.8	40.3	7.8	1.3	0.0	0.0	2.6	0.0	100.0
短期大学	人数（人）	4	41	22	4	2	1	0	0	1	75
	率（%）	5.3	54.7	29.3	5.3	2.7	1.3	0.0	0.0	1.3	100.0
専修学校（専門課程）	人数（人）	32	553	945	203	43	4	2	10	7	1,799
	率（%）	1.8	30.7	52.5	11.3	2.4	0.2	0.1	0.6	0.4	100.0
準備教育課程	人数（人）	1	3	42	8	2	1	0	0	0	57
	率（%）	1.8	5.3	73.7	14.0	3.5	1.8	0.0	0.0	0.0	100.0
日本語教育機関	人数（人）	11	284	575	94	21	3	5	8	5	1,006
	率（%）	1.1	28.2	57.2	9.3	2.1	0.3	0.5	0.8	0.5	100.0
その他	人数（人）	1	48	36	6	4	0	0	0	0	95
	率（%）	1.1	50.5	37.9	6.3	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
計	人数（人）	72	1,599	2,407	518	143	26	33	94	16	4,908
	率（%）	1.5	32.6	49.0	10.6	2.9	0.5	0.7	1.9	0.3	100.0
	令和元年率（%）	2.0	36.6	45.2	11.1	2.1	0.5	0.9	1.6	0.0	100.0
	平成 29 年率（%）	5.4	42.4	39.4	6.9	2.1	0.5	0.5	1.7	1.0	100.0

（注）1. 有効回答者は、第 8-1 表の回答者（7,321 人）のうち、「アルバイトをしている」と回答した数（4,908 人）
2. 率は、在籍段階別の回答者数の計を 100 とした割合

９．授業時間を除く学習・研究時間

在籍段階別学習・研究時間（第 9-1 表）を見ると、「週 14～21 時間未満」が 1,862 人（25.4%）で最も多く、次いで「週 7～14 時間未満」が 1,648 人（22.5%）と続く。

第 9-1 表　在籍段階別学習・研究時間　（Q12・16 参照）

区分		7 時間未満	7～14 時間未満	14～21 時間未満	21～28 時間未満	28～35 時間未満	35～42 時間未満	42～49 時間未満	49 時間以上	不明	計
大学院博士課程・博士後期課程	人数（人）	13	42	49	54	69	83	61	86	－	457
	率（%）	2.8	9.2	10.7	11.8	15.1	18.2	13.3	18.8	－	100.0
大学院修士課程・博士前期課程	人数（人）	42	116	152	137	126	96	45	44	－	758
	率（%）	5.5	15.3	20.1	18.1	16.6	12.7	5.9	5.8	－	100.0
専門職大学院課程	人数（人）	3	11	18	1	4	3	2	2	－	44
	率（%）	6.8	25.0	40.9	2.3	9.1	6.8	4.5	4.5	－	100.0
大学院レベルの研究生	人数（人）	8	9	13	10	9	10	3	2	－	64
	率（%）	12.5	14.1	20.3	15.6	14.1	15.6	4.7	3.1	－	100.0
学部正規課程	人数（人）	182	471	457	299	159	85	45	39	－	1,737
	率（%）	10.5	27.1	26.3	17.2	9.2	4.9	2.6	2.2	－	100.0
学部レベルの研究生・聴講生	人数（人）	15	25	27	18	13	4	2	2	－	106
	率（%）	14.2	23.6	25.5	17.0	12.3	3.8	1.9	1.9	－	100.0
短期大学	人数（人）	5	25	22	18	12	4	2	1	－	89
	率（%）	5.6	28.1	24.7	20.2	13.5	4.5	2.2	1.1	－	100.0
専修学校（専門課程）	人数（人）	303	510	551	402	238	70	36	29	－	2,139
	率（%）	14.2	23.8	25.8	18.8	11.1	3.3	1.7	1.4	－	100.0
準備教育課程	人数（人）	6	16	26	18	16	7	2	1	－	92
	率（%）	6.5	17.4	28.3	19.6	17.4	7.6	2.2	1.1	－	100.0
日本語教育機関	人数（人）	218	399	514	274	162	79	23	29	－	1,698
	率（%）	12.8	23.5	30.3	16.1	9.5	4.7	1.4	1.7	－	100.0
その他	人数（人）	17	24	33	32	14	8	5	4	－	137
	率（%）	12.4	17.5	24.1	23.4	10.2	5.8	3.6	2.9	－	100.0
計	人数（人）	812	1,648	1,862	1,263	822	449	226	239	－	7,321
	率（%）	11.1	22.5	25.4	17.3	11.2	6.1	3.1	3.3	－	100.0
	令和元年率（%）	14.7	24.4	24.0	16.6	9.0	5.0	2.9	3.5	0.0	100.0
	平成 29 年率（%）	15.7	25.1	24.2	14.3	8.8	5.1	2.7	3.6	0.6	100.0

（注）率は、在籍段階別の回答者数の計を 100 とした割合

奨学金受給者及び非受給者の在籍段階別学習・研究時間（第 9-2 表と第 9-3 表）を比較すると、奨学金受給者の方が非受給者よりも学習・研究時間が多い。

第 9-2 表　奨学金受給者の在籍段階別学習・研究時間　（Q12・16・24 参照）

区分		7 時間未満	7～14 時間未満	14～21 時間未満	21～28 時間未満	28～35 時間未満	35～42 時間未満	42～49 時間未満	49 時間以上	不明	計
大学院博士課程・博士後期課程	人数（人）	5	28	32	33	36	59	47	59	－	299
	率（%）	1.7	9.4	10.7	11.0	12.0	19.7	15.7	19.7	－	100.0
大学院修士課程・博士前期課程	人数（人）	24	67	95	90	74	59	28	32	－	469
	率（%）	5.1	14.3	20.3	19.2	15.8	12.6	6.0	6.8	－	100.0
専門職大学院課程	人数（人）	3	4	4	1	1	1	0	2	－	16
	率（%）	18.8	25.0	25.0	6.3	6.3	6.3	0.0	12.5	－	100.0
大学院レベルの研究生	人数（人）	3	4	6	4	1	5	0	1	－	24
	率（%）	12.5	16.7	25.0	16.7	4.2	20.8	0.0	4.2	－	100.0
学部正規課程	人数（人）	88	274	272	189	108	62	31	26	－	1,050
	率（%）	8.4	26.1	25.9	18.0	10.3	5.9	3.0	2.5	－	100.0
学部レベルの研究生・聴講生	人数（人）	6	14	15	14	8	3	2	1	－	63
	率（%）	9.5	22.2	23.8	22.2	12.7	4.8	3.2	1.6	－	100.0
短期大学	人数（人）	0	11	14	5	4	3	1	0	－	38
	率（%）	0.0	28.9	36.8	13.2	10.5	7.9	2.6	0.0	－	100.0
専修学校（専門課程）	人数（人）	85	195	208	157	101	37	11	11	－	805
	率（%）	10.6	24.2	25.8	19.5	12.5	4.6	1.4	1.4	－	100.0
準備教育課程	人数（人）	3	8	18	10	8	5	2	0	－	54
	率（%）	5.6	14.8	33.3	18.5	14.8	9.3	3.7	0.0	－	100.0
日本語教育機関	人数（人）	59	140	177	98	75	35	12	12	－	608
	率（%）	9.7	23.0	29.1	16.1	12.3	5.8	2.0	2.0	－	100.0
その他	人数（人）	7	10	18	20	6	5	4	1	－	71
	率（%）	9.9	14.1	25.4	28.2	8.5	7.0	5.6	1.4	－	100.0
計	人数（人）	283	755	859	621	422	274	138	145	－	3,497
	率（%）	8.1	21.6	24.6	17.8	12.1	7.8	3.9	4.1	－	100.0
	令和元年率（%）	10.4	22.4	22.3	17.6	11.0	6.8	3.9	5.7	0.0	100.0
	平成 29 年率（%）	10.9	22.8	21.5	15.2	10.8	8.0	4.7	5.8	0.4	100.0

（注）1. 有効回答者は、第 8-6 表の回答者（7,321 人）のうち、「奨学金を受給している」と回答した数（3,497 人）
2. 率は、在籍段階別の回答者数の計を 100 とした割合
3. 奨学金受給者有無は、収入・支出の有効回答者からの抽出ではなく、第 1-3 表の回答者(7,321 人)から抽出した人数のため、第 6-2 表の奨学金受給者（2,348 人）と奨学金非受給者数（2,381 人）とは異なる

第 9-3 表　奨学金非受給者の在籍段階別学習・研究時間　（Q12・16・24 参照）

区分		7 時間未満	7～14 時間未満	14～21 時間未満	21～28 時間未満	28～35 時間未満	35～42 時間未満	42～49 時間未満	49 時間以上	不明	計
大学院博士課程・博士後期課程	人数（人）	8	14	17	21	33	24	14	27	－	158
	率（%）	5.1	8.9	10.8	13.3	20.9	15.2	8.9	17.1	－	100.0
大学院修士課程・博士前期課程	人数（人）	18	49	57	47	52	37	17	12	－	289
	率（%）	6.2	17.0	19.7	16.3	18.0	12.8	5.9	4.2	－	100.0
専門職大学院課程	人数（人）	0	7	14	0	3	2	2	0	－	28
	率（%）	0.0	25.0	50.0	0.0	10.7	7.1	7.1	0.0	－	100.0
大学院レベルの研究生	人数（人）	5	5	7	6	8	5	3	1	－	40
	率（%）	12.5	12.5	17.5	15.0	20.0	12.5	7.5	2.5	－	100.0
学部正規課程	人数（人）	94	197	185	110	51	23	14	13	－	687
	率（%）	13.7	28.7	26.9	16.0	7.4	3.3	2.0	1.9	－	100.0
学部レベルの研究生・聴講生	人数（人）	9	11	12	4	5	1	0	1	－	43
	率（%）	20.9	25.6	27.9	9.3	11.6	2.3	0.0	2.3	－	100.0
短期大学	人数（人）	5	14	8	13	8	1	1	1	－	51
	率（%）	9.8	27.5	15.7	25.5	15.7	2.0	2.0	2.0	－	100.0
専修学校（専門課程）	人数（人）	218	315	343	245	137	33	25	18	－	1,334
	率（%）	16.3	23.6	25.7	18.4	10.3	2.5	1.9	1.3	－	100.0
準備教育課程	人数（人）	3	8	8	8	8	2	0	1	－	38
	率（%）	7.9	21.1	21.1	21.1	21.1	5.3	0.0	2.6	－	100.0
日本語教育機関	人数（人）	159	259	337	176	87	44	11	17	－	1,090
	率（%）	14.6	23.8	30.9	16.1	8.0	4.0	1.0	1.6	－	100.0
その他	人数（人）	10	14	15	12	8	3	1	3	－	66
	率（%）	15.2	21.2	22.7	18.2	12.1	4.5	1.5	4.5	－	100.0
計	人数（人）	529	893	1,003	642	400	175	88	94	－	3,824
	率（%）	13.8	23.4	26.2	16.8	10.5	4.6	2.3	2.5	－	100.0
	令和元年率（%）	17.1	25.5	24.9	16.0	7.9	4.0	2.4	2.2	0.0	100.0
	平成 29 年率（%）	10.9	22.8	21.5	15.2	10.8	8.0	4.7	5.8	0.4	100.0

（注）1. 有効回答者は、第 8-6 表の回答者（7,321 人）のうち、「奨学金を受給していない」と回答した数（3,824 人）
2. 率は、在籍段階別の回答者数の計を 100 とした割合
3. 奨学金受給者有無は、収入・支出の有効回答者からの抽出ではなく、第 1-3 表の回答者(7,321 人)から抽出した人数のため、第 6-2 表の奨学金受給者（2,348 人）と奨学金非受給者数（2,381 人）とは異なる

第 9-4 表　専攻別の学習・研究時間　（Q15・16 参照）

区分		7 時間未満	7～14 時間未満	14～21 時間未満	21～28 時間未満	28～35 時間未満	35～42 時間未満	42～49 時間未満	49 時間以上	不明	計
人文科学	人数（人）	121	256	249	174	106	55	31	29	－	1,021
	率（%）	11.9	25.1	24.4	17.0	10.4	5.4	3.0	2.8	－	100.0
社会科学	人数（人）	227	436	521	339	205	75	45	37	－	1,885
	率（%）	12.0	23.1	27.6	18.0	10.9	4.0	2.4	2.0	－	100.0
理学	人数（人）	19	46	52	46	32	32	20	26	－	273
	率（%）	7.0	16.8	19.0	16.8	11.7	11.7	7.3	9.5	－	100.0
工学	人数（人）	88	210	241	207	147	106	55	72	－	1,126
	率（%）	7.8	18.7	21.4	18.4	13.1	9.4	4.9	6.4	－	100.0
農学	人数（人）	6	19	13	16	14	15	6	7	－	96
	率（%）	6.3	19.8	13.5	16.7	14.6	15.6	6.3	7.3	－	100.0
医・歯学	人数（人）	5	23	14	21	17	16	13	14	－	123
	率（%）	4.1	18.7	11.4	17.1	13.8	13.0	10.6	11.4	－	100.0
薬学	人数（人）	0	3	5	3	5	2	2	6	－	26
	率（%）	0.0	11.5	19.2	11.5	19.2	7.7	7.7	23.1	－	100.0
家政	人数（人）	13	25	21	17	13	5	4	0	－	98
	率（%）	13.3	25.5	21.4	17.3	13.3	5.1	4.1	0.0	－	100.0
教育	人数（人）	33	52	43	28	17	10	5	4	－	192
	率（%）	17.2	27.1	22.4	14.6	8.9	5.2	2.6	2.1	－	100.0
日本語	人数（人）	222	412	536	290	176	84	25	29	－	1,774
	率（%）	12.5	23.2	30.2	16.3	9.9	4.7	1.4	1.6	－	100.0
その他	人数（人）	78	166	167	122	90	49	20	15	－	707
	率（%）	11.0	23.5	23.6	17.3	12.7	6.9	2.8	2.1	－	100.0
計	人数（人）	812	1,648	1,862	1,263	822	449	226	239	－	7,321
	率（%）	11.1	22.5	25.4	17.3	11.2	6.1	3.1	3.3	－	100.0
	令和元年率（%）	14.7	24.4	24.0	16.6	9.0	5.0	2.9	3.5	0.0	100.0
	平成 29 年率（%）	10.9	22.8	21.5	15.2	10.8	8.0	4.7	5.8	0.4	100.0

（注）率は、専攻分野別の回答者数の計を 100 とした割合

専攻別の奨学金受給者及び非受給者の学習・研究時間（第 9-5 表と第 9-6 表）を比較すると、奨学金受給者の方が非受給者よりも学習・研究時間が多い。

第 9-5 表　専攻別の奨学金受給者の学習・研究時間　（Q15・16・24 参照）

区分		7 時間未満	7～14 時間未満	14～21 時間未満	21～28 時間未満	28～35 時間未満	35～42 時間未満	42～49 時間未満	49 時間以上	不明	計
人文科学	人数（人）	50	122	110	83	60	34	17	16	－	492
	率（%）	10.2	24.8	22.4	16.9	12.2	6.9	3.5	3.3	－	100.0
社会科学	人数（人）	88	209	272	196	101	56	23	28	－	973
	率（%）	9.0	21.5	28.0	20.1	10.4	5.8	2.4	2.9	－	100.0
理学	人数（人）	9	31	30	21	14	23	14	17	－	159
	率（%）	5.7	19.5	18.9	13.2	8.8	14.5	8.8	10.7	－	100.0
工学	人数（人）	38	103	133	112	84	65	36	48	－	619
	率（%）	6.1	16.6	21.5	18.1	13.6	10.5	5.8	7.8	－	100.0
農学	人数（人）	5	16	4	11	6	8	5	5	－	60
	率（%）	8.3	26.7	6.7	18.3	10.0	13.3	8.3	8.3	－	100.0
医・歯学	人数（人）	2	8	5	11	6	10	7	8	－	57
	率（%）	3.5	14.0	8.8	19.3	10.5	17.5	12.3	14.0	－	100.0
薬学	人数（人）	0	2	4	1	4	2	2	5	－	20
	率（%）	0.0	10.0	20.0	5.0	20.0	10.0	10.0	25.0	－	100.0
家政	人数（人）	2	13	13	11	8	5	2	0	－	54
	率（%）	3.7	24.1	24.1	20.4	14.8	9.3	3.7	0.0	－	100.0
教育	人数（人）	10	21	17	11	8	8	2	2	－	79
	率（%）	12.7	26.6	21.5	13.9	10.1	10.1	2.5	2.5	－	100.0
日本語	人数（人）	61	147	194	106	82	38	14	12	－	654
	率（%）	9.3	22.5	29.7	16.2	12.5	5.8	2.1	1.8	－	100.0
その他	人数（人）	18	83	77	58	49	25	16	4	－	330
	率（%）	5.5	25.2	23.3	17.6	14.8	7.6	4.8	1.2	－	100.0
計	人数（人）	283	755	859	621	422	274	138	145	－	3,497
	率（%）	8.1	21.6	24.6	17.8	12.1	7.8	3.9	4.1	－	100.0
	令和元年率（%）	10.4	22.4	22.3	17.6	11.0	6.8	3.9	5.7	0.0	100.0
	平成 29 年率（%）	15.7	25.1	24.2	14.3	8.8	5.1	2.7	3.6	0.6	100.0

（注）1. 有効回答者は、第 8-6 表の回答者（7,321 人）のうち、「奨学金を受給している」と回答した数（3,497 人）
2. 率は、専攻分野別の回答者数の計を 100 とした割合
3. 奨学金受給者有無は、収入・支出の有効回答者からの抽出ではなく、第 1-3 表の回答者(7,321 人)から抽出した人数のため、第 6-2 表の奨学金受給者（2,348 人）と奨学金非受給者数（2,381 人）とは異なる

第 9-6 表　専攻分野別の奨学金非受給者の学習・研究時間　（Q15・16・24 参照）

区分		7 時間未満	7～14 時間未満	14～21 時間未満	21～28 時間未満	28～35 時間未満	35～42 時間未満	42～49 時間未満	49 時間以上	不明	計
人文科学	人数（人）	71	134	139	91	46	21	14	13	－	529
	率（%）	13.4	25.3	26.3	17.2	8.7	4.0	2.6	2.5	－	100.0
社会科学	人数（人）	139	227	249	143	104	19	22	9	－	912
	率（%）	15.2	24.9	27.3	15.7	11.4	2.1	2.4	1.0	－	100.0
理学	人数（人）	10	15	22	25	18	9	6	9	－	114
	率（%）	8.8	13.2	19.3	21.9	15.8	7.9	5.3	7.9	－	100.0
工学	人数（人）	50	107	108	95	63	41	19	24	－	507
	率（%）	9.9	21.1	21.3	18.7	12.4	8.1	3.7	4.7	－	100.0
農学	人数（人）	1	3	9	5	8	7	1	2	－	36
	率（%）	2.8	8.3	25.0	13.9	22.2	19.4	2.8	5.6	－	100.0
医・歯学	人数（人）	3	15	9	10	11	6	6	6	－	66
	率（%）	4.5	22.7	13.6	15.2	16.7	9.1	9.1	9.1	－	100.0
薬学	人数（人）	0	1	1	2	1	0	0	1	－	6
	率（%）	0.0	16.7	16.7	33.3	16.7	0.0	0.0	16.7	－	100.0
家政	人数（人）	11	12	8	6	5	0	2	0	－	44
	率（%）	25.0	27.3	18.2	13.6	11.4	0.0	4.5	0.0	－	100.0
教育	人数（人）	23	31	26	17	9	2	3	2	－	113
	率（%）	20.4	27.4	23.0	15.0	8.0	1.8	2.7	1.8	－	100.0
日本語	人数（人）	161	265	342	184	94	46	11	17	－	1,120
	率（%）	14.4	23.7	30.5	16.4	8.4	4.1	1.0	1.5	－	100.0
その他	人数（人）	60	83	90	64	41	24	4	11	－	377
	率（%）	15.9	22.0	23.9	17.0	10.9	6.4	1.1	2.9	－	100.0
計	人数（人）	529	893	1,003	642	400	175	88	94	－	3,824
	率（%）	13.8	23.4	26.2	16.8	10.5	4.6	2.3	2.5	－	100.0
	令和元年率（%）	17.1	25.5	24.9	16.0	7.9	4.0	2.4	2.2	0.0	100.0
	平成 29 年率（%）	17.5	26.9	26.0	14.3	7.5	3.3	1.7	2.3	0.5	100.0

（注）1. 有効回答者は、第 8-6 表の回答者（7,321 人）のうち、「奨学金を受給していない」と回答した数（3,824 人）
2. 率は、専攻分野別の回答者数の計を 100 とした割合
3. 奨学金受給者有無は、収入・支出の有効回答者からの抽出ではなく、第 1-3 表の回答者(7,321 人)から抽出した人数のため、第 6-2 表の奨学金受給者（2,348 人）と奨学金非受給者数（2,381 人）とは異なる

奨学金の受給金額と学習・研究時間（第 9-7 表）を見ると、奨学金受給金額が高い方が学習・研究時間が多い。

第 9-7 表　奨学金の受給金額と学習・研究時間　（Q17・29 参照）

区分			7 時間未満	7～14 時間未満	14～21 時間未満	21～28 時間未満	28～35 時間未満	35～42 時間未満	42～49 時間未満	49 時間以上	計
奨学金なし		人数（人）	529	893	1,003	642	400	175	88	94	3,824
		率（%）	13.8	23.4	26.2	16.8	10.5	4.6	2.3	2.5	100.0
奨学金あり	5 万円未満	人数（人）	215	589	693	459	303	178	83	80	2,600
		率（%）	8.3	22.7	26.7	17.7	11.7	6.8	3.2	3.1	100.0
	5 万円以上 7 万円未満	人数（人）	15	43	35	41	24	13	4	3	178
		率（%）	8.4	24.2	19.7	23.0	13.5	7.3	2.2	1.7	100.0
	7 万円以上 9 万円未満	人数（人）	13	20	37	25	25	17	5	9	151
		率（%）	8.6	13.2	24.5	16.6	16.6	11.3	3.3	6.0	100.0
	9 万円以上 11 万円未満	人数（人）	15	41	34	31	17	18	13	15	184
		率（%）	8.2	22.3	18.5	16.8	9.2	9.8	7.1	8.2	100.0
	11 万円以上	人数（人）	25	62	60	65	53	48	33	38	384
		率（%）	6.5	16.1	15.6	16.9	13.8	12.5	8.6	9.9	100.0

（注）1. 率は、項目別の回答者数の計を 100 とした割合
2. 奨学金受給者有無は、収入・支出の有効回答者からの抽出ではなく、第 1-3 表の回答者(7,321 人)から抽出した人数のため、第 6-2 表の奨学金受給者（2,348 人）と奨学金非受給者数（2,381 人）とは異なる

10. 宿舎

宿舎の形態（第 10-1 表）を見ると、「民間アパート・マンション等」に居住する者が、5,815 人（79.4%）と最も多い。

第 10-1 表　宿舎の形態　（Q11・31 参照）

区分			民間アパート・マンション等	大学・学校の留学生用宿舎	大学・学校の一般学生寮	県・市・財団法人の留学生宿舎	公営住宅等の一般公的宿舎	企業の社員寮	ホームステイ	その他	不明	計
大学	国立	人数（人）	634	107	57	26	35	5	0	19	－	883
		率（%）	71.8	12.1	6.5	2.9	4.0	0.6	0.0	2.2	－	100.0
	公立	人数（人）	83	17	10	9	3	0	1	2	－	125
		率（%）	66.4	13.6	8.0	7.2	2.4	0.0	0.8	1.6	－	100.0
	私立	人数（人）	1,980	102	83	18	37	14	15	46	－	2,295
		率（%）	86.3	4.4	3.6	0.8	1.6	0.6	0.7	2.0	－	100.0
	大学計	人数（人）	2,697	226	150	53	75	19	16	67	－	3,303
		率（%）	81.7	6.8	4.5	1.6	2.3	0.6	0.5	2.0	－	100.0
短期大学		人数（人）	77	4	2	2	0	1	0	3	－	89
		率（%）	86.5	4.5	2.2	2.2	0.0	1.1	0.0	3.4	－	100.0
専修学校（専門課程）		人数（人）	1,789	98	67	21	48	38	28	50	－	2,139
		率（%）	83.6	4.6	3.1	1.0	2.2	1.8	1.3	2.3	－	100.0
準備教育課程		人数（人）	58	12	11	1	0	1	5	4	－	92
		率（%）	63.0	13.0	12.0	1.1	0.0	1.1	5.4	4.3	－	100.0
日本語教育機関		人数（人	1,194	187	132	32	44	27	32	50	－	1,698
		率（%）	70.3	11.0	7.8	1.9	2.6	1.6	1.9	2.9	－	100.0
計		人数（人）	5,815	527	362	109	167	86	81	174	－	7,321
		率（%）	79.4	7.2	4.9	1.5	2.3	1.2	1.1	2.4	－	100.0
		令和元年率（%）	77.4	9.3	6.1	1.5	2.3	1.0	1.1	1.2	0.0	100.0
		平成 29 年率（%）	75.4	8.3	6.7	1.6	2.3	1.3	0.8	2.6	1.1	100.0

（注）率は、学校種別の回答者数の計を 100 とした割合

第 10-2 表　在籍学校別の宿舎形態の率（%）（年度別比較表）　（Q11・31 参照）

区分			民間アパート・マンション等	大学・学校の留学生用宿舎	大学・学校の一般学生寮	県・市・財団法人の留学生宿舎	公営住宅等の一般公的宿舎	企業の社員寮	ホームステイ	その他	不明	計
大学	国立	令和 3 年度	71.8	12.1	6.5	2.9	4.0	0.6	0.0	2.2	－	100.0
		令和元年度	64.8	18.8	8.9	1.9	4.3	0.6	0.0	0.8	0.0	100.0
		平成 29 年	62.3	18.1	10.3	2.9	3.3	0.6	0.2	1.7	0.6	100.0
	公立	令和 3 年度	66.4	13.6	8.0	7.2	2.4	0.0	0.8	1.6	－	100.0
		令和元年度	57.3	22.3	5.7	6.4	5.7	0.0	0.6	1.9	0.0	100.0
		平成 29 年	59.8	20.7	5.4	6.5	3.3	0.0	0.0	3.3	1.1	100.0
	私立	令和 3 年度	86.3	4.4	3.6	0.8	1.6	0.6	0.7	2.0	－	100.0
		令和元年度	81.3	6.9	5.5	1.6	1.7	0.8	1.0	1.1	0.0	100.0
		平成 29 年	79.4	7.1	5.1	1.4	2.1	0.6	1.2	2.4	0.6	100.0
	大学計	令和 3 年度	81.7	6.8	4.5	1.6	2.3	0.6	0.5	2.0	－	100.0
		令和元年度	75.3	11.1	6.5	1.9	2.7	0.7	0.7	1.1	0.0	100.0
		平成 29 年	73.7	10.8	6.6	2.0	2.5	0.6	0.9	2.2	0.6	100.0
短期大学		令和 3 年度	86.5	4.5	2.2	2.2	0.0	1.1	0.0	3.4	－	100.0
		令和元年度	68.1	16.0	9.7	1.4	0.0	2.1	1.4	1.4	0.0	100.0
		平成 29 年	77.5	5.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	100.0
専修学校（専門課程）		令和 3 年度	83.6	4.6	3.1	1.0	2.2	1.8	1.3	2.3	－	100.0
		令和元年度	83.6	5.0	4.7	1.0	1.9	1.1	1.2	1.6	0.0	100.0
		平成 29 年	82.2	4.0	4.6	1.2	1.7	2.1	0.8	2.1	1.4	100.0
準備教育課程		令和 3 年度	63.0	13.0	12.0	1.1	0.0	1.1	5.4	4.3	－	100.0
		令和元年度	73.4	11.7	5.5	5.5	0.8	0.8	0.8	1.6	0.0	100.0
		平成 29 年	68.3	14.6	9.8	1.2	0.0	2.4	0.0	3.7	0.0	100.0
日本語教育機関		令和 3 年度	70.3	11.0	7.8	1.9	2.6	1.6	1.9	2.9	－	100.0
		令和元年度	77.5	8.5	6.3	1.0	2.1	1.5	1.8	1.3	0.0	100.0
		平成 29 年	73.6	6.8	8.1	1.1	2.6	1.8	0.7	3.4	2.0	100.0
計		令和 3 年度	79.4	7.2	4.9	1.5	2.3	1.2	1.1	2.4	－	100.0
		令和元年度	77.4	9.3	6.1	1.5	2.3	1.0	1.1	1.2	0.0	100.0
		平成 29 年	75.4	8.3	6.7	1.6	2.3	1.3	0.8	2.6	1.1	100.0

（注）率は、項目別の回答者数の計を 100 とした割合

宿舎を選ぶ際に重視したもの（第 10-3 表）を見ると、「家賃・初期費用」が 6,004 人（82.0%）と最も多く、次いで「学校からの距離・通学時間」が 4,863 人（66.4%）、「周辺環境の利便性」が 3,515 人（48.0%）と続く。

第 10-3 表　宿舎を選ぶ際に重視したもの（複数回答）　（Q32 参照）

区分		家賃 初期費用	間取り 広さ	設備	学校から の距離 通学時間	周辺環境 の利便性	セキュ リティ	日本人と の交流	留学生同 士の交流
高等教育機関	集計 pt	12,694	1,987	2,003	7,629	4,171	1,203	285	289
	集計 pt 率（%）	41.9	6.6	6.6	25.2	13.8	4.0	0.9	1.0
	人数（人）	4,684	1,072	1,163	3,731	2,620	733	176	192
	率（%）	83.3	19.1	20.7	66.4	46.6	13.0	3.1	3.4
日本語教育機関	集計 pt	3,558	544	681	2,334	1,466	377	92	40
	集計 pt 率（%）	39.1	6.0	7.5	25.7	16.1	4.1	1.0	0.4
	人数（人）	1,320	282	369	1,132	895	231	52	27
	率（%）	77.7	16.6	21.7	66.7	52.7	13.6	3.1	1.6
計	集計 pt	16,252	2,531	2,684	9,963	5,637	1,580	377	329
	集計 pt 率（%）	41.3	6.4	6.8	25.3	14.3	4.0	1.0	0.8
	人数（人）	6,004	1,354	1,532	4,863	3,515	964	228	219
	率（%）	82.0	18.5	20.9	66.4	48.0	13.2	3.1	3.0
	令和元年率（%）	80.5	18.2	21.8	66.8	40.8	13.0	4.2	3.4
	平成 29 年率（%）	84.6	22.6	22.8	68.0	43.2	17.0	5.9	4.3

（注）　1. 有効回答者は、第 1-3 表の回答者（7,321 人）
2. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計（高等教育機関（30,261）・日本語教育機関（9,092））別を 100 とした割合
3. 率は、第 1-3 表の高等教育機関（5,623 人）・日本語教育機関（1,698 人）別の人数を 100 とした割合

一人当たりの専有面積（第 10-4 表）は、「7.5 ㎡以上 10 ㎡（約５～６畳）未満」が 1,439 人（19.7%）と最も多く、次いで「5 ㎡以上 7.5 ㎡（約３～５畳）未満」が 1,169 人（16.0%）と続く。

第 10-4 表　一人当たりの専有面積　（Q33 参照）

区分	5 ㎡未満	5～7.5 ㎡未満	7.5～10 ㎡未満	10～12.5 ㎡未満	12.5～15 ㎡未満	15～17.5 ㎡未満	17.5～20 ㎡未満	20～25 ㎡未満	25 ㎡以上	不明	計
人数（人）	519	1,169	1,439	923	756	583	768	693	471	－	7,321
率（%）	7.1	16.0	19.7	12.6	10.3	8.0	10.5	9.5	6.4	－	100.0
令和元年率（%）	6.6	16.7	19.1	12.9	10.1	8.5	10.2	9.1	6.7	0.0	100.0
平成 29 年率（%）	8.8	16.0	20.1	11.2	9.5	7.8	9.7	8.1	6.3	2.6	100.0

（注）率は、回答者数の計（7,321 人）を 100 とした割合

同居人の有無（第 10-5 表）を見ると、「日本で単身で住んでいる」と回答した者が 4,491 人（61.3%）と最も多い。

第 10-5 表　同居人の有無　（Q34 参照）

区分	単身	同居	不明	計
人数（人）	4,491	2,830	－	7,321
率（%）	61.3	38.7	－	100.0
令和元年率（%）	58.2	41.8	0.0	100.0
平成 29 年率（%）	48.5	50.5	1.0	100.0

（注）率は、回答者数の計（7,321 人）を 100 とした割合

「同居人がいる」と回答した者のうち、同居人の数（第 10-6 表）を見ると、「１人」と回答した者が 1,200 人（42.4%）と最も多く、次いで、「２人」と回答した者 1,095 人（38.7%）と続く。

第 10-6 表　同居人の数　（Q35 参照）

区分	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人以上	不明	計
人数（人）	1,200	1,095	332	114	86	3	2,830
率（%）	42.4	38.7	11.7	4.0	3.0	0.1	100.0
令和元年率（%）	38.0	37.0	14.8	5.6	4.6	0.0	100.0
平成 29 年率（%）	34.6	33.2	16.9	7.5	5.8	2.1	100.0

（注）1. 有効回答者は、第 10-5 表の回答者（7,321 人）のうち、「同居」と回答した数（2,830 人）
2. 率は、回答者数の計（2,830 人）を 100 とした割合

同居人の種類（第 10-7 表）を見ると、「外国人留学生」が 1,929 人（68.2%）と最も多く、次いで「配偶者又は家族」の 502 人（17.7%）と続く。

第 10-7 表　同居人の種類　（Q36 参照）

区分	配偶者又は家族	外国人留学生	日本人学生	その他	不明	計
人数（人）	502	1,929	65	331	3	2,830
率（%）	17.7	68.2	2.3	11.7	0.1	100.0
令和元年率（%）	22.2	63.8	3.4	10.6	0.0	100.0
平成 29 年率（%）	23.2	56.3	3.5	12.8	4.2	100.0

（注）1. 有効回答者は、第 10-5 表の回答者（7,321 人）のうち、「同居」と回答した数（2,830 人）
2. 率は、回答者数の計（2,830 人）を 100 とした割合

宿舎の形態による単身・同居の状況（第 10-8 表）を見ると、「単身居住者」、「同居者のいる者」ともに「民間のアパートやマンション等」に居住している者が最も多い。

第 10-8 表　宿舎の形態による単身・同居の状況　（Q31・34 参照）

区分		民間アパート・マンション等	大学・学校の留学生用宿舎	大学・学校の一般学生寮	県・市・財団法人の留学生宿舎	公営住宅等の一般公的宿舎	企業の社員寮	ホームステイ	その他	不明	計
単身	人数（人）	3,577	341	240	83	80	59	24	87	－	4,491
	率（%）	79.6	7.6	5.3	1.8	1.8	1.3	0.5	1.9	－	100.0
同居	人数（人）	2,238	186	122	26	87	27	57	87	－	2,830
	率（%）	79.1	6.6	4.3	0.9	3.1	1.0	2.0	3.1	－	100.0
計	人数（人）	5,815	527	362	109	167	86	81	174	－	7,321
	率（%）	79.4	7.2	4.9	1.5	2.3	1.2	1.1	2.4	－	100.0
	令和元年率（%）	77.4	9.3	6.1	1.5	2.3	1.0	1.1	1.2	0.0	100.0
	平成 29 年率（%）	75.4	8.3	6.7	1.6	2.3	1.3	0.8	2.6	1.1	100.0

（注）率は、単身（4,491 人）・同居（2,830 人）別の回答者数の計を 100 とした割合

居住地域別の住居費（第 10-9 表）を見ると、関東地方が平均月額 44,000 円と全国で最も高い。一方、平均月額が低いのは四国地方で 24,000 円である。なお、東京のみでは、50,000 円である。

第 10-9 表　居住地域別の住居費　（年度別比較表）　（Q24・30 参照）

区分	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	東京	全国平均
令和３年（千円）	30	34	44	29	37	27	24	26	50	38
令和元年（千円）	31	28	45	29	37	26	26	25	50	38
平成 29 年（千円）	31	25	39	26	35	24	23	24	43	34

（注）1. 有効回答者は、第 1-3 表の回答者（7,321 人）のうち、Q24 の収入支出において有効な回答とみなされた数（4,729 人）
2. 支出内訳は、各居住地域の支出額の計を、各居住地域別の回答者数（支出している者及び支出していない者）の計で除した額

宿舎の形態別の住居費（第 10-10 表）を見ると、「民間アパート・マンション等」は「３万円以上４万円未満」が 1,018 人（26.9%）と最も多く、「大学・学校の留学生用宿舎」は、「２万円以上３万円未満」が 99 人（28.9%）と最も多い。

第 10-10 表　宿舎の形態別の住居費　（Q24・31 参照）

区分		1 万円未満	1～2 万円未満	2～3 万円未満	3～4 万円未満	4～5 万円未満	5～6 万円未満	6～7 万円未満	7 万円以上	不明	計
民間アパート・マンション等	人数（人）	156	170	723	1,018	655	420	337	310	－	3,789
	率（%）	4.1	4.5	19.1	26.9	17.3	11.1	8.9	8.2	－	100.0
大学・学校の留学生用宿舎	人数（人）	32	56	99	73	42	17	9	14	－	342
	率（%）	9.4	16.4	28.9	21.3	12.3	5.0	2.6	4.1	－	100.0
大学・学校の一般学生寮	人数（人）	18	25	52	62	23	14	11	15	－	220
	率（%）	8.2	11.4	23.6	28.2	10.5	6.4	5.0	6.8	－	100.0
県・市・財団法人の留学生宿舎	人数（人）	5	11	22	11	9	8	2	2	－	70
	率（%）	7.1	15.7	31.4	15.7	12.9	11.4	2.9	2.9	－	100.0
公営住宅等の一般公的宿舎	人数（人）	8	16	15	24	22	7	5	7	－	104
	率（%）	7.7	15.4	14.4	23.1	21.2	6.7	4.8	6.7	－	100.0
企業の社員寮	人数（人）	23	7	9	5	1	3	2	0	－	50
	率（%）	46.0	14.0	18.0	10.0	2.0	6.0	4.0	0.0	－	100.0
ホームステイ	人数（人）	9	5	7	16	3	2	0	0	－	42
	率（%）	21.4	11.9	16.7	38.1	7.1	4.8	0.0	0.0	－	100.0
その他	人数（人）	21	8	11	21	21	13	7	10	－	112
	率（%）	18.8	7.1	9.8	18.8	18.8	11.6	6.3	8.9	－	100.0
計	人数（人）	272	298	938	1,230	776	484	373	358	－	4,729
	率（%）	5.8	6.3	19.8	26.0	16.4	10.2	7.9	7.6	－	100.0
	令和元年率（%）	9.3	8.8	18.8	25.7	15.0	9.6	6.3	6.5	0.0	100.0
	平成 29 年率（%）	2.8	8.4	21.5	26.1	16.3	9.6	5.7	4.9	4.7	100.0

（注）1. 有効回答者は、第 1-3 表の回答者（7,321 人）のうち、Q24 の収入支出において有効な回答とみなされた数（4,729 人）
2. 率は、宿舎の形態別の回答者数の計を 100 とした割合

宿舎入居にかかる敷金・礼金、保証金等の金額（第 10-11 表）を見ると、「５万円未満」が 2,046 人（27.9%）と最も多く、次いで「５万円以上 10 万円未満」の 1,972 人（26.9%）、「なし」の 1,694 人（23.1%）と続く。

第 10-11 表　宿舎入居にかかる敷金・礼金、保証金等の金額　（Q37 参照）

区分	なし	5 万円未満	5～10 万円未満	10～20 万円未満	20～30 万円未満	30～40 万円未満	40～50 万円未満	50 万円以上	不明	計
人数（人）	1,694	2,046	1,972	1,105	354	100	33	17	－	7,321
率（%）	23.1	27.9	26.9	15.1	4.8	1.4	0.5	0.2	－	100.0
令和元年率（%）	25.0	30.3	24.6	13.6	3.9	1.6	0.6	0.4	0.0	100.0
平成 29 年率（%）	18.8	29.9	24.1	16.1	4.8	1.7	0.4	0.4	3.8	100.0

（注）　率は、回答者数の計（7,321 人）を 100 とした割合

宿舎の形態別の敷金・礼金、保証金等（第 10-12 表）を見ると、「大学・学校の留学生用宿舎」、「大学・学校の一般学生寮」、「県・市・財団法人の留学生宿舎」、「企業の社員寮」、「ホームステイ」は、敷金・礼金、保証金等が「なし」が最も多く、「民間アパート・マンション等」では、「５万円～10 万円未満」が最も多い。

第 10-12 表　宿舎の形態別の敷金・礼金、保証金等　（Q31・37 参照）

区分		なし	5 万円未満	5～10 万円未満	10～20 万円未満	20～30 万円未満	30～40 万円未満	40～50 万円未満	50 万円以上	不明	計
民間アパート・マンション等	人数（人）	1,121	1,503	1,694	1,021	333	97	31	15	－	5,815
	率（%）	19.3	25.8	29.1	17.6	5.7	1.7	0.5	0.3	－	100.0
大学・学校の留学生用宿舎	人数（人）	199	228	81	12	5	1	1	0	－	527
	率（%）	37.8	43.3	15.4	2.3	0.9	0.2	0.2	0.0	－	100.0
大学・学校の一般学生寮	人数（人）	140	121	77	16	6	1	1	0	－	362
	率（%）	38.7	33.4	21.3	4.4	1.7	0.3	0.3	0.0	－	100.0
県・市・財団法人の留学生宿舎	人数（人）	38	40	24	4	2	1	0	0	－	109
	率（%）	34.9	36.7	22.0	3.7	1.8	0.9	0.0	0.0	－	100.0
公営住宅等の一般公的宿舎	人数（人）	44	54	37	28	3	0	0	1	－	167
	率（%）	26.3	32.3	22.2	16.8	1.8	0.0	0.0	0.6	－	100.0
企業の社員寮	人数（人）	54	18	10	4	0	0	0	0	－	86
	率（%）	62.8	20.9	11.6	4.7	0.0	0.0	0.0	0.0	－	100.0
ホームステイ	人数（人）	28	34	16	2	1	0	0	0	－	81
	率（%）	34.6	42.0	19.8	2.5	1.2	0.0	0.0	0.0	－	100.0
その他	人数（人）	70	48	33	18	4	0	0	1	－	174
	率（%）	40.2	27.6	19.0	10.3	2.3	0.0	0.0	0.6	－	100.0
計	人数（人）	1,694	2,046	1,972	1,105	354	100	33	17	－	7,321
	率（%）	23.1	27.9	26.9	15.1	4.8	1.4	0.5	0.2	－	100.0
	令和元年率（%）	25.0	30.3	24.6	13.6	3.9	1.6	0.6	0.4	0.0	100.0
	平成 29 年率(%)	18.8	29.9	24.1	16.1	4.8	1.7	0.4	0.4	3.8	100.0

（注）率は、宿舎の形態別の回答者数の計を 100 とした割合

宿舎に入居の際の保証人の要否（第 10-13 表）を見ると、「保証人を求められた」が、3,734 人（51.0%）である。

第 10-13 表　宿舎に入居の際の保証人の要否　（Q38 参照）

区分	求められた	求められていない	不明	計
人数（人）	3,734	3,587	－	7,321
率（%）	51.0	49.0	－	100.0
令和元年率（%）	56.6	43.4	0.0	100.0
平成 29 年率（%）	55.5	42.8	1.7	100.0

（注）率は、回答者数の計（7,321 人）を 100 とした割合

第 10-14 表　宿舎の形態別の保証人の要否　（Q31・38 参照）

区分		民間アパート・マンション等	大学・学校の留学生用宿舎	大学・学校の一般学生寮	県・市・財団法人の留学生宿舎	公営住宅等の一般公的宿舎	企業の社員寮	ホームステイ	その他	不明	計
保証人必要	人数（人）	3,216	152	126	52	77	28	28	55	－	3,734
	率（%）	86.1	4.1	3.4	1.4	2.1	0.7	0.7	1.5	－	100.0
	令和元年率（%）	61.5	28.9	43.8	57.9	66.0	39.4	37.5	32.2	－	56.6
	平成29年率(%)	61.6	36.5	35.5	48.3	51.9	43.1	28.9	28.1	18.5	55.5
保証人不要	人数（人）	2,599	375	236	57	90	58	53	119	－	3,587
	率（%）	72.5	10.5	6.6	1.6	2.5	1.6	1.5	3.3	－	100.0
	令和元年率（%）	38.5	71.1	56.3	42.1	34.0	60.6	62.5	67.8	－	43.4
	平成29年率(%)	37.5	61.6	64.0	51.7	47.3	55.6	71.1	67.8	23.1	42.8
不明	人数（人）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	率（%）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	令和元年率（%）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	－	0.0
	平成29年率(%)	0.9	1.9	0.5	0.0	0.8	1.4	0.0	4.1	58.5	1.7
計	人数（人）	5,815	527	362	109	167	86	81	174	－	7,321
	率（%）	79.4	7.2	4.9	1.5	2.3	1.2	1.1	2.4	－	100.0

（注）率は、保証人の要否の回答者数の計を 100 とした割合

宿舎の保証人の種類（第 10-15 表）を見ると、「保証人制度を利用する」が 826 人（22.1%）と最も多く、次いで「日本人の知人」が 698 人（18.7%）、「日本人以外の知人」が 581 人（15.6%）、「大学・学校（代表者）」が 548 人（14.7%）と続く。

第 10-15 表　宿舎の保証人の種類　（Q39 参照）

区分	大学・学校（代表者）	大学・学校の指導教員	国際交流団体（代表者）	過去に在籍していた日本語教育機関（代表者・教員）	日本人の知人	日本人以外の知人	親族	保証人制度を利用する	その他	不明	計
人数（人）	548	187	57	126	698	581	504	826	207	－	3,734
率（%）	14.7	5.0	1.5	3.4	18.7	15.6	13.5	22.1	5.5	－	100.0
令和元年率（%）	20.2	5.5	1.5	2.7	17.2	9.9	19.3	21.8	2.0	0.0	100.0
平成 29 年率（%）	23.9	5.1	1.7	2.7	17.4	8.3	16.2	18.7	4.5	1.5	100.0

（注）1. 有効回答者は、第 10-13 表の回答者（7,321 人）のうち、「保証人を求められた」と回答した数（3,734 人）
2. 率は、回答者数の計（3,734 人）を 100 とした割合

学校までの所要通学時間（第 10-16 表）を見ると、全国平均で「30 分以内」が 4,686 人（64.0%）と最も多く、次いで「１時間以内」が 1,968 人（26.9%）、「１時間 30 分以内」が 520 人（7.1%）と続く。東京在住でも「30 分以内」が 1,256 人（53.3%）と最も多い。

第 10-16 表　学校までの所要通学時間　（Q17・30 参照）

区分		30 分以内	1 時間以内	1 時間 30 分以内	2 時間以内	2 時間以上	不明	計
全国平均	人数（人）	4,686	1,968	520	104	43	－	7,321
	率（%）	64.0	26.9	7.1	1.4	0.6	－	100.0
	令和元年率（%）	68.8	24.0	5.2	1.4	0.6	0.0	100.0
	平成 29 年率（%）	66.8	25.0	5.7	1.2	0.7	0.6	100.0
東京在住	人数（人）	1,256	898	166	24	13	－	2,357
	率（%）	53.3	38.1	7.0	1.0	0.6	－	100.0
	令和元年率（%）	57.0	34.5	6.5	1.5	0.6	0.0	100.0
	平成 29 年率（%）	54.7	35.6	6.9	1.0	1.0	0.8	100.0

（注）率は、項目別の回答者数の計を 100 とした割合

11. 健康

大学・学校に入学してからの病気経験の有無とその時の対処の仕方（第 11-1 表）を見ると、「病院に行った」が 3,431 人（46.9%）と最も多く、次いで「薬局で薬を買って治した」が 2,664 人（36.4%）、「学校の保健管理センターや医務室に行った」が 725 人（9.9%）と続く。なお、「病気やけがをしたことがない」は 2,645 人（36.1%）である。

第 11-1 表　大学・学校に入学してからの病気経験の有無とその時の対処の仕方（複数回答）　（Q40 参照）

区分	病気やけがをしたことがない	学校の保健管理センターや医務室に行った	病院に行った	薬局で薬を買って治した	病院にも薬局にも行かないで、我慢した	その他	不明
人数（人）	2,645	725	3,431	2,664	608	125	－
率（%）	36.1	9.9	46.9	36.4	8.3	1.7	－
令和元年率（%）	41.7	13.8	44.9	32.7	6.9	0.5	0.0
平成 29 年率（%）	40.0	16.5	43.9	43.7	11.6	1.7	3.5

（注）　率は、回答者数の計（7,321 人）を 100 とした割合

加入している健康保険の種類（第 11-2 表）を見ると、7,260 人（99.2%）が何らかの健康保険に加入している。うち、「（日本の）国民健康保険」が 6,980 人（95.3%）と最も多く、次いで「海外旅行・留学保険」に 421 人（5.8%）と続く。

第 11-2 表　加入している健康保険の種類　（複数回答）　（Q41 参照）

区分	（日本の）国民健康保険	海外旅行・留学保険	親や、兄弟、配偶者等の家族が加入している健康保険	所属する機関の健康保険	加入していない	その他
人数（人）	6,980	421	196	264	65	34
率（%）	95.3	5.8	2.7	3.6	0.9	0.5
令和元年率（%）	95.9	6.9	4.0	4.6	－	0.4
平成 29 年率（%）	92.2	9.0	5.2	7.8	－	1.0

（注）1. 有効回答者は、第 11-1 表の回答者（7,321 人）
2. 率は、回答者数の計（7,321 人）を 100 とした割合

第 11-3 表　居住地域別加入している健康保険の種類（複数回答）　（Q30・42 参照）

区分		北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	計
国民健康保険	人数（人）	103	125	3,766	654	1,434	255	42	601	6,980
	率（%）	93.6	92.6	96.2	94.2	94.8	96.2	100.0	92.9	95.3
海外旅行・留学保険	人数（人）	9	16	209	37	80	19	0	51	421
	率（%）	8.2	11.9	5.3	5.3	5.3	7.2	0.0	7.9	5.8
親や、兄弟、配偶者等の家族が加入している健康保険	人数（人）	4	3	91	20	53	7	2	16	196
	率（%）	3.6	2.2	2.3	2.9	3.5	2.6	4.8	2.5	2.7
所属する機関の健康保険	人数（人）	7	16	138	23	48	11	1	20	264
	率（%）	6.4	11.9	3.5	3.3	3.2	4.2	2.4	3.1	3.6
加入していない	人数（人）	0	2	32	11	15	1	0	4	65
	率（%）	0.0	1.5	0.8	1.6	1.0	0.4	0.0	0.6	0.9
その他	人数（人）	2	0	19	2	6	2	1	2	34
	率（%）	1.8	0.0	0.5	0.3	0.4	0.8	2.4	0.3	0.5

（注）1. 有効回答者は、第 11-1 表の回答者（7,321 人）
2. 率は、第 1-6 表の居住地域別の人数を 100 とした割合

第 11-4 表　年度別の居住地域別国民健康保険の加入率　（年度別比較表）　（Q30・42 参照）

区分	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	計
令和３年率（%）	93.6	92.6	96.2	94.2	94.8	96.2	100.0	92.9	95.3
令和元年率（%）	95.2	85.1	94.6	95.3	95.3	92.8	97.8	93.6	94.4
平成 29 年率（%）	93.1	88.9	92.1	93.1	93.1	95.1	88.9	90.6	92.2

（注）率は、第 1-6 表の居住地域別の人数を 100 とした割合

第 11-5 表　国民健康保険加入者の地域別保険料月額　（Q30・42 参照）

区分		無料	500 円未満	500 円～1,000 円未満	1,000 円～1,500 円未満	1,500 円～2,000 円未満	2,000 円～2,500 円未満	2,500 円～3,000 円未満	3,000 円～3,500 円未満	3.500 円以上	計
北海道	人数（人）	4	2	6	16	45	19	9	1	1	103
	率（%）	3.9	1.9	5.8	15.5	43.7	18.4	8.7	1.0	1.0	100.0
東北	人数（人）	7	5	6	13	49	22	11	3	9	125
	率（%）	5.6	4.0	4.8	10.4	39.2	17.6	8.8	2.4	7.2	100.0
関東	人数（人）	84	85	293	1,250	818	249	152	147	688	3,766
	率（%）	2.2	2.3	7.8	33.2	21.7	6.6	4.0	3.9	18.3	100.0
中部	人数（人）	14	12	36	117	151	106	33	34	151	654
	率（%）	2.1	1.8	5.5	17.9	23.1	16.2	5.0	5.2	23.1	100.0
近畿	人数（人）	59	39	61	142	291	454	92	51	245	1,434
	率（%）	4.1	2.7	4.3	9.9	20.3	31.7	6.4	3.6	17.1	100.0
中国	人数（人）	11	2	7	23	63	63	17	9	60	255
	率（%）	4.3	0.8	2.7	9.0	24.7	24.7	6.7	3.5	23.5	100.0
四国	人数（人）	1	0	1	6	9	14	1	1	9	42
	率（%）	2.4	0.0	2.4	14.3	21.4	33.3	2.4	2.4	21.4	100.0
九州	人数（人）	15	14	26	67	219	69	22	36	133	601
	率（%）	2.5	2.3	4.3	11.1	36.4	11.5	3.7	6.0	22.1	100.0
計	人数（人）	195	159	436	1,634	1,645	996	337	282	1,296	6,980
	率（%）	2.8	2.3	6.2	23.4	23.6	14.3	4.8	4.0	18.6	100.0

（注）1. 有効回答者は、第 11-2 表の回答者数（7,321 人）のうち、「国民健康保険に加入している」と回答した数（6,980 人）
2. 率は、居住地域別の回答者数の計を 100 とした割合

12. 卒業後の進路希望等

卒業後の進路希望（第 12-1 表）を見ると、「日本において就職希望」が 4,243 人（58.0%）と最も多く、次いで「日本において進学希望」が 3,135 人（42.8%）と続く。

第 12-1 表　卒業後の進路希望　（全体）　（複数回答）　（Q43 参照）

区分	日本において進学希望	日本において就職希望	日本において起業希望	出身国において進学希望	出身国において就職・起業希望	日本・出身国以外の国において進学希望	日本・出身国以外の国において就職・起業希望	まだ決めていない	不明
集計 pt	8,938	11,730	1,284	543	2,409	744	610	1,182	－
集計 pt 率（%）	32.6	42.7	4.7	2.0	8.8	2.7	2.2	4.3	－
人数（人）	3,135	4,243	671	251	1,095	396	339	498	－
率（%）	42.8	58.0	9.2	3.4	15.0	5.4	4.6	6.8	－
令和元年率（%）	41.4	54.9	9.6	4.7	19.4	6.7	6.4	5.0	0.0
平成 29 年率（%）	51.5	64.6	10.6	5.7	18.5	6.2	5.2	5.2	1.0

（注）1. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計（27,440）を 100 とした割合
2. 率は、回答者数の計（7,321 人）を 100 とした割合

在籍段階別卒業後の進路希望（第 12-2 表）を見ると、「大学」、「短期大学」、「専修学校」在籍者では「日本において就職を希望」が最も多く、「準備教育課程」、「日本語教育機関」在籍者では「日本において進学希望」が最も多い。

第 12-2 表　在籍段階別卒業後の進路希望　（複数回答）　（Q12・43 参照）

区分		日本において進学希望	日本において就職希望	日本において起業希望	出身国において進学希望	出身国において就職・起業希望	日本・出身国以外の国において進学希望	日本・出身国以外の国において就職・起業希望	まだ決めていない
大学院博士課程・博士後期課程	集計 pt	135	760	73	90	421	79	106	150
	集計 pt 率(%)	7.4	41.9	4.0	5.0	23.2	4.4	5.8	8.3
	人数（人）	50	275	39	38	168	39	57	57
	率（%）	10.9	60.2	8.5	8.3	36.8	8.5	12.5	12.5
大学院修士課程・博士前期課程	集計 pt	725	1,191	104	79	562	56	58	137
	集計 pt 率(%)	24.9	40.9	3.6	2.7	19.3	1.9	2.0	4.7
	人数（人）	264	429	53	34	232	32	34	60
	率（%）	34.8	56.6	7.0	4.5	30.6	4.2	4.5	7.9
専門職大学院課程	集計 pt	27	90	7	3	12	2	5	12
	集計 pt 率(%)	17.1	57.0	4.4	1.9	7.6	1.3	3.2	7.6
	人数（人）	10	31	3	2	4	1	2	5
	率（%）	22.7	70.5	6.8	4.5	9.1	2.3	4.5	11.4
大学院レベルの研究生	集計 pt	42	133	13	1	26	6	7	12
	集計 pt 率(%)	17.5	55.4	5.4	0.4	10.8	2.5	2.9	5.0
	人数（人）	15	47	6	1	13	3	3	5
	率（%）	23.4	73.4	9.4	1.6	20.3	4.7	4.7	7.8
学部正規課程	集計 pt	2,143	2,865	265	125	646	329	128	385
	集計 pt 率(%)	31.1	41.6	3.8	1.8	9.4	4.8	1.9	5.6
	人数（人）	774	1,055	141	62	315	174	76	159
	率（%）	44.6	60.7	8.1	3.6	18.1	10.0	4.4	9.2
学部レベルの研究生・聴講生	集計 pt	53	208	22	7	37	16	15	30
	集計 pt 率(%)	13.7	53.6	5.7	1.8	9.5	4.1	3.9	7.7
	人数（人）	19	72	10	3	17	7	8	12
	率（%）	17.9	67.9	9.4	2.8	16.0	6.6	7.5	11.3
短期大学	集計 pt	55	200	26	3	17	3	8	9
	集計 pt 率(%)	17.1	62.3	8.1	0.9	5.3	0.9	2.5	2.8
	人数（人）	20	68	11	1	9	2	4	5
	率（%）	22.5	76.4	12.4	1.1	10.1	2.2	4.5	5.6
専修学校（専門課程）	集計 pt	1,565	4,646	526	100	385	96	181	248
	集計 pt 率(%)	20.2	60.0	6.8	1.3	5.0	1.2	2.3	3.2
	人数（人）	564	1,619	270	53	184	55	95	114
	率（%）	26.4	75.7	12.6	2.5	8.6	2.6	4.4	5.3
準備教育課程	集計 pt	211	82	9	8	8	4	4	6
	集計 pt 率(%)	63.6	24.7	2.7	2.4	2.4	1.2	1.2	1.8
	人数（人）	71	33	5	3	5	2	2	3
	率（%）	77.2	35.9	5.4	3.3	5.4	2.2	2.2	3.3
日本語教育機関	集計 pt	3,878	1,303	184	111	234	132	75	167
	集計 pt 率(%)	63.7	21.4	3.0	1.8	3.8	2.2	1.2	2.7
	人数（人）	1,312	520	107	47	120	70	45	67
	率（%）	77.3	30.6	6.3	2.8	7.1	4.1	2.7	3.9
その他	集計 pt	104	252	55	16	61	21	23	26
	集計 pt 率(%)	18.6	45.2	9.9	2.9	10.9	3.8	4.1	4.7
	人数（人）	36	94	26	7	28	11	13	11
	率（%）	26.3	68.6	19.0	5.1	20.4	8.0	9.5	8.0
計	集計 pt	8,938	11,730	1,284	543	2,409	744	610	1,182
	集計 pt 率(%)	32.6	42.7	4.7	2.0	8.8	2.7	2.2	4.3
	人数（人）	3,135	4,243	671	251	1,095	396	339	498
	率（%）	42.8	58.0	9.2	3.4	15.0	5.4	4.6	6.8

（注）　1. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、在籍段階別の集計 pt の計を 100 とした割合
2. 率は、第 1-4 表の在籍段階別の人数を 100 とした割合

第 12-3 表　専攻分野別卒業後の進路希望　（複数回答）　（Q12・43 参照）

区分		日本において進学希望	日本において就職希望	日本において起業希望	出身国において進学希望	出身国において就職・起業希望	日本・出身国以外の国において進学希望	日本・出身国以外の国において就職・起業希望	まだ決めていない
人文科学	集計 pt	1,164	1,729	203	66	332	114	82	175
	集計 pt 率(%)	30.1	44.7	5.3	1.7	8.6	2.9	2.1	4.5
	人数（人）	412	622	106	30	153	58	48	75
	率（%）	40.4	60.9	10.4	2.9	15.0	5.7	4.7	7.3
社会科学	集計 pt	1,554	3,648	416	119	702	167	197	339
	集計 pt 率(%)	21.8	51.1	5.8	1.7	9.8	2.3	2.8	4.7
	人数（人）	570	1,294	222	57	314	90	102	143
	率（%）	30.2	68.6	11.8	3.0	16.7	4.8	5.4	7.6
理学	集計 pt	293	462	30	26	102	69	48	54
	集計 pt 率(%)	27.0	42.6	2.8	2.4	9.4	6.4	4.4	5.0
	人数（人）	105	170	15	12	50	33	23	22
	率（%）	38.5	62.3	5.5	4.4	18.3	12.1	8.4	8.1
工学	集計 pt	933	2,211	201	76	427	96	108	181
	集計 pt 率(%)	22.0	52.2	4.7	1.8	10.1	2.3	2.6	4.3
	人数（人）	333	787	99	36	185	61	65	80
	率（%）	29.6	69.9	8.8	3.2	16.4	5.4	5.8	7.1
農学	集計 pt	129	117	7	23	47	24	6	21
	集計 pt 率(%)	34.5	31.3	1.9	6.1	12.6	6.4	1.6	5.6
	人数（人）	46	45	4	9	19	12	4	9
	率（%）	47.9	46.9	4.2	9.4	19.8	12.5	4.2	9.4
医・歯学	集計 pt	107	167	18	30	101	21	13	22
	集計 pt 率(%)	22.3	34.9	3.8	6.3	21.1	4.4	2.7	4.6
	人数（人）	37	62	9	12	41	13	7	9
	率（%）	30.1	50.4	7.3	9.8	33.3	10.6	5.7	7.3
薬学	集計 pt	23	41	0	3	18	5	3	5
	集計 pt 率(%)	23.5	41.8	0.0	3.1	18.4	5.1	3.1	5.1
	人数（人）	8	15	0	1	7	2	2	2
	率（%）	30.8	57.7	0.0	3.8	26.9	7.7	7.7	7.7
家政	集計 pt	53	190	52	5	35	5	11	34
	集計 pt 率(%)	13.8	49.4	13.5	1.3	9.1	1.3	2.9	8.8
	人数（人）	21	68	23	3	17	2	4	14
	率（%）	21.4	69.4	23.5	3.1	17.3	2.0	4.1	14.3
教育	集計 pt	170	335	51	20	90	20	13	46
	集計 pt 率(%)	22.8	45.0	6.8	2.7	12.1	2.7	1.7	6.2
	人数（人）	60	122	24	12	41	11	8	19
	率（%）	31.3	63.5	12.5	6.3	21.4	5.7	4.2	9.9
日本語	集計 pt	4,059	1,376	187	114	242	134	77	171
	集計 pt 率(%)	63.8	21.6	2.9	1.8	3.8	2.1	1.2	2.7
	人数（人）	1,373	550	110	48	125	71	46	69
	率（%）	77.4	31.0	6.2	2.7	7.0	4.0	2.6	3.9
その他	集計 pt	453	1,454	119	61	313	89	52	134
	集計 pt 率(%)	16.9	54.4	4.4	2.3	11.7	3.3	1.9	5.0
	人数（人）	170	508	59	31	143	43	30	56
	率（%）	24.0	71.9	8.3	4.4	20.2	6.1	4.2	7.9
計	集計 pt	8,938	11,730	1,284	543	2,409	744	610	1,182
	集計 pt 率(%)	32.6	42.7	4.7	2.0	8.8	2.7	2.2	4.3
	人数（人）	3,135	4,243	671	251	1,095	396	339	498
	率（%）	42.8	58.0	9.2	3.4	15.0	5.4	4.6	6.8

（注）　1. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、専攻分野別の集計 pt の計を 100 とした割合
2. 率は、第 1-5 表の専攻分野別の人数を 100 とした割合

「日本において就職希望」回答者の就職希望職種（第 12-4 表）を見ると、卒業後日本で就職を希望すると回答した者の希望する職種は、「翻訳・通訳」が 1,055 人（24.9%）と最も多く、次いで「海外業務」が 997 人（23.5%）、「販売営業」982 人（23.1%）と続く。

第 12-4 表　「日本において就職希望」回答者の就職希望職種　（複数回答）　（Q45 参照）

区分	翻訳 通訳	海外業務	貿易業務	調査研究	教育	販売 営業	経営 管理業務	技術開発	情報処理	設計	その他	不明
集計 pt	2,538	2,176	1,983	888	1,244	2,198	2,036	2,028	1,312	1,069	1,890	－
集計 pt 率（%）	13.1	11.2	10.2	4.6	6.4	11.4	10.5	10.5	6.8	5.5	9.8	－
人数（人）	1,055	997	926	389	565	982	966	818	595	449	679	－
率（%）	24.9	23.5	21.8	9.2	13.3	23.1	22.8	19.3	14.0	10.6	16.0	－
令和元年率（%）	29.9	28.1	22.8	10.5	13.7	21.3	25.2	22.1	14.2	10.5	10.4	－
平成 29 年率（%）	32.4	33.7	24.7	10.9	13.6	22.1	24.5	18.5	11.5	12.3	8.9	4.2

（注）1. 有効回答者は、第 12-1 表の回答者（7,321 人）のうち、「日本において就職希望」と回答した数（4,243 人）
2. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計（19,362）を 100 とした割合。
3. 率は、回答者数の計（4,243 人）を 100 とした割合

学年別日本語能力取得状況

第 12-5 表　「日本において就職希望」回答者の学年別日本語能力取得状況（全体）　（Q13・14・43 参照）

区分		J1+	J1	J2	J3	J4	J5	N1	N2	N3	N4	N5	取得していない
1 年生（人数:1,040 人）	人数（人）	0	2	12	26	13	7	203	387	242	40	23	108
	率（%）	0.0	0.2	1.2	2.5	1.3	0.7	19.5	37.2	23.3	3.8	2.2	10.4
2 年生（人数:1,488 人）	人数（人）	4	9	30	26	8	1	348	662	250	44	27	103
	率（%）	0.3	0.6	2.0	1.7	0.5	0.1	23.4	44.5	16.8	3.0	1.8	6.9
3 年生（人数:514 人）	人数（人）	4	9	11	9	1	1	204	206	40	2	1	45
	率（%）	0.8	1.8	2.1	1.8	0.2	0.2	39.7	40.1	7.8	0.4	0.2	8.8
4 年生（人数:290 人）	人数（人）	3	5	8	6	2	0	157	101	9	0	2	12
	率（%）	1.0	1.7	2.8	2.1	0.7	0.0	54.1	34.8	3.1	0.0	0.7	4.1
5 年生（人数:9 人）	人数（人）	0	0	1	0	0	0	6	1	0	0	0	1
	率（%）	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	66.7	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1
6 年生（人数:1 人）	人数（人）	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	率（%）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
修士 1 年生（人数:186 人）	人数（人）	1	1	5	0	0	0	114	39	3	2	1	24
	率（%）	0.5	0.5	2.7	0.0	0.0	0.0	61.3	21.0	1.6	1.1	0.5	12.9
修士 2 年生（人数:247 人）	人数（人）	2	5	5	0	1	1	146	49	13	3	2	26
	率（%）	0.8	2.0	2.0	0.0	0.4	0.4	59.1	19.8	5.3	1.2	0.8	10.5
博士 1 年生（人数:76 人）	人数（人）	0	1	1	3	1	0	43	11	3	0	0	17
	率（%）	0.0	1.3	1.3	3.9	1.3	0.0	56.6	14.5	3.9	0.0	0.0	22.4
博士 2 年生（人数:72 人）	人数（人）	0	1	0	0	0	0	22	12	6	4	5	22
	率（%）	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	30.6	16.7	8.3	5.6	6.9	30.6
博士 3 年生（人数:121 人）	人数（人）	3	1	3	1	1	0	41	19	9	5	1	40
	率（%）	2.5	0.8	2.5	0.8	0.8	0.0	33.9	15.7	7.4	4.1	0.8	33.1
研究生・聴講生等（人数:120 人）	人数（人）	1	2	2	4	3	0	37	58	10	0	1	5
	率（%）	0.8	1.7	1.7	3.3	2.5	0.0	30.8	48.3	8.3	0.0	0.8	4.2
その他（人数:79 人）	人数（人）	0	1	2	1	0	1	23	28	9	1	1	12
	率（%）	0.0	1.3	2.5	1.3	0.0	1.3	29.1	35.4	11.4	1.3	1.3	15.2
計（人数:4,243 人）	人数（人）	18	37	80	76	30	11	1,345	1,573	594	101	64	415
	率（%）	0.4	0.9	1.9	1.8	0.7	0.3	31.7	37.1	14.0	2.4	1.5	9.8

（注）1. 有効回答者は、第 12-1 表の回答者（7,321 人）のうち、「日本において就職希望」と回答した数（4,243 人）
2. 率は、「日本において就職希望」と回答した学年別の人数の計を 100 とした割合
3. （J1+, J1, J2…）は、「BJT ビジネス日本語能力テスト」のレベル、（N1, N2, N3…）は、「日本語能力試験 JLPT」のレベルを示す。回答者は、それぞれの試験につき取得レベルの回答を行った

第 12-6 表「日本において就職希望」回答者以外の学年別日本語能力取得状況（全体）　（Q13・14・43 参照）

区分		J1+	J1	J2	J3	J4	J5	N1	N2	N3	N4	N5	取得していない
1 年生（人数:756 人）	人数（人）	6	3	6	9	4	0	235	265	94	15	12	114
	率（%）	0.8	0.4	0.8	1.2	0.5	0.0	31.1	35.1	12.4	2.0	1.6	15.1
2 年生（人数:1,110 人）	人数（人）	2	10	10	14	3	8	299	402	182	44	29	119
	率（%）	0.2	0.9	0.9	1.3	0.3	0.7	26.9	36.2	16.4	4.0	2.6	10.7
3 年生（人数:261 人）	人数（人）	1	4	7	2	1	2	118	82	19	2	1	26
	率（%）	0.4	1.5	2.7	0.8	0.4	0.8	45.2	31.4	7.3	0.8	0.4	10.0
4 年生（人数:212 人）	人数（人）	1	5	3	0	1	0	138	43	3	1	3	19
	率（%）	0.5	2.4	1.4	0.0	0.5	0.0	65.1	20.3	1.4	0.5	1.4	9.0
5 年生（人数:4 人）	人数（人）	0	0	1	0	0	0	1	2	0	0	0	0
	率（%）	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6 年生（人数:3 人）	人数（人）	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
	率（%）	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
修士 1 年生（人数:104 人）	人数（人）	1	1	1	0	0	0	56	33	1	0	2	9
	率（%）	1.0	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	53.8	31.7	1.0	0.0	1.9	8.7
修士 2 年生（人数:228 人）	人数（人）	2	4	4	0	0	0	119	60	5	2	1	33
	率（%）	0.9	1.8	1.8	0.0	0.0	0.0	52.2	26.3	2.2	0.9	0.4	14.5
博士 1 年生（人数:61 人）	人数（人）	1	0	0	0	0	0	25	9	2	3	1	21
	率（%）	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	24.0	8.7	1.9	2.9	1.0	20.2
博士 2 年生（人数:53 人）	人数（人）	1	0	0	1	0	0	18	12	1	2	4	15
	率（%）	1.9	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	34.0	22.6	1.9	3.8	7.5	28.3
博士 3 年生（人数:68 人）	人数（人）	2	0	0	0	0	2	23	8	2	1	0	31
	率（%）	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	33.8	11.8	2.9	1.5	0.0	45.6
研究生・聴講生等（人数:52 人）	人数（人）	1	0	0	0	0	0	21	18	3	0	0	10
	率（%）	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.4	34.6	5.8	0.0	0.0	19.2
その他（人数:166 人）	人数（人）	0	0	3	4	2	1	67	55	7	3	2	25
	率（%）	0.0	0.0	1.8	2.4	1.2	0.6	40.4	33.1	4.2	1.8	1.2	15.1
計（人数:3,078 人）	人数（人）	18	28	35	30	11	13	1,121	990	319	73	55	422
	率（%）	0.6	0.9	1.1	1.0	0.4	0.4	36.4	32.2	10.4	2.4	1.8	13.7

（注）1. 有効回答者は、第 12-1 表の回答者（7,321 人）のうち、「日本において就職希望」と回答しなかった数（3,078 人）
2. 率は、「日本において就職希望」と回答しなかった学年別の人数の計を 100 とした割合
3. （J1+, J1, J2…）は、「BJT ビジネス日本語能力テスト」のレベル、（N1, N2, N3…）は、「日本語能力試験 JLPT」のレベルを示す。回答者は、それぞれの試験につき取得レベルの回答を行った

第 12-7 表　在籍段階別の「日本において就職希望」回答者　（Q12・43 参照）

区分	大学院博士課程博士後期課程	大学院修士課程博士前期課程	専門職大学院課程	大学院レベルの研究生	学部正規課程	学部レベルの研究生聴講生	短期大学	専修学校（専門課程）	準備教育課程	日本語教育機関	その他	計
人数（人）	275	429	31	47	1,055	72	68	1,619	33	520	94	4,243
率（%）	6.5	10.1	0.7	1.1	24.9	1.7	1.6	38.2	0.8	12.3	2.2	100.0

（注）1. 有効回答者は、第 12-1 表の回答者（7,321 人）のうち、「日本において就職希望」と回答した数（4,243 人）
2. 率は、回答者数の計（4,243 人）を 100 とした割合

第 12-8 表　在籍段階別日本での就職希望職種　（複数回答）　（Q12・45 参照）

区分		翻訳通訳	海外業務	貿易業務	調査研究	教育	販売営業	経営管理業務	技術開発	情報処理	設計	その他
大学院博士課程・博士後期課程	集計 pt	89	115	43	369	314	36	28	172	56	34	64
	集計 pt 率（%）	6.7	8.7	3.3	28.0	23.8	2.7	2.1	13.0	4.2	2.6	4.8
	人数（人）	42	59	23	141	128	16	20	81	29	18	28
	率（%）	15.3	21.5	8.4	51.3	46.5	5.8	7.3	29.5	10.5	6.5	10.2
大学院修士課程・博士前期課程	集計 pt	170	348	202	175	167	71	140	336	193	165	130
	集計 pt 率（%）	8.1	16.6	9.6	8.3	8.0	3.4	6.7	16.0	9.2	7.9	6.2
	人数（人）	72	160	101	88	79	35	76	129	84	64	51
	率（%）	16.8	37.3	23.5	20.5	18.4	8.2	17.7	30.1	19.6	14.9	11.9
専門職大学院課程	集計 pt	26	24	33	0	3	17	18	6	8	3	3
	集計 pt 率（%）	18.4	17.0	23.4	0.0	2.1	12.1	12.8	4.3	5.7	2.1	2.1
	人数（人）	10	9	14	0	1	7	13	2	3	1	1
	率（%）	32.3	29.0	45.2	0.0	3.2	22.6	41.9	6.5	9.7	3.2	3.2
大学院レベルの研究生	集計 pt	48	24	28	5	19	38	26	25	10	3	6
	集計 pt 率（%）	20.7	10.3	12.1	2.2	8.2	16.4	11.2	10.8	4.3	1.3	2.6
	人数（人）	19	14	13	2	10	18	11	9	5	2	2
	率（%）	40.4	29.8	27.7	4.3	21.3	38.3	23.4	19.1	10.6	4.3	4.3
学部正規課程	集計 pt	603	825	688	163	284	525	658	425	336	241	377
	集計 pt 率（%）	11.8	16.1	13.4	3.2	5.5	10.2	12.8	8.3	6.6	4.7	7.4
	人数（人）	275	370	326	75	135	250	302	172	158	104	135
	率（%）	26.1	35.1	30.9	7.1	12.8	23.7	28.6	16.3	15.0	9.9	12.8
学部レベルの研究生・聴講生	集計 pt	57	49	41	9	12	39	48	29	27	5	25
	集計 pt 率（%）	16.7	14.4	12.0	2.6	3.5	11.4	14.1	8.5	7.9	1.5	7.3
	人数（人）	23	22	18	4	5	20	21	11	15	2	9
	率（%）	31.9	30.6	25.0	5.6	6.9	27.8	29.2	15.3	20.8	2.8	12.5
短期大学	集計 pt	55	16	23	4	13	51	37	31	6	3	41
	集計 pt 率（%）	19.6	5.7	8.2	1.4	4.6	18.2	13.2	11.1	2.1	1.1	14.6
	人数（人）	19	8	11	2	5	24	17	12	2	2	14
	率（%）	27.9	11.8	16.2	2.9	7.4	35.3	25.0	17.6	2.9	2.9	20.6
専修学校（専門課程）	集計 pt	1,007	495	611	63	209	1,164	694	774	494	421	962
	集計 pt 率（%）	14.6	7.2	8.9	0.9	3.0	16.9	10.1	11.2	7.2	6.1	14.0
	人数（人）	399	219	278	30	101	490	335	308	212	177	341
	率（%）	24.6	13.5	17.2	1.9	6.2	30.3	20.7	19.0	13.1	10.9	21.1
準備教育課程	集計 pt	18	27	24	3	14	16	26	15	9	6	9
	集計 pt 率（%）	10.8	16.2	14.4	1.8	8.4	9.6	15.6	9.0	5.4	3.6	5.4
	人数（人）	10	13	10	2	6	7	14	6	4	2	3
	率（%）	30.3	39.4	30.3	6.1	18.2	21.2	42.4	18.2	12.1	6.1	9.1
日本語教育機関	集計 pt	363	220	248	83	185	176	295	179	145	177	238
	集計 pt 率（%）	15.7	9.5	10.7	3.6	8.0	7.6	12.8	7.8	6.3	7.7	10.3
	人数（人）	147	105	113	38	84	83	128	71	69	71	82
	率（%）	28.3	20.2	21.7	7.3	16.2	16.0	24.6	13.7	13.3	13.7	15.8
その他	集計 pt	102	33	42	14	24	65	66	36	28	11	35
	集計 pt 率（%）	22.4	7.2	9.2	3.1	5.3	14.3	14.5	7.9	6.1	2.4	7.7
	人数（人）	39	18	19	7	11	32	29	17	14	6	13
	率（%）	41.5	19.1	20.2	7.4	11.7	34.0	30.9	18.1	14.9	6.4	13.8
計	集計 pt	2,538	2,176	1,983	888	1,244	2,198	2,036	2,028	1,312	1,069	1,890
	集計 pt 率（%）	13.1	11.2	10.2	4.6	6.4	11.4	10.5	10.5	6.8	5.5	9.8
	人数（人）	1,055	997	926	389	565	982	966	818	595	449	679
	率（%）	24.9	23.5	21.8	9.2	13.3	23.1	22.8	19.3	14.0	10.6	16.0

（注）　1. 有効回答者数は、第 12-1 表の回答者（7,321 人）のうち、「日本において就職希望」と回答した数（4,243 人）
2. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、在籍段階別の集計 pt の計を 100 とした割合
3. 率は、第 12-7 表の在籍段階別の人数を 100 とした割合

第 12-9 表　専攻分野別おける「日本において就職希望」回答者の構成比率及び割合　（Q15・43 参照）

区分	人文科学	社会科学	理学	工学	農学	医・歯学	薬学	家政	教育	日本語	その他	計
希望者数（人）	622	1,294	170	787	45	62	15	68	122	550	508	4,243
構成比率（%）	14.7	30.5	4.0	18.5	1.1	1.5	0.4	1.6	2.9	13.0	12.0	100.0
総数　（人）	1,021	1,885	273	1,126	96	123	26	98	192	1,774	707	7,321
希望者割合（%）	60.9	68.6	62.3	69.9	46.9	50.4	57.7	69.4	63.5	31.0	71.9	58.0

（注）1. 有効回答者は、第 13-1 表の回答者（7,321 人）のうち、「日本において就職希望」と回答した数（4,243 人）
2. 「構成比率」は、回答者数の計（4,243 人）を 100 とした割合
3. 「希望者割合」は、第 1-5 表の専攻分野別の人数を 100 とした割合

第 12-10 表　専攻分野別就職希望職種　（複数回答）　（Q15・45 参照）

区分		翻訳通訳	海外業務	貿易業務	調査研究	教育	販売営業	経営管理業務	技術開発	情報処理	設計	その他
人文科学	集計 pt	685	444	321	101	282	368	245	140	95	81	174
	集計pt率(%)	23.3	15.1	10.9	3.4	9.6	12.5	8.3	4.8	3.2	2.8	5.9
	人数（人）	273	202	157	49	124	162	125	59	46	37	68
	率（%）	43.9	32.5	25.2	7.9	19.9	26.0	20.1	9.5	7.4	5.9	10.9
社会科学	集計 pt	871	902	1,076	190	269	1,112	1,126	197	275	62	248
	集計pt率(%)	13.8	14.3	17.0	3.0	4.3	17.6	17.8	3.1	4.3	1.0	3.9
	人数（人）	364	402	484	84	133	495	529	93	139	32	95
	率（%）	28.1	31.1	37.4	6.5	10.3	38.3	40.9	7.2	10.7	2.5	7.3
理学	集計 pt	48	66	35	152	68	50	42	170	85	27	46
	集計pt率(%)	6.1	8.4	4.4	19.3	8.6	6.3	5.3	21.5	10.8	3.4	5.8
	人数（人）	23	32	18	60	30	21	21	68	40	14	17
	率（%）	13.5	18.8	10.6	35.3	17.6	12.4	12.4	40.0	23.5	8.2	10.0
工学	集計 pt	225	217	108	212	138	132	94	1,119	604	311	292
	集計pt率(%)	6.5	6.3	3.1	6.1	4.0	3.8	2.7	32.4	17.5	9.0	8.5
	人数（人）	95	106	60	95	67	61	52	432	249	140	103
	率（%）	12.1	13.5	7.6	12.1	8.5	7.8	6.6	54.9	31.6	17.8	13.1
農学	集計 pt	14	23	12	47	25	29	8	31	8	3	16
	集計pt率(%)	6.5	10.6	5.6	21.8	11.6	13.4	3.7	14.4	3.7	1.4	7.4
	人数（人）	7	13	8	17	11	12	4	12	5	2	6
	率（%）	15.6	28.9	17.8	37.8	24.4	26.7	8.9	26.7	11.1	4.4	13.3
医・歯学	集計 pt	24	13	6	53	27	13	14	14	1	0	83
	集計pt率(%)	9.7	5.2	2.4	21.4	10.9	5.2	5.6	5.6	0.4	0.0	33.5
	人数（人）	9	5	2	20	14	6	7	6	1	0	30
	率（%）	14.5	8.1	3.2	32.3	22.6	9.7	11.3	9.7	1.6	0.0	48.4
薬学	集計 pt	0	7	0	8	1	10	11	15	1	0	6
	集計pt率(%)	0.0	11.9	0.0	13.6	1.7	16.9	18.6	25.4	1.7	0.0	10.2
	人数（人）	0	3	0	3	1	4	4	6	1	0	2
	率（%）	0.0	20.0	0.0	20.0	6.7	26.7	26.7	40.0	6.7	0.0	13.3
家政	集計 pt	19	22	21	3	6	60	29	16	9	80	24
	集計pt率(%)	6.6	7.6	7.3	1.0	2.1	20.8	10.0	5.5	3.1	27.7	8.3
	人数（人）	8	10	11	2	3	25	15	6	4	30	9
	率（%）	11.8	14.7	16.2	2.9	4.4	36.8	22.1	8.8	5.9	44.1	13.2
教育	集計 pt	69	57	36	18	131	53	34	31	20	9	70
	集計pt率(%)	13.1	10.8	6.8	3.4	24.8	10.0	6.4	5.9	3.8	1.7	13.3
	人数（人）	29	28	16	9	50	24	16	15	9	3	24
	率（%）	23.8	23.0	13.1	7.4	41.0	19.7	13.1	12.3	7.4	2.5	19.7
日本語	集計 pt	376	247	272	86	199	188	321	191	154	183	247
	集計pt率(%)	15.3	10.0	11.0	3.5	8.1	7.6	13.0	7.8	6.3	7.4	10.0
	人数（人）	155	118	123	40	90	88	142	76	73	73	85
	率（%）	28.2	21.5	22.4	7.3	16.4	16.0	25.8	13.8	13.3	13.3	15.5
その他	集計 pt	207	178	96	18	98	183	112	104	60	313	684
	集計pt率(%)	10.1	8.7	4.7	0.9	4.8	8.9	5.5	5.1	2.9	15.2	33.3
	人数（人）	92	78	47	10	42	84	51	45	28	118	240
	率（%）	18.1	15.4	9.3	2.0	8.3	16.5	10.0	8.9	5.5	23.2	47.2
計	集計 pt	2,538	2,176	1,983	888	1,244	2,198	2,036	2,028	1,312	1,069	1,890
	集計pt率(%)	13.1	11.2	10.2	4.6	6.4	11.4	10.5	10.5	6.8	5.5	9.8
	人数（人）	1,055	997	926	389	565	982	966	818	595	449	679
	率（%）	24.9	23.5	21.8	9.2	13.3	23.1	22.8	19.3	14.0	10.6	16.0

（注）　1. 有効回答者は、第 12-1 表の回答者（7,321 人）のうち、「日本において就職希望」と回答した数（4,243 人）
2. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、専攻分野別の集計 pt の計を 100 とした割合
3. 率は、第 12-9 表の専攻分野別の日本における就職希望回答者人数を 100 とした割合

在籍段階別日本での就職後の将来(第 12-11 表)を見ると、「日本で永久に働きたい」が 1,500 人(35.4%)と最も多く、次いで「日本で働いた後、将来は出身国に帰国して就職したい」が 1,402 人（33.0%）と続く。

第 12-11 表　在籍段階別日本での就職後の将来　（Q12・46 参照）

区分		日本で永久に働きたい	日本で働いた後、将来は出身国に帰国して就職したい	日本で働いた後、将来は日本、出身国以外で就職したい	まだ決めていない	不明
大学院博士課程・博士後期課程	人数（人）	82	90	28	75	－
	率（%）	29.8	32.7	10.2	27.3	－
大学院修士課程・博士前期課程	人数（人）	145	117	35	132	－
	率（%）	33.8	27.3	8.2	30.8	－
専門職大学院課程	人数（人）	9	10	5	7	－
	率（%）	29.0	32.3	16.1	22.6	－
大学院レベルの研究生	人数（人）	14	21	3	9	－
	率（%）	29.8	44.7	6.4	19.1	－
学部正規課程	人数（人）	319	342	118	276	－
	率（%）	30.2	32.4	11.2	26.2	－
学部レベルの研究生・聴講生	人数（人）	21	31	6	14	－
	率（%）	29.2	43.1	8.3	19.4	－
短期大学	人数（人）	24	27	2	15	－
	率（%）	35.3	39.7	2.9	22.1	－
専修学校（専門課程）	人数（人）	666	533	130	290	－
	率（%）	41.1	32.9	8.0	17.9	－
準備教育課程	人数（人）	17	10	5	1	－
	率（%）	51.5	30.3	15.2	3.0	－
日本語教育機関	人数（人）	170	186	51	113	－
	率（%）	32.7	35.8	9.8	21.7	－
その他	人数（人）	33	35	8	18	－
	率（%）	35.1	37.2	8.5	19.1	－
計	人数（人）	1,500	1,402	391	950	－
	率（%）	35.4	33.0	9.2	22.4	－
	令和元年率（%）	37.6	31.1	7.5	23.9	－
	平成 29 年率(%)	33.5	35.6	7.3	18.4	5.1

（注）1. 有効回答者は、第 12-1 表の回答者（7,321 人）のうち、「日本において就職希望」と回答した数（4,243 人）
2. 率は、在籍段階別の回答者数の計を 100 とした割合

就職活動時の要望（第 12-12 表）を見ると、「在留資格の変更手続きの簡素化、手続き期間の短縮化」が 2,325 人（54.8%）と最も多く、次いで「留学生を対象とした就職に関する情報の充実」が 2,171 人（51.2%）と続く。

第 12-12 表　就職活動時の要望　（複数回答）　（Q47 参照）

区分		在留資格の変更手続きの簡素化、手続き期間の短縮化	在留資格の変更が弾力的に認められるよう規制緩和	留学生を対象とした就職に関する情報の充実	学校における留学生を対象とした就職説明会の充実	学校の留学生に対する就職相談窓口の充実	企業においてもっと留学生を対象とした就職説明会を開催してほしい	留学生を対象としたインターンシップの充実	その他	不明
高等教育機関	集計 pt	5,210	2,582	4,150	1,864	1,441	2,243	1,995	107	－
	集計 pt 率（%）	26.6	13.2	21.2	9.5	7.4	11.4	10.2	0.5	－
	人数（人）	2,002	1,209	1,890	940	764	1,208	1,103	42	－
	率（%）	53.8	32.5	50.8	25.2	20.5	32.4	29.6	1.1	－
日本語教育機関	集計 pt	882	434	599	232	187	205	208	11	－
	集計 pt 率（%）	32.0	15.7	21.7	8.4	6.8	7.4	7.5	0.4	－
	人数（人）	323	207	281	118	108	120	132	4	－
	率（%）	62.1	39.8	54.0	22.7	20.8	23.1	25.4	0.8	－
計	集計 pt	6,092	3,016	4,749	2,096	1,628	2,448	2,203	118	－
	集計 pt 率（%）	27.3	13.5	21.2	9.4	7.3	11.0	9.9	0.5	－
	人数（人）	2,325	1,416	2,171	1,058	872	1,328	1,235	46	－
	率（%）	54.8	33.4	51.2	24.9	20.6	31.3	29.1	1.1	－
	令和元年率（%）	53.8	33.4	53.0	26.2	20.4	32.4	24.9	1.1	－
	平成 29 年率（%）	51.7	34.1	51.6	25.0	19.0	35.6	28.9	1.5	4.4

（注）1. 有効回答者は、第 12-1 表の回答者（7,321 人）のうち、「日本において就職希望」と回答した数（4,243 人）
2. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計（高等教育機関（19,592）・日本語教育機関（2,758）をそれぞれ 100 とした割合
3. 率は、回答者の人数の計を高等教育機関（3,723 人）・日本語教育機関（520 人）別にそれぞれ 100 とした割合

就職にあたっての不安（第 12-13 表）を見ると、「職場で良い人間関係を作れるかどうか」が 2,046 人（48.2%）と最も多く、次いで「自分の日本語が通じるかどうか」が 1,999 人（47.1%）、「希望する仕事につけるかどうか」が 1,641 人（38.7%）と続く。

第 12-13 表　就職にあたっての不安　（複数回答）　（Q48 参照）

区分		職場で良い人間関係を作れるかどうか	自分の日本語が通じるかどうか	希望する仕事につけるかどうか	日本の商慣習になじめるかどうか	顧客対応が問題なくできるかどうか	ビジネスマナーで失敗しないかどうか	どのような人事評価制度なのか	勤務地がどこになるか	適切に仕事を進められるかどうか
高等教育機関	集計 pt	4,469	4,169	3,248	1,076	911	1,144	438	497	897
	集計 pt 率（%）	21.7	20.3	15.8	5.2	4.4	5.6	2.1	2.4	4.4
	人数（人）	1,787	1,701	1,438	545	519	634	253	285	529
	率（%）	48.0	45.7	38.6	14.6	13.9	17.0	6.8	7.7	14.2
日本語教育機関	集計 pt	659	730	433	156	120	117	49	70	83
	集計 pt 率（%）	22.7	25.2	14.9	5.4	4.1	4.0	1.7	2.4	2.9
	人数（人）	259	298	203	86	68	75	25	40	53
	率（%）	49.8	57.3	39.0	16.5	13.1	14.4	4.8	7.7	10.2
計	集計 pt	5,128	4,899	3,681	1,232	1,031	1,261	487	567	980
	集計 pt 率（%）	21.8	20.9	15.7	5.2	4.4	5.4	2.1	2.4	4.2
	人数（人）	2,046	1,999	1,641	631	587	709	278	325	582
	率（%）	48.2	47.1	38.7	14.9	13.8	16.7	6.6	7.7	13.7
	令和元年率（%）	51.0	52.6	35.3	17.5	11.2	16.3	5.8	7.1	9.6
	平成 29 年率（%）	48.9	48.5	35.1	16.3	12.3	17.4	6.8	7.5	10.4

区分		労働時間が長くないかどうか	給与・待遇が悪くないかどうか	自分の専門知識が役立つかどうか	キャリアパスがどうなるか	生活習慣の違いになじめるかどうか	不安はない	その他	不明
高等教育機関	集計 pt	521	1,219	1,003	433	200	291	60	－
	集計 pt 率（%）	2.5	5.9	4.9	2.1	1.0	1.4	0.3	－
	人数（人）	303	757	592	258	137	108	31	－
	率（%）	8.1	20.3	15.9	6.9	3.7	2.9	0.8	－
日本語教育機関	集計 pt	55	161	126	62	25	47	4	－
	集計 pt 率（%）	1.9	5.6	4.3	2.1	0.9	1.6	0.1	－
	人数（人）	33	103	77	37	16	20	2	－
	率（%）	6.3	19.8	14.8	7.1	3.1	3.8	0.4	－
計	集計 pt	576	1,380	1,129	495	225	338	64	－
	集計 pt 率（%）	2.5	5.9	4.8	2.1	1.0	1.4	0.3	－
	人数（人）	336	860	669	295	153	128	33	－
	率（%）	7.9	20.3	15.8	7.0	3.6	3.0	0.8	－
	令和元年率（%）	10.8	21.0	14.1	5.7	3.4	2.5	0.8	－
	平成 29 年率（%）	13.2	21.9	16.5	4.6	2.7	－	0.6	3.7

（注）1. 有効回答者は、第 12-1 表の回答者（7,321 人）のうち、「日本において就職希望」と回答した数（4,243 人）
2. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計（高等教育機関（20,576）・日本語教育機関（2,897））をそれぞれ 100 とした割合
3. 率は、回答者の人数の計を高等教育機関（3,723 人）・日本語教育機関（520 人）別にそれぞれ 100 とした割合

就職期間（第 12-14 表）を見ると、「10 年以上」が 1,753 人（41.3%）と最も多い。

第 12-14 表　就職期間　（Q49 参照）

区分		1 年未満	1 年～3 年未満	3 年～5 年未満	5 年～10 年未満	10 年以上	不明	計
高等教育機関	人数（人）	29	353	795	975	1,569	2	3,723
	率（%）	0.8	9.5	21.4	26.2	42.1	0.1	100.0
	令和元年率（%）	0.8	12.7	23.5	25.4	37.6	0.0	100.0
	平成 29 年率（%）	1.3	13.1	23.7	23.9	34.3	3.6	100.0
日本語教育機関	人数（人）	11	71	137	117	184	0	520
	率（%）	2.1	13.7	26.3	22.5	35.4	0.0	100.0
	令和元年率（%）	2.1	15.9	25.2	26.0	30.8	0.0	100.0
	平成 29 年率（%）	3.3	16.1	26.1	20.3	27.3	6.9	100.0
計	人数（人）	40	424	932	1,092	1,753	2	4,243
	率（%）	0.9	10.0	22.0	25.7	41.3	0.0	100.0
	令和元年率（%）	1.0	13.3	23.8	25.5	36.4	0.0	100.0
	平成 29 年率（%）	1.7	13.8	24.2	23.2	32.8	4.3	100.0

（注）1. 有効回答者は、第 12-1 表の回答者（7,321 人）のうち、「日本において就職希望」と回答した数（4,243 人）
2. 率は、回答者の人数の計を高等教育機関（3,723 人）・日本語教育機関（520 人）別にそれぞれ 100 とした割合

インターンシップ参加の有無（第 12-15 表）を見ると、「参加したい」が 2,953 人（69.6%）と最も多い。

第 12-15 表　インターンシップ参加の有無　（Q50 参照）

区分		参加したい	既に参加した、または現在参加している	不参加	不明	計
高等教育機関	人数（人）	2,583	538	600	2	3,723
	率（%）	69.4	14.5	16.1	0.1	100.0
	令和元年率（%）	69.7	16.8	13.5	0.0	100.0
	平成 29 年率（%）	74.3	11.9	11.0	2.8	100.0
日本語教育機関	人数（人）	370	26	124	0	520
	率（%）	71.2	5.0	23.8	0.0	100.0
	令和元年率（%）	75.5	4.2	20.3	0.0	100.0
	平成 29 年率（%）	75.5	4.1	12.5	7.9	100.0
計	人数（人）	2,953	564	724	2	4,243
	率（%）	69.6	13.3	17.1	0.0	100.0
	令和元年率（%）	70.8	14.4	14.8	0.0	100.0
	平成 29 年率（%）	74.6	10.3	11.3	3.9	100.0

（注）1. 有効回答者は、第 13-1 表の回答者（7,321 人）のうち、「日本において就職希望」と回答した数（4,243 人）
2. 率は、回答者の人数の計を高等教育機関（3,723 人）・日本語教育機関（520 人）別にそれぞれ 100 とした割合

インターンシップ参加理由(第 12-16 表)を見ると、「就職が有利になりそうだから」が 1,544 人(43.9%)と最も多く、次いで「就職する前に、日本の会社の雰囲気を知っておきたいから」が 1,394 人 (39.6%)と続く。

第 12-16 表　インターンシップ参加理由　（Q51 参照）

区分		就職が有利になりそうだから	日本語の習得や自分の学習に役立ちそうだから	就職する前に、日本の会社の雰囲気を知っておきたいから	不明	計
高等教育機関	人数（人）	1,373	490	1,258	－	3,121
	率（%）	44.0	15.7	40.3	－	100.0
	令和元年率（%）	39.7	15.5	44.7	0.0	100.0
	平成 29 年率（%）	37.5	15.9	45.1	1.5	100.0
日本語教育機関	人数（人）	171	89	136	－	396
	率（%）	43.2	22.5	34.3	－	100.0
	令和元年率（%）	41.3	22.2	36.5	0.0	100.0
	平成 29 年率（%）	37.7	29.7	30.0	2.6	100.0
計	人数（人）	1,544	579	1,394	－	3,517
	率（%）	43.9	16.5	39.6	－	100.0
	令和元年率（%）	40.0	16.7	43.3	0.0	100.0
	平成 29 年率（%）	37.6	18.6	42.1	1.7	100.0

（注）1. 有効回答者は、第 12-15 表の回答者（7,321 人）のうち、「参加したい」「既に参加した、または現在参加している」のいずれかを回答した数（3,517 人）
2. 率は、回答者の人数の計を高等教育機関（3,121 人）・日本語教育機関（396 人）別にそれぞれ 100 とした割合

日系企業への就職希望状況（第 12-17 表）を見ると、「希望する」が 753 人（56.4%）と最も多い。また、「起業を希望する」は 68 人（5.1%）である。

第 12-17 表　日系企業への就職希望　（Q52 参照）

区分		希望する	希望しない	希望する日系企業があるかわからない	起業を希望	まだ決めていない	計
高等教育機関	人数（人）	661	114	76	58	266	1,175
	率（%）	56.3	9.7	6.5	4.9	22.6	100.0
日本語教育機関	人数（人）	92	12	16	10	29	159
	率（%）	57.9	7.5	10.1	6.3	18.2	100.0
計	人数（人）	753	126	92	68	295	1,334
	率（%）	56.4	9.4	6.9	5.1	22.1	100.0

（注）1. 有効回答者は、第 12-1 表の回答者（7,321 人）のうち、「出身国において就職・起業希望」「日本・出身国以外の国において就職・起業希望」のいずれかを回答した数（1,334 人）
2. 率は、回答者の人数の計を高等教育機関（1,175 人）・日本語教育機関（159 人）別にそれぞれ 100 とした割合

13. 新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症にかかわる悩み（第 13-1 表）を見ると、「経済的な状況に関すること」が 2,856 人（39.0%）と最も多く、次いで「将来のキャリアに関すること」が 1,727 人（23.6%）と続く。

第 13-1 表　新型コロナウイルス感染症にかかわる悩み　（Q53 参照）

区分		授業に関すること	将来のキャリアに関すること	経済的な状況に関すること	学内の友人関係に関すること	課外活動（部活動・サークル）に関すること	その他	計
高等教育機関	人数（人）	1,140	1,416	2,302	312	249	204	5,623
	率（%）	20.3	25.2	40.9	5.5	4.4	3.6	100.0
日本語教育機関	人数（人）	513	311	554	58	212	50	1,698
	率（%）	30.2	18.3	32.6	3.4	12.5	2.9	100.0
計	人数（人）	1,653	1,727	2,856	370	461	254	7,321
	率（%）	22.6	23.6	39.0	5.1	6.3	3.5	100.0

（注）率は、回答者数の計（7,321 人）を高等教育機関（5,623 人）・日本語教育機関（1,698 人）別にそれぞれ 100 とした割合

新型コロナウイルス感染症にかかわる悩みの相談先（第 13-2 表）を見ると、「学校の教職員や相談窓口」が 2,962 人（40.5%）と最も多く、次いで「友人等・同級生等」が 2,687 人（36.7%）と続く。

第 13-2 表　新型コロナウイルス感染症にかかわる悩みの相談先　（Q54 参照）

区分		学校の教職員や相談窓口	友人等・同級生等	保護者・兄弟姉妹	その他	計
高等教育機関	人数（人）	2,194	2,108	1,100	221	5,623
	率（%）	39.0	37.5	19.6	3.9	100.0
日本語教育機関	人数（人）	768	579	300	51	1,698
	率（%）	45.2	34.1	17.7	3.0	100.0
計	人数（人）	2,962	2,687	1,400	272	7,321
	率（%）	40.5	36.7	19.1	3.7	100.0

（注）率は、回答者数の計（7,321 人）を高等教育機関（5,623 人）・日本語教育機関（1,698 人）別にそれぞれ 100 とした割合

新型コロナウイルスワクチン接種の情報入手先（第 13-3 表）を見ると、「学校」が 4,650 人（63.5%）と最も多く、次いで「自治体（市町村）」が 3,693 人（50.4%）と続く。

第 13-3 表　新型コロナウイルスワクチン接種の情報入手先（複数回答）　（Q55 参照）

区分		学校から	自治体（市町村）から	その他
高等教育機関	人数（人）	3,628	2,800	247
	率（%）	64.5	49.8	4.4
日本語教育機関	人数（人）	1,022	893	61
	率（%）	60.2	52.6	3.6
計	人数（人）	4,650	3,693	308
	率（%）	63.5	50.4	4.2

（注）率は、回答者数の計（7,321 人）を高等教育機関（5,623 人）・日本語教育機関（1,698 人）別にそれぞれ 100 とした割合

学校から新型コロナウイルスワクチン接種情報を入手する方法（第 13-4 表）を見ると、学校からの情報を入手する方法は、「メール」が 2,780 人（59.8%）と最も多く、次いで「学校の HP、ポータルサイト、SNS 等」が 1,989 人（42.8%）と続く。

第 13-4 表　学校から新型コロナウイルスワクチン接種情報を入手する方法（複数回答）　（Q56 参照）

区分		掲示	メール	学校の HP、ポータルサイト、SNS 等	郵便物	その他
高等教育機関	人数（人）	1,109	2,416	1,629	294	124
	率（%）	30.6	66.6	44.9	8.1	3.4
日本語教育機関	人数（人）	433	364	360	107	98
	率（%）	42.4	35.6	35.2	10.5	9.6
計	人数（人）	1,542	2,780	1,989	401	222
	率（%）	33.2	59.8	42.8	8.6	4.8

（注）率は、表 13-3 で「学校から」と回答した人数（4,650 人）を高等教育機関（3,628 人）・日本語教育機関（1,022 人）別にそれぞれ 100 とした割合

自治体から新型コロナウイルスワクチン接種情報を入手する方法（第 13-5 表）を見ると、自治体からの情報を入手する方法は、「郵便物」が 2,922 人（79.1%）と最も多く、次いで「自治体（市町村）の HP、ポータルサイト、SNS 等」が 863 人（23.4%）と続く。

第 13-5 表　自治体から新型コロナウイルスワクチン接種情報を入手する方法（複数回答）　（Q57 参照）

区分		郵便物	自治体（市町村）の広報・出版物	自治体（市町村）の HP、ポータルサイト、SNS 等	その他
高等教育機関	人数（人）	2,184	440	698	20
	率（%）	78.0	15.7	24.9	0.7
日本語教育機関	人数（人）	738	134	165	5
	率（%）	82.6	15.0	18.5	0.6
計	人数（人）	2,922	574	863	25
	率（%）	79.1	15.5	23.4	0.7

（注）率は、表 13-3 で「自治体（市町村）から」と回答した人数（3,693 人）を高等教育機関（2,800 人）・日本語教育機関（893 人）別にそれぞれ 100 とした割合

参考資料

令和３年度 私費外国人留学生生活実態調査

アンケート用紙

本調査につきまして、オンライン画面上でアンケート入力を行います。

アンケート内容の各設問につきまして、下記の記載内容になりますので参考にしてください。この用紙でのアンケートの回答及び提出は不要です。オンライン画面上の内容と若干異なる箇所等がございますが、ご了承ください。

令和３年度私費外国人留学生生活実態調査
アンケート内容（参考）

独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）は、「学習奨励費」の支給、「日本留学試験」の実施、就職情報の提供など、日本に来られている留学生の皆さんを支援している団体です。

このアンケートは、皆さん、そしてこれから日本へ来られる留学生のための援助事業に役立てるためのものです。

アンケートには、あなたのお名前や学校名などを入力する必要はありません。あなたのプライバシーは侵害されませんので、ご協力をお願いします。

ーアンケートー

【あなたのことについてお聞きします。】

Ｑ１． あなたの性別はどちらですか。

１．男　　２．女

Ｑ２． あなたの出身国・地域はどこですか。（その他の人は、国名を入力してください。）

１．中国	２．韓国	３．台湾	４．ベトナム
５．ネパール	６．マレーシア	７．インドネシア	８．タイ
９．アメリカ	１０．ミャンマー	１１．モンゴル	１２．バングラデシュ
１３．フランス	１４．スリランカ	１５．ドイツ	１６．インド
１７．フィリピン	１８．イギリス	１９．サウジアラビア	２０．オーストラリア
２１．ロシア	２２．カンボジア	２３．カナダ	２４．ブラジル
２５．スウェーデン	２６．ラオス	２７．イラン	２８．エジプト
２９．シンガポール	３０．ウズベキスタン	３１．その他	

Ｑ３． 留学の目的は何ですか。
（最もあてはまる回答を３つまで選び、**<u>あてはまる順</u>に選択**してください。）

１．学位を取得するため
２．教養を身につけるため
３．就職に必要な技能や知識を身につけるため
４．日本で働く、もしくは日本企業に就職するため
５．国際的な経験をつんで国際的な人脈を作るため
６．国際的な考え方を身につけるため
７．良い環境で研究を行うため
８．日本語の能力を高めるため
９．異文化に接するため
１０．その他

【日本に留学する前のことについてお聞きします。 】

Ｑ４． 日本を留学先として選んだ理由は何でしたか。
（最もあてはまる回答を３つまで選び、**<u>あてはまる順</u>に選択**してください。）

１．日本社会に興味があり、日本で生活したかったため
２．日本の大学等の教育や研究が魅力的と思ったため
３．地理的に近いため
４．興味ある専門分野があったため
５．異文化に接したかったため

６．日本語・日本文化を勉強したかったため　　７．日本と関連のある職業に就きたかったため
８．奨学金を得られたため　　９．友人、知人、家族等に勧められたため
１０．大学間交流等をきっかけとして
１１．他の国も考えていたが、学力や費用等の条件が一番合ったため
１２．その他

Ｑ５．日本に留学するにあたり、不安に感じていたことは何でしたか。
（最もあてはまる回答を３つまで選び、**<u>あてはまる順</u>に選択**してください。）

１．日本の天候や食べ物、習慣に適応できるかどうか
２．自分の希望する学習ができるか、また、学習の成果を上げることができるかどうか
３．周囲の人と良好な関係を築き、うまくコミュニケーションをとることができるかどうか
４．適切な宿舎を確保できるかどうか
５．病気にかかったり自然災害に遭ったりしないかどうか
６．孤独に感じたりホームシックになったりしないかどうか
７．経済的な困難に直面しないかどうか　　８．特に不安はなかった　　９．その他

Ｑ６．日本に留学するまでに特に苦労したことは何でしたか。
（最もあてはまる回答を３つまで選び、**<u>あてはまる順</u>に選択**してください。）

１．情報の収集　　２．日本語学習　　３．留学先学校との事前連絡
４．留学ビザ取得　　５．留学資金準備　　６．入学試験　　７．その他

Ｑ７．日本に留学する前に、どのような方法で留学情報を入手しましたか。
（最もあてはまる回答を３つまで選び、**<u>あてはまる順</u>に選択**してください。）

１．日本留学フェア、教育展等に参加して
２．入学を希望する学校に直接問い合わせして
３．在外日本大使館等の在外公館に問い合わせして
４．母国の政府教育機関に問い合わせして
５．日本学生支援機構(JASSO)に問い合わせして
６．インターネットを利用して学校や日本学生支援機構(JASSO)のＨＰを検索して
７．その他の民間団体に問い合わせして
８．日本の出版物を購入して
９．母国の学校や教員に相談して
１０．親戚や友人に相談して
１１．その他

【日本に来てから現在通っている学校に入学するまでのことについてお聞きします。】

Ｑ８．日本に来てから何年経ちますか。

１．１年未満　２．１年～２年未満　３．２年～３年未満　４．３年～４年未満
５．４年～５年未満　６．５年～６年未満　７．６年以上

Ｑ９．日本に来たあと、今在籍している学校の課程に、すぐ入学しましたか。

１．はい（Ｑ１１へ進んでください。）　２．いいえ

●Ｑ９で「２．いいえ」と答えた人は、以下の質問に答えてください。

Ｑ１０．　日本に来たあと、今在籍している学校の課程に入学する直前は何をしていましたか。
（一番最近のものを１つ回答）

１．日本語教育機関で勉強していた　２．準備教育課程で勉強していた
３．留学生別科で勉強していた　４．専修学校（専門課程）で勉強していた
５．高等専門学校で勉強していた　６．短期大学で勉強していた
７．大学の学部で勉強していた　８．大学院で勉強していた
９．働いていた　１０．その他

【現在通っている学校等についてお聞きします。】

Ｑ１１．在籍する学校は次のどれですか。

１．国立　２．公立　３．私立

Ｑ１２．在籍する学校ではどの課程で学んでいますか。

１．大学院博士課程・博士後期課程　２．大学院修士課程・博士前期課程
３．専門職大学院課程　４．大学院レベルの研究生
５．学部正規課程　６．学部レベルの研究生・聴講生
７．短期大学　８．専修学校（専門課程）
９．準備教育課程　１０．日本語教育機関　１１．その他

Ｑ１３．現在、何年生ですか。

１．１年生　２．２年生　３．３年生　４．４年生　５．５年生
６．６年生　７．修士１年生　８．修士２年生　９．博士１年生　１０．博士２年生
１１．博士３年生　１２．研究生・聴講生等　１３．その他

Ｑ１４．日本語能力に関する資格を取得していますか。

１．Ｊ1＋　２．Ｊ1　３．Ｊ2　４．Ｊ3　５．Ｊ4　６．Ｊ5　７．Ｎ1　８．Ｎ2
９．Ｎ3　１０．Ｎ4　１１．Ｎ5　１２．取得していない

Ｑ１５．在籍する学校における専攻分野は何ですか。

１．人文科学（文学、歴史、哲学等）
２．社会科学（法律、政治、経済、社会学等）
３．理学（数学、物理、化学、生物学等）
４．工学（機械工学、電子工学、応用化学等）
５．農学（農業経済、農芸、獣医畜産、水産学等）
６．医・歯学
７．薬学
８．家政（食物、被服、住居学等）
９．教育
１０．日本語　※日本語教育機関在籍者
１１．その他

Ｑ１６．１週間当たりの勉強時間を教えてください。（学校での授業時間を除く。）

１．７時間未満　２．７～１４時間未満　３．１４～２１時間未満
４．２１～２８時間未満　５．２８～３５時間未満　６．３５～４２時間未満
７．４２～４９時間未満　８．４９時間以上

Ｑ１７．現在住んでいるところから、在籍する学校までの所要通学時間（片道）はどのくらいですか。

１．３０分以内　２．１時間以内　３．１時間３０分以内
４．２時間以内　５．２時間以上

Ｑ１８．在籍する学校の良いところは何ですか。

１．学生のサポート体制　２．学修環境（教室、研究室、実験室等）
３．研究内容　４．福利厚生　５．クラブ活動等の課外活動
６．その他

※「良いところ」で「６．その他」を選択した場合は、回答画面にその理由を入力してください。

Ｑ１９．在籍する学校の悪いところは何ですか。

１．学生のサポート体制　２．学修環境（教室、研究室、実験室等）
３．研究内容　４．福利厚生　５．クラブ活動等の課外活動
６．その他

※「悪いところ」で「６．その他」を選択した場合は、回答画面にその理由を入力してください。

【日本への印象等についてお聞きします。】

Ｑ２０．日本に留学してから日本人に対する印象は良くなりましたか。

１．留学前は悪かったが、留学後に良くなった
２．留学前から良かったが、留学後にさらに良くなった
３．留学前は良かったが、留学後に悪くなった
４．留学前から悪かったが、留学後にさらに悪くなった
５．留学前から良かったが、留学後に特に変化は無い
６．留学前から悪かったが、留学後に特に変化は無い

※回答項目の１～４を選択した場合は、回答画面にその理由を入力してください。

Ｑ２１．日本に留学して、良かったですか。

１．良かった　　２．悪かった　　３．どちらともいえない

↓

※「２．悪かった」、「３．どちらともいえない」を選択した場合は、回答画面にその理由を入力しＱ２３へ進んでください。

●Ｑ２１で「１．良かった」と答えた人は、以下の質問に答えてください。

Ｑ２２．日本に留学して良かったことは何でしたか。
（最もあてはまる回答を３つまで選び、あてはまる順に選択してください。）

１．質の高い教育を受けられたこと
２．日本語が習得できたこと
３．日本人の友人ができたこと
４．国際的な人脈ができたこと
５．国際的な考え方、教養を身につけることができたこと
６．その他

Ｑ２３．日本に留学してから苦労したことは何でしたか。
（最もあてはまる回答を３つまで選び、あてはまる順に入力してください。）

１．物価が高い
２．日常生活における母国の習慣（生活習慣、宗教上の習慣等）との違い
３．宿舎等を探すこと
４．宿舎等におけるルール（ゴミ出し等）を守ること
５．日本語の習得
６．英語の習得
７．学校内で日本人学生と交流できないこと

８．学校の教員、職員とのコミュニケーションが取れないこと
９．学校の授業についていくこと
１０．その他

【１ヶ月の収入と支出についてお聞きします。】

Ｑ２４．１ヶ月の収入と支出についてお聞きします。
１万円のときは、10,000と入力してください。

－回答の例－

収入	（円/月）	支出	（円/月）
(1)仕送り	63,000円	(1)学習研究費	円
(2)アルバイト	29,000円	A.授業料	44,000円
(3)奨学金		B.授業料以外	10,000円
A.学習奨励費	48,000円	C.サークル等	円
B.大学・学校	円	(2)通学費	8,000円
C.地方自治体	円	(3)食費	25,000円
D.民間団体	円	(4)住居費	36,000円
E.海外の団体	円	(5)電気ガス水道	8,000円
F.その他	円	(6)保険医療費	3,000円
(4)知人の援助	円	(7)趣味娯楽	5,000円
(5)配偶者の収入	円	(8)その他	円
(6)その他	円	(9)残額	1,000円
計	140,000円	計　約	140,000円

画面に入力する際の注意

※ **<u>収入と支出の合計額は、必ず同じ金額になるようにしてください。違う金額の場合はエラーメッセージが表示されます。</u>**

※ 授業料（１ヶ月分の金額）は、１年間の授業料を１２で割る、または半年の授業料を６で割って金額を算出してください。なお、授業料には、入学金などの一時的にかかる経費は含みません。
（例）１年間の授業料　528,000円　→　**月額　44,000円**（528,000÷12=44,000）

※ <u>1,000円単位で回答して</u>ください。端数1,000円未満は切り上げてください。

（例）7,235円を入力する場合　　× 7,000　　○ 8,000

Ｑ２４．１ヶ月の平均的な収入はどれくらいですか。それぞれの項目について、□の中に金額を入力してください。なお、□には該当する数字だけ入力してください。

	円／月
(1)親・兄弟、または親戚からの仕送り	円
(2)アルバイト	円
(3)奨学金	
A.文部科学省私費外国人留学生学習奨励費（¥48,000、または¥30,000）	円
B.大学・学校からの奨学金	円
C.地方自治体（都道府県市区町村）による援助金	円
D.民間団体の奨学金	円
E.海外の団体による奨学金（日本以外の団体）	円
F.その他の奨学金	円
(4)知人の援助	円
(5)配偶者の収入	円
(6)その他	円
合計	円

↑支出の合計と同額か必ず確認してください。

Ｑ２４．１ヶ月の平均的な支出はどれくらいですか。それぞれの項目について、□の中に金額を入力してください。なお、□には該当する数字だけ入力してください。

	円／月
(1)学習研究費	円
A. 授業料（１ヶ月分の金額）	円
B. 教科書、実習材料、文具等の経費（授業料以外の経費）	円
C. サークル活動の会費、合宿費	円
(2)通学費（定期代等）	円
(3)食費	円
(4)住居費（１ヶ月の家賃、寮費など）	円
(5)電気、ガス、水道料金	円
(6)保険、医療費	円
(7)趣味、娯楽費	円
(8)その他の日常的な経費 （洋服代、電話料金、交通費、消耗品等）	円
(9)残額	円

合計	円

↑**収入の合計と同額か必ず確認してください。**

【アルバイトについてお聞きします。】

Ｑ２５．現在、アルバイトをしていますか。

１．はい　　２．いいえ（Ｑ３０へ進んでください。）

↓

●Ｑ２５で「１．はい」と答えた人は、以下の質問に答えてください。

Ｑ２６．どのようなアルバイトをしていますか。（３つまで複数回答可）

１．家庭教師　　２．語学教師　　３．塾講師
４．ﾃｨｰﾁﾝｸﾞｱｼｽﾀﾝﾄ（TA）・ﾘｻｰﾁｱｼｽﾀﾝﾄ（RA）　　５．一般事務
６．経理事務　　７．清掃　　８．警備
９．ビル管理　　１０．ガソリンスタンド　　１１．配達
１２．発送作業　　１３．飲食業　　１４．営業・販売（コンビニ等）
１５．ホテル受付・ホール係　　１６．出版物等の印刷作業　　１７．土木・建設作業
１８．引越業　　１９．工場での組立作業　　２０．倉庫整理
２１．翻訳・通訳　　２２．プログラマー、オペレーター
２３．グラフィック・デザイナー　　２４．その他

Ｑ２７．１週間に何時間アルバイトをしていますか。

１．５時間未満　　２．５時間～１０時間未満
３．１０時間～１５時間未満　　４．１５時間～２０時間未満
５．２０時間～２５時間未満　　６．２５時間以上

Ｑ２８．なぜアルバイトをするのですか。

１．日本での生活を維持するために必要だから
２．日本人との交流等良い機会になるから
３．教養・娯楽等にあてる費用を得るため
４．その他

Ｑ２９．主としてやっているアルバイトの時給（１時間あたりの単価）はいくらですか。

１．800円未満　　２．800円～1,000円未満
３．1,000円～1,200円未満　　４．1,200円～1,400円未満
５．1,400円～1,600円未満　　６．1,600円～1,800円未満
７．1,800円～2,000円未満　　８．2,000円以上

【住居についてお聞きします。】

Ｑ３０．現在、どの地域に住んでいますか。

１．北海道　２．青森　３．岩手　４．宮城　５．秋田　６．山形　７．福島
８．茨城　９．栃木　１０．群馬　１１．埼玉　１２．千葉　１３．東京　１４．神奈川
１５．新潟　１６．富山　１７．石川　１８．福井　１９．山梨　２０．長野　２１．岐阜
２２．静岡　２３．愛知　２４．三重　２５．滋賀　２６．京都　２７．大阪　２８．兵庫
２９．奈良　３０．和歌山　３１．鳥取　３２．島根　３３．岡山　３４．広島　３５．山口
３６．徳島　３７．香川　３８．愛媛　３９．高知　４０．福岡　４１．佐賀　４２．長崎
４３．熊本　４４．大分　４５．宮崎　４６．鹿児島　４７．沖縄

Ｑ３１．どのような形態の宿舎に住んでいますか。

１．民間アパート・マンション等
２．大学・学校の留学生用宿舎
３．大学・学校の一般学生寮
４．県・市・財団法人の留学生宿舎
５．公営住宅等の一般公的宿舎
６．企業の社員寮
７．ホームステイ
８．その他

Ｑ３２．宿舎を選ぶ際、重視したものは何ですか。
（最もあてはまる回答を３つまで選び、**<u>あてはまる順に</u>**入力してください。）

１．家賃・初期費用
２．間取り・広さ
３．設備
４．学校からの距離・通学時間
５．周辺環境の利便性（駅が近い、買い物しやすい等）
６．セキュリティ
７．日本人との交流
８．留学生同士の交流

Ｑ３３．現在住んでいる部屋のうち、あなた個人が使用している面積はどの位の広さですか。
（キッチン・バス・トイレは除いてください。２人以上で住んでいる場合、キッチン・バス・トイレを除いた部屋の広さを住んでいる人の数で割ってください。たたみ１枚の広さは約１．６㎡です。）

１．５㎡未満（たたみ約３枚分）
２．５㎡～７．５㎡未満（たたみ約４枚～４．５枚分）
３．７．５㎡～１０㎡未満（たたみ約５枚～６枚分）
４．１０㎡～１２．５㎡未満（たたみ約７枚～７．５枚分）
５．１２．５㎡～１５㎡未満（たたみ約８枚～９枚分）
６．１５㎡～１７．５㎡未満（たたみ約１０枚～１０．５枚分）
７．１７．５㎡～２０㎡未満（たたみ約１１枚～１２枚分）

８．２０㎡～２５㎡未満（たたみ約１３枚～１５枚分）
９．２５㎡以上（たたみ約１６枚分以上）

Ｑ３４．１人で住んでいますか。

１．はい（Ｑ３７へ進んでください。）　　２．いいえ

●Ｑ３４で「２．いいえ」と答えた人は、以下の質問に答えてください。

Ｑ３５．同居している人は何人ですか。（あなた以外）

１．１人　２．２人　３．３人　４．４人　５．５人以上

Ｑ３６．誰と同居していますか。

１．配偶者または家族　２．外国人留学生　３．日本人学生　４．その他

Ｑ３７．現在の宿舎に入居が決まったとき、毎月の家賃とは別に、いくら経費（敷金・礼金等）がかかりましたか。

１．なし
２．５万円未満
３．５万円～１０万円未満
４．１０万円～２０万円未満
５．２０万円～３０万円未満
６．３０万円～４０万円未満
７．４０万円～５０万円未満
８．５０万円以上

Ｑ３８．宿舎の保証人を求められましたか。

１．はい　　２．いいえ（Ｑ４０へ進んでください。）

●Ｑ３８で「１．はい」と答えた人は、以下の質問に答えてください。

Ｑ３９．現在住んでいる宿舎の保証人は誰ですか。

１．大学・学校（代表者）　２．大学・学校の指導教員
３．国際交流団体（代表者）　４．過去に在籍していた日本語教育機関（代表者・教員）
５．日本人の知人　６．日本人以外の知人

７．親族　　８．保証人制度を利用する
９．その他

【健康についてお聞きします。】

Ｑ４０．学校に入学してから病気やけがをしたことがありますか。また、その時どうしましたか。
（３つまで複数回答可）

１．病気やけがをしたことがない　　２．学校の保健管理センターや医務室に行った
３．病院に行った　　４．薬局で薬を買って治した
５．病院にも薬局にも行かないで、我慢した　　６．その他

●健康保険についてお聞きします。

Ｑ４１．加入している健康保険の種類は次のどれですか。（複数回答可）

１．（日本の）国民健康保険　　２．海外旅行・留学保険
３．親や、兄弟、配偶者等の家族が加入している健康保険
４．所属する機関の健康保険　　５．加入していない　　６．その他

Ｑ４２．１ヶ月に合計どのくらいの金額を払っていますか。

１．無料
２．５００円未満
３．５００円～１，０００円未満
４．１，０００円～１，５００円未満
５．１，５００円～２，０００円未満
６．２，０００円～２，５００円未満
７．２，５００円～３，０００円未満
８．３，０００円～３，５００円未満
９．３，５００円以上

【卒業後の予定についてお聞きします。】

Ｑ４３．現在在籍する学校の卒業後の予定はなんですか。
（最もあてはまる回答を３つまで選び、**あてはまる順に**入力してください。）

１．日本において進学希望（Ｑ４４へ進んでください。）
２．日本において就職希望（Ｑ４５へ進んでください。）
３．日本において起業希望
４．出身国において進学希望
５．出身国において就職・起業希望　（Ｑ５２へ進んでください。）

６．日本・出身国以外の国において進学希望
７．日本・出身国以外の国において就職・起業希望　（Ｑ５２へ進んでください。）
８．まだ決めていない

●Ｑ４３で３．４．６．８．と答えた人は、Ｑ５３へ進んでください。

●Ｑ４３で「１．日本において進学希望」と答えた人は、以下の質問に答えてください。

Ｑ４４．どの課程への進学を考えていますか。

１．大学院博士課程・博士後期課程
２．大学院修士課程・博士前期課程
３．専門職大学院課程
４．大学院レベルの研究生
５．学部正規課程
６．学部レベルの研究生・聴講生
７．短期大学
８．専修学校（専門課程）
９．その他

●Ｑ４４に答えた人は、Ｑ５３へ進んでください。

●Ｑ４３で「２．日本において就職希望」と答えた人は、以下の質問に答えてください。

Ｑ４５．どのような分野に就職を希望していますか。
（最もあてはまる回答を３つまで選び、あてはまる順に入力してください。

１．翻訳・通訳
２．海外業務
３．貿易業務
４．調査研究
５．教育
６．販売・営業
７．経営・管理業務
８．技術開発
９．情報処理
１０．設計
１１．その他

Ｑ４６．日本において就職した後の将来はどのように考えていますか。

１．日本で永久に働きたい
２．日本で働いた後、将来は出身国に帰国して就職したい
３．日本で働いた後、将来は日本、出身国以外で就職したい
４．まだ決めていない

Ｑ４７．日本での就職活動をする際に、どのようなことを望みますか。
（最もあてはまる回答を３つまで選び、あてはまる順に入力してください。）

１．在留資格の変更手続きの簡素化、手続き期間の短縮化
２．在留資格の変更が弾力的に認められるよう規制緩和
３．留学生を対象とした就職に関する情報の充実
４．学校における留学生を対象とした就職説明会の充実
５．学校の留学生に対する就職相談窓口の充実

６．企業においてもっと留学生を対象とした就職説明会を開催してほしい
７．留学生を対象としたインターンシップの充実
８．その他

Ｑ４８．日本での就職にあたり不安に感じることは何ですか。
（最もあてはまる回答を３つまで選び、**あてはまる順に**入力してください。）

１．職場で良い人間関係をつくれるか
２．自分の日本語が通じるか
３．希望する仕事につけるか
４．日本の商慣習になじめるか
５．顧客対応が問題なくできるか
６．ビジネスマナーで失敗しないか
７．どのような人事評価制度なのか
８．勤務地がどこになるか
９．適切に仕事を進められるか
１０．労働時間が長くないか
１１．給与・待遇が悪くないか
１２．自分の専門知識が役立つか
１３．キャリアパスがどうなるのか
１４．生活習慣の違いになじめるか
１５．不安はない
１６．その他

Ｑ４９．日本で就職した後、何年くらい日本で働きたいですか。

１．１年未満
２．１年～３年未満
３．３年～５年未満
４．５年～１０年未満
５．１０年以上

Ｑ５０．日本でインターンシップに参加したいと思いますか。

１．思う
２．既に参加した、または現在参加している
３．思わない

●Ｑ５０の質問で「１．思う」、または「２．既に参加した、または現在参加している」と答えた人は、Ｑ５１を答えてください。

Ｑ５１．インターンシップに参加したいと思う理由（参加した理由）は何ですか。

１．就職が有利になりそうだから
２．日本語の習得や自分の学習に役立ちそうだから
３．就職する前に、日本の会社の雰囲気を知っておきたいから

●Ｑ４３で「５．出身国において就職・起業希望」、または「７．日本・出身国以外の国において就職・起業希望と答えた人は、以下の質問に答えてください。

Ｑ５２．日本国外で就職を希望する場合、日系企業への就職を希望しますか。

１．希望する　　２．希望しない　　３．就職を希望する国に日系企業があるかわからない
４．起業を希望している　　５．まだ決めていない

【新型コロナウイルス感染症拡大に関わる悩みについてお聞きします】

Ｑ５３．新型コロナウイルス感染症拡大に関わって、どのような悩みがありますか。

１．授業に関すること　　２．将来のキャリアに関すること　　３．経済的な状況に関すること
４．学内の友人関係に関すること　　５．課外活動（部活動・サークル）に関すること
６．その他

Ｑ５４．新型コロナウイルス感染症に関わる悩みを改善・解決するための相談先はありますか。

１．学校の教職員や相談窓口　　２．友人等・同級生等　　３．保護者・兄弟姉妹
４．その他

【新型コロナウイルス感染症のワクチン接種についてお聞きします】

Ｑ５５．新型コロナウイルスワクチン接種の情報はどのようにして入手しましたか（複数回答可）

１．学校から情報を得た　　２．自治体（市町村）から情報を得た　　３．その他

●Ｑ５５．で「１．学校から情報を得た」と答えた人は、以下の質問に答えてください。

Ｑ５６．学校からワクチン接種の情報を得た具体的な方法は何ですか（複数回答可）

１．掲示　　２．メール　　３．学校の HP、ポータルサイト、SNS等　　４．郵便物
５．その他

●Ｑ５５．で「２．自治体（市町村）から情報を得た」と答えた人は、以下の質問に答えてください。

Ｑ５７．自治体（市町村）からワクチン接種の情報を得た具体的な方法は何ですか（複数回答可）

１．郵便物　　２．自治体（市町村）の広報・出版物
３．自治体（市町村）の HP、ポータルサイト、SNS等　　４．その他

以上で終わりです。ご協力どうもありがとうございました。皆さんのご活躍をお祈りしています。

令和３年度　私費外国人留学生生活実態調査

概　　要

独立行政法人日本学生支援機構

【問合せ先】
独立行政法人日本学生支援機構 留学生事業部留学情報課 企画調査係
〒135-8630 東京都江東区青海2-2-1
電　話 03-5520-6111
ＦＡＸ 03-5520-6121